

学 年

4

令和6年度

シラバス

令和6年度

# シラバス

SYLLABUS  
*for*  
STUDENTS



第4学年



日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和6年度 第4学年  
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	5 5



# 本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

## 記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

## 令和6年度（第4学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	歯科矯正学 (実習:新井)		歯科矯正学 (新井)	口腔内科学 (松野)	※
火	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯内療法学 (講座代表者)	歯内療法学 (実習:講座代表者)		※
水	小児歯科学 (実習:荻部)		小児歯科学 (荻部)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	※
木	歯冠補綴学 (実習:五味)		全部床義歯補綴学 (実習:講座代表者)		※
金	歯科放射線学 (河合)	歯冠補綴学 (五味)	歯周病学 (沼部)	部分床義歯補綴学 (講座代表者)	※

- 1) 授業期間 令和6年4月5日(金)～令和6年7月12日(金)  
令和6年8月26日(月)～令和6年9月2日(月)  
(令和6年7月16日(火)～令和6年8月23日(金)は夏期休業)
- 2) 講 堂 152講堂(実習科目は臨床基礎実習室で行う)
- 3) その他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。  
②ワクチン接種は16時30分から実施(詳細は後日掲示)。  
③9月と12月に学外業者模試を実施(詳細は後日掲示)。

## 令和6年度（第4学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	歯周病学 (実習:沼部)		歯周病学 (沼部)	総合基礎歯学 〔解剖学/組織学〕 (春原/菊池)	※
火	総合基礎歯学 〔病理学/生化学〕 (添野/今井)	総合基礎歯学 〔生理学/薬理学〕 (佐伯/筒井)	口腔インプラント学 (柳井)	統合臨床基礎学 (実習:前田)	
水	総合基礎歯学 〔微生物学/歯理工学〕 (高橋/新谷)	口腔衛生学 (講座代表者)	歯内療法学 (講座代表者)	社会歯科学 (石垣)	※
木	障害者歯科学 (統合:内川)	部分床義歯補綴学 (講座代表者)	部分床義歯補綴学 (実習:講座代表者)	※	
金	口腔内科学 (松野/石垣) <small>有病者歯科学を含む</small>	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	口腔外科の基本手技 (実習:里見/砂田/柳井) インプラント実習含む	※	

- 1) 授業期間 令和6年9月30日(月)～令和6年12月24日(火)  
令和7年1月6日(月)～令和7年1月20日(月)  
(令和6年12月25日(水)～令和7年1月3日(金)は冬期休業)
- 2) 講 堂 152講堂 (実習科目は臨床基礎実習室で行う)
- 3) そ の 他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習 (ピア・サポート) 等。  
②ワクチン接種は16時30分から実施 (詳細は後日掲示)。  
③「※」の時間で祝日調整を実施。(今年度は月曜日科目各1回)  
④12月24日(火)は, 金曜日時間割を実施する。
- 4) 年間総合単位数 40.0単位
- 5) 臨床実習事前オリエンテーションは受講必須 (詳細は後日掲示)

# 授業科目の履修時期と単位数

【2024年度第4学年以降】

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
心理学概論	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
基礎化学	1.5													
化学	3													
化学実習	1													
基礎生物学	1.5													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナリズム	1.5													
話し合い基盤型問題解決実習	1													
病院医療概論	1.5													
歯科医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
医の倫理	1.5													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英语	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													
衛生・公衆衛生学	3													
口腔保健学	3													
口腔衛生学	1.5													
衛生学・口腔衛生学実習	1													
歯科理工学	4.5													
歯科理工学実習	1													
病理学	4.5													
病理学実習	1													
スポーツ歯学	1													
歯科医療の基本	1													
臨床につなげる基礎学と教養	1.5													
地域連携・在宅医療概論	1.5													
歯科法医学	1.5													
生命歯学探究	1.5													
生命歯学探究実習	1													
コミュニケーション概論実習	1													
歯科硬組織修復学	4.5													
歯科硬組織修復学実習	1													
歯内療法学	4.5													
歯内療法学実習	1													
歯周病学	4.5													
歯周病学実習	1													
全部床義歯補綴学	3													
全部床義歯補綴学実習	1													
部分床義歯補綴学	3													
部分床義歯補綴学実習	1													
歯冠補綴学	4.5													
歯冠補綴学実習	1													
口腔外科学	3													
口腔内科学	3													
口腔外科の基本手技実習	1													
歯科矯正学	3													
歯科矯正学実習	1													
小児歯科学	3													
小児歯科学実習	1													
歯科放射線学	4.5													
高齢者歯科学	1.5													
外科学	1.5													



授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
内科学	1.5						■							
歯科麻酔・救急処置	3							■	■					
総合基礎歯学	2							■	■					
統合臨床基礎学実習	1							■	■					
障害者歯科学	1							■	■					
口腔インプラント学	1.5							■	■					
社会歯科学	1.5							■	■					
総合歯科医学	3								■	■				
臨床実習	5.5								■	■				
基礎医学演習 1	1		■											
基礎医学演習 2	1				■									
総合基礎医学演習	1						■							
総合基礎医学演習 2	1							■						
臨床歯学探究	1									■				
総合科目①②③	3											■	■	
包括歯科医学①②	1													■

単位合計数	199.5単位
-------	---------

---

## 前学期授業科目

---

歯科矯正学実習 .....	10
歯科矯正学 .....	12
口腔内科学 .....	14
歯科硬組織修復学 .....	16
歯内療法学 .....	20
歯内療法学実習 .....	24
小児歯科学実習 .....	28
小児歯科学 .....	32
歯科麻酔・救急処置 .....	36
歯冠補綴学実習 .....	40
全部床義歯補綴学実習 .....	42
歯科放射線学 .....	44
歯冠補綴学 .....	46
歯周病学 .....	48
部分床義歯補綴学 .....	52
(計 15科目)	

Laboratory Practice in Orthodontics .....	10
Orthodontics .....	12
Oral Medicine .....	14
Operative Dentistry .....	16
Endodontics .....	20
Laboratory Practice in Endodontics .....	24
Laboratory Practice in Pediatric Dentistry .....	28
Pediatric Dentistry .....	32
Dental Anesthesiology and Emergency Treatment .....	36
Practice of Crown & Bridge Prosthodontics .....	40
Laboratory Practice in Complete Denture Prosthodontics .....	42
Oral Radiology .....	44
Crown & Bridge Prosthodontics .....	46
Periodontics .....	48
Removable Partial Denture Prosthodontics .....	52

(計 15科目)

## 令和6年度（第4学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時 間 曜 日	9 : 0 0 )	1 0 : 4 0 )	1 3 : 1 0 )	1 4 : 5 0 )	1 6 : 3 0 )
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	歯科矯正学 (実習：新井)		歯科矯正学 (新井)	口腔内科学 (松野)	※
火	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯内療法学 (講座代表者)	歯内療法学 (実習：講座代表者)		※
水	小児歯科学 (実習：苅部)		小児歯科学 (苅部)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	※
木	歯冠補綴学 (実習：五味)		全部床義歯補綴学 (実習：講座代表者)		※
金	歯科放射線学 (河合)	歯冠補綴学 (五味)	歯周病学 (沼部)	部分床義歯補綴学 (講座代表者)	※

- 1) 授 業 期 間      令和6年4月5日(金)～令和6年7月12日(金)  
                          令和6年8月26日(月)～令和6年9月2日(月)  
                          (令和6年7月16日(火)～令和6年8月23日(金)は夏期休業)
  
- 2) 講                堂      152講堂 (実習科目は臨床基礎実習室で行う)
  
- 3) そ                の      他      ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。  
                          ②ワクチン接種は16時30分から実施（詳細は後日掲示）。  
                          ③9月と12月に学外業者模試を実施（詳細は後日掲示）。

# 歯科矯正学実習

月曜日 9:00~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として不正咬合を治療する際の必要な要件を身につけるために、基本的な矯正装置の製作および症例分析を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
飯田順一郎 他・著	歯科矯正学	第6版	医歯薬出版
西井 康 他・著	歯科矯正学エッセンシャルテキスト	初版	永末書店
日本歯科大学生命歯学部 歯科矯正学講座	歯科矯正学実習書	第5版	ミツバ総合印刷

## 担当者一覧

新井一仁, 磯部真帆, 小川絢大, 奥田美沙, 嘉悦菜美, 片岡彩乃, 勝浦杏奈, 窪田大祐, 呉屋 龍, 古賀一輝  
今野喜文, 齋藤絵里佳, 佐藤瑤子, 塩田恭子, 柴垣諒子, 鈴木章弘, 鈴木美智子, 世古口なつね, 舘 晶彦  
土持 宇, 栃木啓佑, 富田理絵, 仲谷 豊, 馬場龍一, 久 星子, 藤田真澄, 藤田由希子, 前多光博, 前田嘉子  
松原 萌, 真鍋 望, 矢澤 貴, 李 有未, 若山雄一郎, 和田健一郎, 渡邊大悟, 渡邊浩幸

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [10%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [90%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 歯科矯正学実習終了直後 : 月曜日 17:00~18:00  
場所: 本館7階臨床実習室 (AV操作室) : 100周年記念館3階 歯科矯正学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月8日	栃木 啓佑	ユニット1: 診断	1) 顔面写真, 口腔内写真を評価する。(G-3-⑫) 2) 模型計測法を列記する。(G-3-⑫) 3) 模型計測の意味を説明する。(G-3-⑫) 4) 模型計測の結果を判断する。(G-3-⑫)
4月15日	栃木 啓佑	ユニット2: ワイヤーベンディング (1)	1) ワイヤーの特性を説明する。(D-2-④) 2) プライヤーの使用法に熟練する。(D-2-④) 3) ループの使用目的を説明する。(D-2-④) 4) 目的に応じたワイヤーを屈曲する。(D-2-④)
4月22日	栃木 啓佑	ユニット3: ワイヤーベンディング (2)	1) ワイヤーの特性を説明する。(D-2-④) 2) プライヤーの使用法に熟練する。(D-2-④) 3) ループの使用目的を説明する。(D-2-④) 4) 目的に応じたワイヤーを屈曲する。(D-2-④)
5月13日	土持 宇	ユニット4: 自在ろう着	1) ろう着に用いる機器の使用方法を説明する。(D-1-①) 2) ろう着の原理を説明する。(D-1-②) 3) フラックスの用途を説明する。(D-2-④) 4) 自在ろう着を実施する。(D-2-④) 5) 補助弾線をろう着し屈曲する。(D-2-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月20日	鈴木 章弘	ユニット5：舌側弧線装置（1）	1) 舌側弧線装置の構造・目的・作製手順を説明する。(E-4-1)-⑤) 2) バンド装着の手順を列記する。(E-4-1)-⑤) 3) 模型にバンドを適合させる。(E-4-1)-⑤) 4) 維持装置の構造を説明する。(E-4-1)-⑤) 5) 維持装置の溶接をする。(E-4-1)-⑤)
5月27日	鈴木 章弘	ユニット6：舌側弧線装置（2）	1) 印象採得を実施する。(E-4-1)-⑤) 2) 作業模型を製作する。(E-4-1)-⑤) 3) 舌側弧線装置の外形線を記入する。(E-4-1)-⑤) 4) 舌側弧線装置を設計する。(E-4-1)-⑤)
6月3日	鈴木 章弘	ユニット7：舌側弧線装置（3）	1) 維持装置のろう着を実施する。(E-4-1)-⑤) 2) ワイヤーの選択方法を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) 主線・維持部の屈曲をする。(E-4-1)-⑤) 4) 主線をろう着する。(E-4-1)-⑤) 5) 補助弾線の目的と種類を説明する。(E-4-1)-⑤) 6) 補助弾線のろう着と屈曲をする。(E-4-1)-
6月10日	鈴木 章弘	ユニット8：舌側弧線装置（4）	1) 舌側弧線装置を実習用模型に合着する。(E-4-1)-⑤) 2) 舌側弧線装置による歯の移動様式を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) 舌側弧線装置による歯の移動を観察する。(E-4-1)-⑤) 4) 舌側弧線装置の適応症を説明する。(E-4-1)-⑤)
6月17日	舘 晶彦	ユニット9：アクチバトール（1）	1) アクチバトールの構造・目的・作製手順を説明する。(E-4-1)-⑤) 2) 構成咬合採得を実施する。(E-4-1)-⑤) 3) 作業模型を構成咬合器へ付着する。(E-4-1)-⑤)
6月24日	舘 晶彦	ユニット10：アクチバトール（2）	1) 作業模型にアクチバトールの外形線を記入する。(E-4-1)-⑤) 2) 誘導線的作用を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) 誘導線の屈曲を実施する。(E-4-1)-⑤)
7月1日	舘 晶彦	ユニット11：アクチバトール（3）	1) アクチバトールの仮床を形成する。(E-4-1)-⑤) 2) 仮床の形態修正と調整を実施する。(E-4-1)-⑤)
7月8日	舘 晶彦	ユニット12：アクチバトール（4）	1) レジン床部の重合・形態修正・研磨の流れを説明する。(E-4-1)-⑤) 2) アクチバトールの誘導面形成について説明する。(E-4-1)-⑤) 3) アクチバトールの作用機序と使用方法を説明する。(E-4-1)-⑤)
8月26日	馬場 龍一	ユニット13：保定装置（1）	1) 保定装置の構造・目的・作製手順を説明する。(E-4-1)-⑤) 2) 主線を屈曲する。(E-4-1)-⑤)
9月2日	馬場 龍一	ユニット14：保定装置（2）	1) 即時重合レジンを適切に操作する。(E-4-1)-⑤) 2) 研磨を適切に行う。(E-4-1)-⑤)

# 歯科矯正学

月曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

前年度に修得した歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断に関する知識をふまえて、歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる治療に関する知識を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
飯田順一郎 他 編	歯科矯正学	第6版	医歯薬出版
西井 康 他 著	歯科矯正学エッセンシャルテキスト	初 版	永末書店
日本歯科大学生命歯学部 歯科矯正学講座	歯科矯正学実習書	第5版	ミツバ総合印刷

## 担当者一覧

新井一仁, 土持 宇, 鈴木章弘, 栃木啓佑, 舘 晶彦, 馬場龍一

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [20%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (中間試験 [20%])

## オフィスアワー

日時: 毎週 月曜 17:00~18:00  
 場所: 100周年記念館3階 歯科矯正学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	栃木 啓佑	ユニット1: 診 断	1) セファロ分析を実施する。(F-3-6)-④) 2) Tweed 分析における抜歯基準について説明する。(F-3-6)-④) 3) Tweed分析を実施する。(F-3-6)-④) 4) 治療方針を立案する。(F-3-6)-④)
4月15日	栃木 啓佑	ユニット2: 矯正力	1) 矯正治療の概要を説明する。(E-4-1)-①) 2) 矯正力の種類を列記する。(E-4-1)-③) 3) 矯正力の作用様式を列記する。(E-4-1)-③) 4) 歯の移動様式について説明する。(E-4-1)-③)
4月22日	新井 一仁	ユニット3: 矯正歯科治療における固定	1) 固定の定義を説明する。(E-4-1)-③) 2) 固定の意義を説明する。(E-4-1)-③) 3) 部位による固定の分類について説明する。(E-4-1)-③) 4) 固定を抵抗の性質によって分類する。(E-4-1)-③) 5) 抜歯空隙を利用するときの固定を分類する。(E-4-1)-③)
5月13日	鈴木 章弘	ユニット4: 矯正用材料の特性	1) 矯正用材料の種類を列記する。(E-4-1)-④) 2) 矯正用材料の特徴を説明する。(E-4-1)-④) 3) 矯正用機器の種類を列記する。(E-4-1)-④) 4) 矯正用機器の用途を説明する。(E-4-1)-④)
5月20日	栃木 啓佑	ユニット5: 器械的矯正装置	1) 矯正装置を分類する。(E-4-1)-⑤) 2) 器械的矯正装置の種類を列記する。(E-4-1)-⑤) 3) 器械的矯正装置の特徴を説明する。(E-4-1)-⑤) 4) 器械的矯正装置の適応症を説明する。(E-4-1)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
5月27日	鈴木 章弘	ユニット6：機能的矯正装置	1) 機能的矯正装置の種類を列記する。(E-4-1)-⑤) 2) 機能的矯正装置の特徴を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) 機能的矯正装置の適応症を説明する。(E-4-1)-⑤)
6月3日	栃木 啓佑	ユニット7：中間テスト	1) 学修内容の理解度を認識する。
6月10日	新井 一仁	ユニット8：乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療	1) 乳歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-③) 2) 混合歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-③) 3) 混合歯列期における治療について説明する。(E-4-1)-③) 4) セファロの重ね合わせについて説明する。(E-4-1)-③)
6月17日	舘 晶彦	ユニット9：永久歯列期の矯正歯科治療	1) 永久歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-③) 2) 永久歯列期における治療について説明する。(E-4-1)-③) 3) Tweed分析と抜歯基準について説明する。(E-4-1)-③) 4) マルチブラケット装置の概要を説明する。(E-4-1)-③)
6月24日	馬場 龍一	ユニット10：保定，口腔筋機能療法	1) 保定の定義と意義について述べる。(E-4-1)-③) 2) 後戻りと再発の原因について説明する。(E-4-1)-③) 3) 保定の種類を説明する。(E-4-1)-③) 4) 口腔筋機能療法について説明する。(E-4-1)-③)
7月1日	土持 宇	ユニット11：口唇・口蓋裂と顎変形症の治療	1) 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を説明する。(E-2-4)-(1)-②) 2) 顎変形症の診断について説明する。(E-2-4)-(1)-③) 3) 顎変形症の治療について説明する。(E-2-4)-(1)-③) 4) 外科的矯正治療について説明する。(E-2-4)-(1)-③)
7月8日	鈴木 章弘	ユニット12：矯正歯科治療における口腔衛生管理，リスクと偶発症	1) 矯正歯科治療中の口腔衛生管理について説明する。(E-4-1) 2) 矯正歯科治療に伴うリスクと偶発症について説明する。(E-4-1)
8月26日	馬場 龍一	ユニット13：診断学演習	1) 不正咬合について説明する。(F-3-6)-④) 2) 検査について説明する。(F-3-6)-④) 3) 診断について説明する。(F-3-6)-④)
9月2日	馬場 龍一	ユニット14：治療学演習	1) 矯正歯科治療について説明する。(E-4-1)-①) 2) 固定について説明する。(E-4-1)-③) 3) 矯正用材料の特性について説明する。(E-4-1)-④) 4) 矯正装置について説明する。(E-4-1)-⑤)





授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
5月27日	石垣 佳希	ユニット6：有病者歯科学各論（精神・心身医学疾患，患者管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神・心身医学疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6)</li> <li>2) 患者管理上問題となる薬剤服用患者への対応を説明する。(E-6)</li> <li>3) 周術期・終末期がん患者の口腔管理について説明する (E-6)</li> <li>4) 緩和ケアについて説明する。(A-5-1)-⑦)</li> </ol>
6月3日	宮坂 孝弘	ユニット7：口腔内科学総論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病歴の取りかたを述べる。(E-1-1)-③, ④)</li> <li>2) 症候論について説明する。(E-2-4)-(1)～(9))</li> <li>3) 全身の症候と口腔・顎顔面の症候について説明する。(E-2-4)-(10))</li> <li>4) 口腔疾患に起因する全身疾患について説明する。(E-2-4)-(10))</li> </ol>
6月10日	松野 智宣	ユニット8：治療総論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物療法の目的を説明する。(C-6-2)</li> <li>2) 薬物療法の種類とその選択を述べる。(C-6-2)</li> <li>3) 抗菌薬の効果を説明する。(C-6-2)</li> <li>4) 抗菌薬の副作用と相互作用を説明する。(C-6-4))</li> <li>5) 理学療法を列記する。(C-6-4))</li> </ol>
6月17日	田中 淳平	ユニット9：臨床検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一般臨床検査を列挙する。(E-1-3)-①～⑤)</li> <li>2) 血液学検査を説明する。(E-1-3)-①～⑤)</li> <li>3) 生化学検査を説明する。(E-1-3)-①～⑤)</li> <li>4) 免疫血清学検査を説明する。(E-1-3)-①～⑤)</li> </ol>
6月24日	田中 淳平	ユニット10：顎口腔機能検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一般的な生体機能検査を列挙する。(E-1-3)-①～⑤)</li> <li>2) 唾液および唾液腺検査を説明する。(E-1-3)-①～⑤)</li> <li>3) 皮膚検査を説明する。(E-1-3)-①～⑤)</li> <li>4) 味覚検査を説明する。(E-1-3)-①～⑤)</li> </ol>
7月1日	稲田 諒	ユニット11：口腔顎顔面に症状を現す症候群	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 顎骨の異常を伴う症候群の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(1))</li> <li>2) 顔面軟組織の異常を伴う症候群の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(1))</li> </ol>
7月8日	松野 智宣	ユニット12：心因性病態	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心身相関を説明する。(E-5-3)-①)</li> <li>2) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性疼痛を説明する。(E-5-3)-②)</li> <li>3) 舌痛症を説明する。(E-5-3)-4)</li> <li>4) 歯科治療恐怖症を説明する。(E-5-3)-⑤)</li> <li>5) 心理テストの種類を説明する。(E-5-3)-③)</li> <li>6) 心身医学的治療を説明する。(E-5-3)-①)</li> </ol>
8月26日	戸谷 収二	ユニット13：医療安全と感染予防対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療安全の必要性を述べる。(A-6-1)-④⑤)</li> <li>2) 消毒と滅菌を説明する。(E-1-5)-⑥⑦⑧)</li> <li>3) スタンダードプリコーションを説明する。(E-1-5)-⑥⑦⑧)</li> <li>4) 感染症患者の歯科治療を説明する。(E-1-5)-⑥⑦⑧)</li> </ol>
9月2日	石垣 佳希	ユニット14：問題演習および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 客観問題で正答を選択する。</li> <li>2) 問題解説で理解度を知り，問題解決に必要な知識を習得する。</li> <li>3) 記述式問題の解答を説明する。</li> </ol>

# 歯科硬組織修復学

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

硬組織疾患に対する直接・間接修復法を理解するために、応用する器材の種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得し、あわせて変色歯・破折歯・象牙質知覚過敏への対応を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

田上順次 他	保存修復学21	第6版	永末書店
--------	---------	-----	------

## 担当者一覧

柵木寿男, 前野雅彦, 河本 芽, 中澤美和, 中村昇司, 原 学, 小川信太郎

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [80%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎月 第1・第3火曜日 12:00~13:00

場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	前野 雅彦	ユニット1: 鑄造修復の特徴/鑄造用金属の種類と組成	1) 鑄造修復の長所と短所を列記する。(E-3-3-(1)-①) 2) 適応症を記述する。(E-3-3-(1)-③) 3) 直接法と間接法を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4) 鑄造用合金の所要性質を説明する。(D-2-②) 5) 各種鑄造用合金の組成や特徴を列挙する。(D-2-②)
4月16日	河本 芽	ユニット2: 鑄造修復用窩洞	1) 鑄造修復用窩洞の窩洞外形・保持形態・抵抗形態・便宜形態・窩縁形態を説明する。(E-3-3-(1)-⑥) 2) 各種窩洞の特徴・形態・形成法を述べる。(E-3-3-(1)-⑥)
4月23日	前野 雅彦	ユニット3: 印象と模型の作製	1) 各種印象材の長所と短所を列記する。(D-1-①) 2) 各種印象材の所要性質を記述する。(D-1-①) 3) 作業用模型の種類と特徴を述べる。(D-1-①) 4) 作業用模型の作製方法を説明する。(D-1-①)
5月7日	柵木 寿男	ユニット4: ワックスパターンの調整法/埋没	1) ワックスパターンの調整法を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) インレーワックスの所要性質を列記する。(D-1-①) 3) インレーワックスの組成を述べる。(D-1-①) 4) 埋没前準備を説明する。(D-2-②) 5) 埋没法の関連事項を列挙する。(D-2-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月14日	小川信太郎	ユニット5：鑄造法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鑄造加熱の目的を記述する。(D-2-②)</li> <li>2) 鑄造法について説明する。(D-2-②)</li> <li>3) 鑄造収縮とその補償法を記述する。(D-2-②)</li> <li>4) 鑄造後の処置を述べる。(D-2-②)</li> <li>5) 鑄造欠陥の成因と対策を列記する。(D-2-②)</li> <li>6) 鑄造体の熱処理・仕上げ研磨法を説明する。(D-2-②)</li> <li>7) 鑄造体の合着法を述べる。(D-2-③)</li> </ol>
5月21日	河本 芽	ユニット6：問題演習および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鑄造修復の特徴と鑄造用金属の種類・組成を列記する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>2) メタルインレー窩洞の形態と形成法を説明する。(E-3-3-(1)-⑥)</li> <li>3) 印象材、印象法および作業用模型の種類・特徴・作製方法を述べる。(D-1-①)</li> <li>4) インレーワックスの所要性質・調整法・組成を列記する。(D-2-①)</li> <li>5) 埋没の前準備や種類・特徴を述べる。(D-2-②)</li> <li>6) 鑄造法・鑄造収縮・鑄造欠陥を説明する。(D-2-②)</li> <li>7) 鑄造体の研磨法・合着法を述べる。(D-2-③)</li> </ol>
5月28日	前野 雅彦	ユニット7：セラミックインレー修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) セラミックインレー修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>2) 本修復法における窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥)</li> <li>3) 本修復法の適応症・禁忌症・種類と材料組成を説明する。(E-3-3-(1)-③)</li> <li>4) 本インレーの種類を製作法により分類する。(D-2-②)</li> <li>5) 作製法の違いによる利点・欠点を述べる。(D-2-②)</li> <li>6) 本インレーによる修復手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> </ol>
6月4日	柵木 寿男	ユニット8：ベニア修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ベニア修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>2) 本修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③)</li> <li>3) 本修復法の種類を類別する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>4) 各種ベニア修復法の長所・短所を述べる。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>5) ベニア修復の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> </ol>
6月11日	中村 昇司	ユニット9：最新の歯科審美修復臨床	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 審美修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>2) 審美修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③)</li> <li>3) 本修復法の種類を類別する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>4) 代表的な審美修復法の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> </ol>
6月18日	前野 雅彦	ユニット10：問題演習および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) セラミックインレー修復の特徴・窩洞・適応症を述べる。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>2) 本修復法の種類および材料の組成・修復手順を説明する。(D-2-②)</li> <li>3) ベニア修復の特徴・適応症・種類・修復手順を述べる。(E-3-3-(1)-①)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月25日	柵木 寿男	ユニット11：合着と接着	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 合着と接着の違いを述べる。(D-2-③)</li> <li>2) 合着用セメントの種類を列記する。(D-2-③)</li> <li>3) 各セメントの組成を説明する。(D-2-③)</li> <li>4) 接着性レジンセメントの分類を列記する。(D-2-③)</li> <li>5) 各セメントの特徴を説明する。(D-2-③)</li> <li>6) 臨床的使用手順・注意点を述べる。(D-2-③)</li> </ul>
7月2日	中澤 美和	ユニット12：変色歯の漂白	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の変色の原因を列記する。(E-3-2)-①)</li> <li>2) 漂白法を類別する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>3) 各漂白の適応症・禁忌症を述べる。(E-3-3-(1)-③)</li> <li>4) 各種漂白法の処置手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>5) 漂白用薬剤の種類と漂白のメカニズム・作用を列記する。(D-1-①)</li> </ul>
7月9日	原 学	ユニット13：破折歯・象牙質知覚過敏の処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の破折の原因を説明する。(E-2-4)-(2)-③)</li> <li>2) 前歯部の破折の処置法について述べる。(E-2-4)-(2)-③)</li> <li>3) 臼歯部の破折に処置法について述べる。(E-2-4)-(2)-③)</li> <li>4) 象牙質知覚過敏症の処置方針を述べる。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>5) 象牙質知覚過敏症に用いる薬剤を列記する。(D-1-①)</li> </ul>
8月27日	柵木 寿男	ユニット14：問題演習および解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 鑄造修復を述べる。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>2) セラミックインレー修復を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>3) ベニア修復を述べる。(E-3-3-(1)-①)</li> <li>4) 合着・接着用セメントの特徴を列記する。(D-2-③)</li> <li>5) 変色・破折・知覚過敏への処置を説明する。(E-3-3-(1)-①)</li> </ul>



# 歯内療法学

火曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 小木曾文内 編集主幹	エンドドンティクス	第5版	永末書店
中原 泉, 藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

## 担当者一覧

前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 興地隆史

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [65%]     論述試験 [35%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (小テスト参加状況) [減点式]

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 12:10~13:10

場所: 100周年記念館4階 歯科保存学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月9日	関谷 美貴	ユニット1: 歯の硬組織疾患-齲蝕の治療	1) 歯の硬組織疾患の診査・診断法を説明する。(E-1-1)-④) 2) 歯の切削による歯髄や象牙質への影響を説明する。(E-3-3-(1)-②) 3) 切削時の歯髄刺激の軽減法を説明する。(E-3-3-(1)-④) 4) 切削後の歯髄保護法を説明する。(E-3-3-(1)-⑤) 5) 象牙質切削時の除痛法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 6) 罹患歯質の鑑別と除去法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 7) 齲窩の消毒などの治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)
4月16日	西田 太郎	ユニット2: 歯内療法における治療方針, 無菌的処置, 仮封処置	1) 歯内療法における治療方針・計画の立案を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 施術野の消毒法の種類, 方法を説明する。(E-1-5)-⑥) 3) ラバーダム防湿法の意義, 方法を説明する。(A-6-3)-②) 4) バリヤーテクニックを説明する。(A-6-3)-②) 5) 歯内療法用器材の滅菌消毒法を説明する。(E-1-5)-⑧) 6) 仮封の意義と目的を説明する。(E-3-3-(1)-⑦) 7) 仮封法の種類を列記する。(E-3-3-(1)-⑦) 8) 仮封法の術式を説明する。(E-3-3-(1)-⑦)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月23日	三枝 慶祐	ユニット3：歯髄疾患の治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄疾患治療の意義と目的について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 歯髄疾患治療の適応症と禁忌症を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 歯髄疾患の緊急処置を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 歯髄除痛法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> </ul>
5月7日	興地 隆史	ユニット4：歯髄・根尖歯周組織の炎症・免疫・治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄の炎症を説明する。(C-5-5)-①)</li> <li>2) 歯髄の免疫学的反応を説明する。(C-4-2)-④)</li> <li>3) 治療による歯髄の治療過程を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>4) 根尖歯周組織の炎症を説明する。(C-5-5)-①)</li> <li>5) 根尖歯周組織の免疫学的反応を説明する。(C-4-2)-④)</li> <li>6) 治療による根尖歯周組織の治療過程を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> </ul>
5月14日	関谷 美貴	ユニット5：歯髄保存療法－歯髄鎮痛消炎療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄保存療法の目的、意義について説明する。(E-3-3-(1)-⑤)</li> <li>2) 歯髄鎮痛消炎療法の適応症と術式、治療機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤)</li> </ul>
5月21日	三枝 慶祐	ユニット6：歯髄保存療法－覆髄法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 間接覆髄法の適応症と術式、治療機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤)</li> <li>2) 直接覆髄法の適応症と術式、治療機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤)</li> <li>3) 暫間的間接覆髄法の適応症と術式、治療機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤)</li> </ul>
5月28日	西田 太郎	ユニット7：断髄法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄除去療法の目的、意義について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 生活断髄法の目的、意義について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 生活断髄法の適応症と術式、治療機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-④)</li> </ul>
6月4日	前田 宗宏	ユニット8：抜髄法 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 抜髄法の目的、意義について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 麻酔抜髄法について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 抜髄に使用する器材を列挙し、説明する。(D-1-③)</li> </ul>
6月11日	前田 宗宏	ユニット9：抜髄法 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 髄室の開拡法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 根管口の明示について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 根管長測定法の種類、特徴、方法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 歯髄の除去法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> </ul>
6月18日	前田 宗宏	ユニット10：抜髄法 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 根管の拡大形成の目的と意義を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 根管の機械的な拡大形成法について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 根管の化学的な清掃拡大法について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 根管の洗浄と乾燥法について説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> </ul>



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
6月25日	前田 宗宏	ユニット11：抜髄法（4）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根管消毒の目的と意義を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 根管消毒薬の種類を分類し列挙する。(D-2-⑥)</li> <li>3) 根管貼薬法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 歯内療法における仮封の意義と目的を説明する。 (E-3-3-(1)-⑦)</li> <li>5) 仮封材の種類を列挙し仮封法を説明する。 (E-3-3-(1)-⑦)</li> <li>6) 抜髄後の創傷の治癒機転を説明する。 (E-3-3-(1)-④)</li> <li>7) 抜髄の終末処置となる根管充填について理解する。 (E-3-3-(2)-②)</li> <li>8) 根管充填の意義と目的を説明する。 (E-3-3-(2)-②)</li> <li>9) 根管充填の時期について説明する。 (E-3-3-(2)-②)</li> <li>10) 根管充填に使用する材料と薬剤を列記する。 (D-2-⑥)</li> <li>11) 根管充填に使用する材料と薬剤の特徴を説明する。 (D-2-⑥)</li> </ol>
7月2日	関谷 美貴	ユニット12：Ni-Tiロータリーファイル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) Ni-Tiロータリーファイルの開発における歴史的経緯を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) Ni-Tiロータリーファイルの機械的特性を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) Ni-Tiロータリーファイルの形状を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) Ni-Tiロータリーファイルによる根管形成の術式を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> </ol>
7月9日	前田 宗宏	ユニット13：感染根管治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染根管治療の意義と目的を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 感染根管治療の適応症と禁忌症を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 感染根管治療用器材について説明する。 (D-1-③)</li> <li>4) 感染根管治療の術式について説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>5) 根管内容物の検査法について説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>6) 感染根管治療時の仮封について説明する。 (E-3-3-(1)-⑦)</li> <li>7) 感染根管治療の補助療法について説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>8) 再根管治療の選択基準を列記する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>9) 歯冠修復物・補綴装置の除去法を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
8 月 27 日	前田 宗宏	ユニット14：根尖性歯周疾患－治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根尖性歯周疾患の診査・診断法を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 根尖性歯周疾患への対症療法，原因除去療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 急性単純性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 急性化膿性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>5) 急性根尖性歯周炎の緊急処置法を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>6) 慢性単純性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>7) 慢性化膿性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>8) 慢性根尖性歯周炎の急性発作を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>9) 歯根肉芽腫の治療方針と治療法を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>10) 歯根嚢胞の治療方針と治療法を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> <li>11) 硬化性骨炎の治療方針を説明する。 (E-3-3-(2)-①)</li> </ol>

# 歯内療法学実習

火曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯内療法学を臨床で実践するために、各種の治療法を実施し、臨床における実際の診療ポジションや治療の術式、手順を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

勝海一郎, 都築民幸, 五十嵐 勝 他	歯内療法学実習書	改訂第9刷	日本歯科大学
勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 小木曾文内 編集主幹	エンドドンティクス	第5版	永末書店
中原 泉, 藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

## 担当者一覧

前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 北村和夫, 濱田康弘, 黒田恭平, 森竹宣之, 小柳圭史, 小林 鷹, 中山竣太郎, 秋知美穂, 石川 泰, 磯田浩太, 興地麗子, 小倉陽子, 梶原瑞貴, 草間博文, 小玉裕樹, 杉田浩一, 関口晃弘, 高橋千明, 辻野貴史, 角掛 愛, 永井圭子, 永島万理子, 前田朋己, 松島正和, 箕浦孝昭, 宮下葉月, 森山 旭, 山崎孝子, 吉野真弘

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [10%]       観察記録 [90%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (小テスト参加状況) [減点式]

## オフィスアワー

日時: 実習終了直後  
 場所: 本館7階 臨床実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月9日	前田 宗宏 関谷 美貴	ユニット1: 実習ガイダンス・ラバーダム防湿法	1) 歯内療法学の実習指針を説明する。(F-3-3)-③) 2) 歯内療法学実習の心構え, 注意事項を述べる。(F-1-2)-①) 3) 歯内療法学実習で用いる器具の名前を述べる。(F-1-2)-①) 4) ファントムに装着した顎模型に対しラバーダム防湿法を実施する。(F-3-1)-③) 5) 適切なラバーダムクランプを選択する。(F-3-1)-③) 6) ラバーダムシートの適切な位置に穿孔する。(F-3-1)-③) 7) 患歯と施術野の孤立, 消毒を適切に実施する。(F-3-1)-③)
4月16日	前田 宗宏	ユニット2: 歯髄の鎮静消炎療法・ブローチ綿花の製作	1) 齶窩の開拓を実施する。(F-3-3)-③) 2) 軟化象牙質の除去を実施する。(F-3-3)-③) 3) 窩洞の清掃・乾燥を実施する。(F-3-3)-③) 4) 歯髄鎮静消炎剤の貼付と仮封を実施する。(F-3-3)-③) 5) 洗浄, 消毒した手指でブローチ綿花を製作する。(F-3-3)-③) 6) 根管に適したブローチ綿花を製作する。(F-3-3)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月23日	北村 和夫	ユニット3：透明根管模型による直線根管の拡大形成と根管充填および彎曲根管の拡大形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根管口拡大の意義を述べる。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) リーマーやファイルなどの基本的な操作を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 直線根管の拡大形成法である規格形成法を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) 不適切な拡大形成形態を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>5) 側方加圧充填法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>6) 彎曲根管の拡大形成法であるステップバック形成法を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>7) 彎曲根管模型の側方加圧充填法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
5月7日	西田 太郎	ユニット4：小臼歯部人工歯植立模型に対する抜髄と根管充填	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 髄室開拓，根管口明示を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 根管長測定法を実施する。(F-2-2)-⑦)</li> <li>3) 根管拡大形成法を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) 側方加圧根管充填法により根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>5) スプレッターの使用法を熟練する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
5月14日	三枝 慶祐	ユニット5：下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック（彎曲根管）上での電氣的根管長測定器による作業長決定と拡大形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下顎小臼歯の髄室開拓を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 根管口明示を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦)</li> <li>4) 彎曲根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>5) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
5月21日	前田 宗宏	ユニット6：顎模型下顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（髄室開拓から抜髄，仮封まで）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 下顎第1大臼歯の髄室開拓を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) エックス線により下顎大臼歯3根管歯の作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑤)</li> <li>4) 下顎大臼歯3根管歯の抜髄を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>5) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦)</li> <li>6) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
5月28日	前田 宗宏	ユニット7：顎模型下顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管の拡大形成から仮封まで）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 下顎大臼歯3根管歯の根管拡大形成を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
6月4日	前田 宗宏	ユニット8：顎模型下顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管充填）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を熟練する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 側方加圧充填法により下顎大臼歯3根管歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
6月11日	西田 太郎	ユニット9：顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（髄室開拡から抜髄、仮封まで）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 上顎第1大臼歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦)</li> <li>4) エックス線により上顎大臼歯3根管歯の作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑤)</li> <li>5) 上顎大臼歯3根管歯の抜髄を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>6) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
6月18日	西田 太郎	ユニット10：顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管の拡大形成から仮封まで）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 上顎大臼歯3根管歯の根管拡大形成を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
6月25日	西田 太郎	ユニット11：顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管充填）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を熟練する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 側方加圧充填法により上顎大臼歯3根管歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)</li> </ol>
7月2日	三枝 慶祐	ユニット12：顎模型上顎右側中切歯の抜髄即時根管充填	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上顎右側中切歯の診療ポジション，治療術式に熟練する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 上顎右側中切歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦)</li> <li>4) 抜髄，根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>5) 側方加圧充填法により上顎右側中切歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>6) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)</li> </ol>
7月9日	関谷 美貴	ユニット13：下顎小白歯歯冠付き透明ブロック（彎曲根管）のNi-Tiロータリーファイルを用いた拡大形成と根管充填	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下顎小白歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 根管口明示を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦)</li> <li>4) Ni-Ti ロータリーファイルの操作法を説明する。(E-3-3-(2)-②)</li> <li>5) Ni-Ti ロータリーファイルによる彎曲根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>6) シングルポイント法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>7) 側方加圧充填法とシングルポイント法の根管充填法の違いを比べる。(E-3-3-(2)-②)</li> <li>8) 二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
8月27日	西田 太郎	ユニット14：顎模型下顎右側第1小白歯の抜髄と根管充填（実習試験）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 下顎右側第1小白歯の診療ポジション，治療術式に熟練する。(F-3-3)-③)</li> <li>2) 下顎第1小白歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 抜髄，根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>4) 側方加圧充填法により下顎小白歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>5) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)</li> </ol>



# 小児歯科学実習

水曜日 9:00~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

小児の歯科的諸問題に対応するために、患児の一口腔単位の診察、診断、治療計画に基づいた治療と口腔管理の実際を理解し、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田隆秀 他編	小児歯科学基礎・臨床実習	第3版	医歯薬出版
白川哲夫 他編	小児歯科学	第6版	医歯薬出版

## 担当者一覧

荻部洋行, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 萩原洋子, 米山博己, 石井伸明, 酒寄浩章, 鈴木淳子, 小口莉代, 内川喜盛, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 村松健司, 新見嘉邦, 亀岡 亮, 山口みなみ, 西村 歩, 出口 崇, 杉澤香恵子, 宇佐見智里, 伊藤春子, 坂詰 南, 佐々木瑛美, 萩原栄和, 黒田暁洋, 林 陽佳, 増田理紗, 三宅真帆, 波多野宏美, 松崎祐樹, 三井園子, 宮山友紀, 松本紗耶, 山崎てるみ, 松尾恭子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [25%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [5%]       観察記録 [70%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 木曜日 12:00~13:00  
 場所: 100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	河上 智美	ユニット1: 下顎第一乳臼歯の観察および立体構築	1) 下顎第一乳臼歯の展開図を作成する。(E-3-1)-②) 2) 下顎第一乳臼歯の名称を列記する。(E-3-1)-②) 3) ワックス棒を用いて、下顎第一乳臼歯を造形する。(E-3-1)-②)
4月17日	名生 幸恵 田中 聖至	ユニット2: 小児歯科実習の基礎	1) 適切な身だしなみ, 言葉づかいおよび態度を実施できる。(F-2-1)-①) 2) 適切な診療姿勢が実施できる。(F-1-2)-②③) 3) 歯科用器具器材の準備, 片付けができる。(F-3-1) 4) 歯科用器具を安全に操作できる。(F-1-2)-①) 5) 清潔に配慮した操作ができる。(F-1-2)-②) 6) ラバーダム防湿ができる。(F-3-1)-③)
4月24日	荻部 洋行	ユニット3: 小児患者の医療面接・診察	1) 小児患者の医療面接に必要な質問事項を述べる。(F-2-1)-③) 2) 医療面接で得た情報を診療録に記載する。(F-2-1)-④) 3) 口腔内状態を診察する。(F-1-1)-①) 4) 口腔内状態を診療録に記載する。(F-1-1)-④) 5) 医療者としての適切な態度を説明する。(F-2-1)-②⑦)
5月8日	名生 幸恵	ユニット4: 予防填塞	1) 予防填塞の齶蝕予防機序を説明する。(E-4-2)-①) 2) 予防填塞の種類を述べる。(E-4-2)-①) 3) 予防填塞に必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-②) 4) 予防填塞を実施する。(F-3-6)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	岡本亜祐子	ユニット5：乳臼歯のコンポジットレジン修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③)</li> <li>2) 適切な窩洞形成を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>3) 隣接面窩洞修復の隔壁を装着する。(F-3-3)-①)</li> <li>4) 接着システムによる歯面処理を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>5) コンポジットレジンの充填操作を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>6) 形態修正と研磨を実施する。(F-3-3)-①)</li> </ol>
5月22日	加藤 雄一	ユニット6：コンポジットレジン冠修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) コンポジットレジン冠修復の適応症を説明する。(E-4-2)-③)</li> <li>2) コンポジットレジン冠の支台歯形成を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>3) 適切なサイズのクラウンフォームを選択する。(F-3-3)-①)</li> <li>4) クラウンフォームの調整を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>5) コンポジットレジン冠の形態修正を実施する。(F-3-3)-①)</li> </ol>
5月29日	岡本亜祐子	ユニット7：乳歯のコンポジットレジン修復まとめ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 隣接面齲蝕のある乳臼歯の歯冠修復を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>2) 多歯面齲蝕のある乳前歯の歯冠修復を実施する。(F-3-3)-①)</li> </ol>
6月5日	河上 智美	ユニット8：生活歯髄切断法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 乳歯の生活歯髄切断法の適応症を説明する。(E-4-2)-⑤)</li> <li>2) 乳歯の解剖学的特徴を述べる。(E-3-1)-②)</li> <li>3) ラバーダム法の目的を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③)</li> <li>5) 乳歯の生活歯髄切断法に使用する薬剤について説明する。(D-2)-⑥)</li> <li>6) 乳歯の生活歯髄切断法を実施する。(F-3-3)-③)</li> </ol>
6月12日	田中 聖至	ユニット9：乳歯用既製金属冠修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 乳臼歯の解剖学的特徴を説明する。(E-3-1)-②)</li> <li>2) 乳歯用既製金属冠の特徴を説明する。(E-4-2)-③)</li> <li>3) 乳歯用既製金属冠の適応症を説明する。(E-4-2)-③)</li> <li>4) 乳歯用既製金属冠の支台歯形成を実施する。(F-3-3)-①)</li> <li>5) 乳歯用既製金属冠の調整を実施する。(F-3-3)-①)</li> </ol>
6月19日	河上 智美	ユニット10：乳歯の歯髄処置と既製冠修復まとめ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③)</li> <li>2) 乳歯の生活歯髄切断法を実施する。(F-3-3)-③)</li> <li>3) 乳歯用既製金属冠のを実施する。(F-3-3)-①)</li> </ol>
6月26日	苅部 洋行 田中 聖至	ユニット11：混合歯列期の空隙分析／クラウンループ保険装置 (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 混合歯列空隙分析を実施する。(F-3-6)-④)</li> <li>2) 分析の結果から治療計画書を作成する。(E-4-2)-⑨)</li> <li>3) 保険装置の適応症を説明する。(E-4-2)-⑨)</li> <li>4) 保護者に保険装置の必要性を説明する。(F-4-2)-⑧)</li> <li>5) クラウンループ保険装置を設計する。(F-4-2)-⑧)</li> <li>6) 保険装置装着時の注意点を述べる。(E-4-2)-⑨)</li> <li>7) 保険装置装着後の留意点を説明する。(E-4-2)-⑨)</li> </ol>



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
7月3日	加藤 雄一	ユニット12：クラウンループ保険装置(2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) クラウンループ保険装置の外形線を記入する。(E-4-2)-⑨)</li> <li>2) ワイヤーベンディングを実施する。(E-4-2)-⑨)</li> <li>3) ループワイヤーをろう着する。(E-4-2)-⑨)</li> </ol>
7月10日	荻部 洋行	ユニット13：実習試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 修得した技能を確認する。</li> <li>2) 修得した知識を確認する。</li> <li>3) 本実習の修得度を評価する。</li> </ol>
8月28日	名生 幸恵	ユニット14：小児のブラッシング指導／フッ化物歯面塗布	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の口腔内状況を保護者に説明する。(B-3-2)-④)</li> <li>2) 小児のブラッシング指導を実施する。(F-3-6)-③)</li> <li>3) 保護者に仕上げ磨きを説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>4) フッ化物歯面塗布を説明する。(B-3-2)-①)</li> <li>5) フッ化物歯面塗布の種類を述べる。(E-4-2)-①)</li> <li>6) フッ化物歯面塗布に必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-②)</li> <li>7) フッ化物歯面塗布を実施する。(F-3-6)-①)</li> <li>8) 小児と保護者に塗布後の注意を説明する。(F-3-6)-①)</li> </ol>



# 小児歯科学

水曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

成長発達の過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
白川哲夫 他編	小児歯科学	第6版	医歯薬出版

## 担当者一覧

荻部洋行, 前田美穂, 小方清和, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 楊 秀慶, 荻原栄和

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 木曜日 12:00~13:00

場所: 100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月10日	加藤 雄一	ユニット1: 小児の歯冠修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の歯冠修復の目的を説明する。(E-2-4)-③)</li> <li>2) 歯冠修復時に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)</li> <li>3) 小児期に行う歯冠修復の種類を記述する。(E-4-2)-③)</li> <li>4) 発育段階に応じた乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法を選択する。(E-3-1)-②)</li> <li>5) 小児の歯冠修復時に必要な局所麻酔法とラバーダム法を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
4月17日	河上 智美	ユニット2: 小児の歯内療法/乳歯の歯内療法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯内療法に必要な乳歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)</li> <li>2) 乳歯歯髄疾患の診査法を記述する。(E-4-2)-④)</li> <li>3) 乳歯歯髄炎を分類する。(E-4-2)-④)</li> <li>4) 乳歯根尖性歯周炎の診査法を説明する。(E-4-2)-⑤)</li> <li>5) 乳歯に行う歯髄覆髓法, 歯髄切断法, 抜髄および感染根管治療の適応症と術式を記述する。(E-4-2)-⑤)</li> </ol>
4月24日	加藤 雄一	ユニット3: 小児の歯内療法/幼若永久歯の歯内療法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯内療法に必要な幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)</li> <li>2) 幼若永久歯に行う歯髄覆髓法, 歯髄切断法, 抜髄および感染根管治療の適応症と術式を記述する。(E-4-2)-⑤)</li> <li>3) アペキシゲネーシスの機序を説明する。(E-4-2)-⑤)</li> <li>4) アペキシフィケーションの機序を説明する。(E-4-2)-⑤)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月8日	荏部 洋行	ユニット4：小児の咬合誘導（1）	1) 保険の目的を説明する。(E-4-2)-⑨) 2) 保険装置の種類と適応症を記述する。(E-4-2)-⑨) 3) 保険装置の調整と管理法を説明する。(E-4-2)-⑨) 4) 口腔習癖の種類と対応法を記述する。(E-4-2)-⑩)
5月15日	名生 幸恵	ユニット5：小児の口腔軟組織疾患	1) 小児口腔軟組織疾患の発生部位を述べる。(E-2-4)-(4)-①) 2) 小児の軟組織疾患の原因を述べる。(E-2-4)-(4)-①) 3) 小児の軟組織疾患の処置法を説明する。(E-2-4)-(4)-②)
5月22日	荏部 洋行	ユニット6：小児の咬合誘導（2）	1) 乳歯列期の不正咬合の種類を記述する。(E-4-2)-⑧) 2) 乳歯列期の不正咬合の対応法を説明する。(E-4-2)-⑨) 3) 混合歯列期の不正咬合の種類を記述する。(E-4-2)-⑨) 4) 混合歯列期の不正咬合の対応法を説明する。(E-4-2)-⑨)
5月29日	楊 秀慶	ユニット7：小児の歯の外傷（1）	1) 乳歯・永久歯の外傷の処置を説明する。(E-4-2)-⑦) 2) 乳歯の外傷が後継永久歯胚へ及ぼす影響を説明する。(E-4-2)-⑦) 3) 小児の歯の外傷と小児虐待との関連を説明する。(E-4-2)-⑪)
6月5日	岡本亜祐子	ユニット8：小児の歯の外傷（2）	1) 小児の歯の外傷の特徴を列記する。(E-4-2)-⑦) 2) 小児の歯の外傷の診療・検査を説明する。(E-4-2)-⑦) 3) 乳歯・永久歯の外傷の治療方針を説明する。(E-4-2)-⑦) 4) 小児の歯の外傷の予防について説明する。(E-4-2)-⑪)
6月12日	岡本亜祐子	ユニット9：外科的処置および顎関節症	1) 局所麻酔と乳歯抜去時の偶発症を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤) 2) 乳歯抜去の適応症と禁忌症を説明する。(E-1-5)-①) 3) 乳歯抜去の術式を説明する。(E-1-5)-③) 4) 小児の薬理学的特性を記述する。(C-6-3)-②) 5) 小児の顎関節症の疫学的特徴、臨床的特徴およびその管理について説明する。(E-2-4)-(7)-②)
6月19日	小方 清和	ユニット10：心身障害児および全身疾患児への歯科的対応（1）	1) 小児歯科治療時に留意すべき疾患の種類を記述する。(E-5-2)-①) 2) 小児歯科治療時に留意すべき疾患の口腔所見を説明する。(E-5-2)-①) 3) 歯科治療時に留意すべき疾患を有する小児への対応を説明する。(E-5-2)-②)
6月26日	田中 聖至	ユニット11：心身障害児および全身疾患児への歯科的対応（2）	1) 小児の遺伝性疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-①) 2) 遺伝性疾患のある小児の口腔内の特徴を記述する。(E-5-2)-③) 3) 遺伝性疾患のある小児への歯科的対応と診療時の注意事項を記述する。(E-5-2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
7月3日	前田 美穂	ユニット12：心身障害児および全身疾患児への歯科的対応（3）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の血液疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-①)</li> <li>2) 小児の神経・筋疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-①)</li> <li>3) 歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。(E-5-2)-③)</li> </ul>
7月10日	河上 智美	ユニット13：心身障害児および全身疾患児への歯科的対応（4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 障害児の特徴を説明する。(E-5-2)-①)</li> <li>2) 障害児の歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。(E-5-2)-③)</li> </ul>
8月28日	荻原 栄和	ユニット14：小児の臨床口腔管理と地域口腔保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 保護者と小児に対する保健指導を述べる。(B-3-2)-④)</li> <li>2) 乳幼児歯科健診の内容を説明する。(B-3-2)-④)</li> <li>3) 学校歯科健康診断の基本的方法を述べる。(B-3-2)-④)</li> <li>4) 思春期に配慮すべき健康問題を述べる。(B-3-2)-④)</li> </ul>



# 歯科麻酔・救急処置

水曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
古屋英毅 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第4版	学建書院
金子 讓 監修	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版

## 担当者一覧

砂田勝久, 篠原健一郎, 大橋 誠, 島村直宏

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [25%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (課題レポート提出 [5%], 不正行為 [減点式])

## オフィスアワー

日時: 講義終了後 16:20~17:00  
 場所: 100周年記念館5階 歯科麻酔学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月10日	篠原健一郎	ユニット1: ペインコントロールの位置づけ, 歯科治療に必要な神経系の基礎	1) ペインコントロール法を述べる。(E-1-4)-(3)-① 2) 神経系を分類する。(C-3-4)-(5)-① 3) 痛覚伝導路を説明する。(C-3-4)-(5)-① 4) 末梢神経の構造を述べる。(C-3-4)-(5)-⑦ 5) 末梢神経の興奮伝導を説明する。(C-3-4)-(5)-⑧
4月17日	砂田 勝久	ユニット2: 局所麻酔 (1)	1) 局所麻酔の目的 (適応) を述べる。(E-1-4)-(3)-① 2) 局所麻酔薬の構造, 分類, 作用機序を述べる。(E-1-4)-(3)-② 3) 局所麻酔薬の作用に影響を与える因子を説明する。(E-1-4)-(3)-③
4月24日	篠原健一郎	ユニット3: 局所麻酔 (2)	1) 局所麻酔薬の全身的作用を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤ 2) 各種歯科用局所麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(3)-② 3) 表面麻酔薬を説明する。(E-1-4)-(3)-②
5月8日	篠原健一郎	ユニット4: 局所麻酔 (3)	1) 血管収縮薬添加の目的を述べる。(E-1-4)-(3)-④ 2) 血管収縮薬の種類と薬理作用を説明する。(E-1-4)-(3)-④ 3) 血管収縮薬添加局所麻酔薬の使用上の注意点問題点を述べる。(E-1-4)-(3)-④
5月15日	篠原健一郎	ユニット5: 局所麻酔 (4)	1) 口腔内の痛点, 骨小孔の分布を述べる。(C-3-4)-(6)-④ 2) 上顎神経, 下顎神経の走行を述べる。(C-3-4)-(5)-① 3) 局所麻酔に用いる器具を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤ 4) 表面麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤ 5) 浸潤麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月22日	篠原健一郎	ユニット6：局所麻酔（5）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 伝達麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤)</li> <li>2) 局所麻酔の局所的偶発症を列挙する。(E-1-4)-(3)-⑤)</li> <li>3) 局所麻酔の局所的偶発症の予防法と対処法を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
5月29日	篠原健一郎	ユニット7：局所麻酔の全身的偶発症（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 血管迷走神経反射を説明する。(E-1-6)-①)</li> <li>2) 血管迷走神経反射の予防法と対処法を述べる。(E-1-6)-①)</li> <li>3) 過換気症候群を説明する。(E-1-6)-①)</li> <li>4) 過換気症候群の予防法と対処法を述べる。(E-1-6)-①)</li> </ol>
6月5日	篠原健一郎	ユニット8：局所麻酔の全身的偶発症（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 局所麻酔薬中毒を説明する。(E-1-6)-①)</li> <li>2) 局所麻酔薬中毒の予防法と対処法を述べる。(E-1-6)-①)</li> <li>3) アナフィラキシーを説明する。(E-1-6)-①)</li> <li>4) 局所麻酔薬アレルギーとその対処法を述べる。(E-1-6)-①)</li> <li>5) 薬物アレルギーテストを説明する。(E-1-3)-②)</li> <li>6) メトヘモグロビン血症とその対処法を述べる。(E-1-6)-①)</li> </ol>
6月12日	篠原健一郎	ユニット9：歯科診療時の患者評価と管理法（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科診療時の患者の全身状態を評価するためにバイタルサインを説明する。(E-1-4)-(1)-①)</li> <li>2) 高血圧症を併発する各種内科的基礎疾患を有する患者の全身状態の評価と全身管理を説明する。(E-6-②)</li> <li>3) その他の各種内科的基礎疾患を有する患者の全身状態の評価と全身管理を説明する。(E-6-②)</li> </ol>
6月19日	篠原健一郎	ユニット10：歯科診療時の患者評価と管理法（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 局所麻酔実施時に注意すべき内科的基礎疾患とその患者における全身管理を述べる。(E-6-②)</li> <li>2) 観血的外科処置時に注意すべき内科的基礎疾患とその患者における全身管理を述べる。(E-6-②)</li> <li>3) 肥満患者の全身管理を述べる。(E-6-②)</li> <li>4) 妊婦の管理上の注意点を述べる。(E-6-③)</li> </ol>
6月26日	大橋 誠	ユニット11：心肺蘇生法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 救命の連鎖を説明する。(E-1-6)-②)</li> <li>2) 臨床的心停止を説明する。(E-1-6)-②)</li> <li>3) 胸骨圧迫を説明する。(E-1-6)-②)</li> <li>4) 気道確保法を説明する。(E-1-6)-②)</li> <li>5) 人工呼吸を説明する。(E-1-6)-②)</li> <li>6) 自動体外式除細動器の適応を説明する。(E-1-6)-②)</li> <li>7) 二次救命処置を説明する。(E-1-6)-②)</li> </ol>
7月3日	島村 直宏	ユニット12：救急処置と救急薬	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 気道閉塞の症状を述べる。(E-1-6)-②)</li> <li>2) 基本的救急薬とその適応を述べる。(E-1-6)-③)</li> <li>3) ショックを説明する。(E-6-①)</li> </ol>



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
7月10日	篠原健一郎	ユニット13：精神鎮静法の概要と笑気吸入鎮静法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神鎮静法の定義を述べる。(E-1-4)-(2)-①)</li> <li>2) 鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-①)</li> <li>3) 鎮静法を分類する。(E-1-4)-(2)-①)</li> <li>4) 笑気吸入鎮静法を説明する。(E-1-4)-(2)-②)</li> <li>5) 亜酸化窒素の特徴を述べる。(E-1-4)-(2)-②)</li> <li>6) 笑気吸入鎮静法の利点と欠点を述べる。(E-1-4)-(2)-②)</li> <li>7) 笑気吸入鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-②)</li> <li>8) 笑気吸入鎮静法の周術期管理を述べる。(E-1-4)-(2)-④)</li> </ol>
8月28日	篠原健一郎	ユニット14：静脈内鎮静法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 静脈内鎮静法を説明する。(E-1-4)-(2)-③)</li> <li>2) 静脈内鎮静法に使用する薬物とその特徴を述べる。(E-1-4)-(2)-③)</li> <li>3) 静脈内鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-③)</li> <li>4) 鎮静レベルの評価法を述べる。(E-1-4)-(2)-④)</li> <li>5) 静脈内鎮静法の周術期管理を述べる。(E-1-4)-(2)-④)</li> </ol>



# 歯冠補綴学実習

木曜日 9:00~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯冠修復の基本的事項を確認するために、各種補綴装置の支台歯形成、印象採得、作業模型の製作、支台築造、プロビジョナルクラウンの製作を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
五味治徳, 新谷明一 他	歯冠補綴学実習書	第6版	日本歯科大学

## 担当者一覧

五味治徳, 新谷明一, 八田みのり, 藤島 伸, 渡邊 慧, 黒田聡一, 羽村 章, 岡田智雄, 石田鉄光, 横澤 茂, 松本 智, 大津光寛, 山瀬 勝, 我妻由梨, 石川結子, 小池未来, 軍司さおり, 古田彩夏, 丸茂義二, 大内秀明, 遠山佳之, 松尾 豊, 長田博史, 海渡智義, 濱 仁隆, 米澤弥生, 落合真美, 曾布川裕介, 磯 亮輔

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [20%]       論述試験 [10%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [20%]       観察記録 [50%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月~金の昼休み時間帯を原則とし、指導担当者の指示に従う。

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月11日	八田みのり	ユニット1: 全部金属冠の支台歯形成	1) 歯冠補綴学における修復法を分類する。(E-3-4)-(1)-(2) 2) 咬合器の取り扱い方について説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 辺縁形態の種類を述べる。(E-3-4)-(1)-(4) 4) 支台歯の縮小形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3) 5) 適切なテーパで形成を実施する。(F-3-4)-(3) 6) 下顎右側第一大臼歯の支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)
4月18日	渡邊 慧	ユニット2: 全部金属冠の精密印象採得	1) 印象材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 連合印象法を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 3) 印象採得操作の注意点を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(5) 4) シリコン印象材を適切に操作する。(F-3-4)-(6) 5) 精密印象採得を実施する。(F-3-4)-(6) 6) 対合歯列の概形印象採得を実施する。(F-3-1)-(5) 7) 歯型材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(9) 8) 歯科用石膏の練和を実施する。(F-3-4)-(7) 9) 採得した印象に石膏注入を実施する。(F-3-4)-(7)
4月25日	藤島 伸	ユニット3: 歯型可撤式模型の製作	1) 石膏模型のトリミングを実施する。(F-3-4)-(7) 2) ダウエルピンの位置と役割を説明する。(E-3-4)-(1)-(9) 3) 歯型の回転防止溝について説明する。(E-3-4)-(1)-(9)
5月9日	藤島 伸	ユニット4: 咬合器装着・分割・トリミング (1)	1) 作業用模型の咬合器装着の意義, 術式を説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) 咬合採得を実施する。(F-3-4)-(8) 3) 作業用模型の咬合器装着を実施する。(F-3-4)-(8)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
5月16日	藤島 伸	ユニット5：咬合器装着・分割・トリミング (2)	1) 歯型の分割を実施する。(F-3-4)-⑦) 2) 歯型のトリミングを実施する。(F-3-4)-⑦)
5月23日	渡邊 慧	ユニット6：CAD/CAM冠の支台歯形成 (1)	1) 上顎前歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③)
5月30日	海渡 智義	ユニット7：直接法による支台築造	1) 支台築造の意義・種類について説明する。(E-3-4)-(1)-③) 2) 上顎左側犬歯および下顎右側第一大臼歯の支台築造形成歯上でコンポジットレジンを用いて支台築造を実施する。(F-3-4)-②) 3) 支台築造の具備条件について列記する。(E-3-4)-(1)-③) 4) 適正なクリアランスで形成を実施する。(F-3-4)-③)
6月6日	渡辺 慧	ユニット8：既製冠を用いたプロビジョナルクラウンの製作	1) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-⑦) 2) 即時重合レジンを適切に操作する。(F-3-4)-⑤) 3) 既製冠を用いたプロビジョナルクラウンを製作する。(F-3-4)-⑤)
6月13日	八田みのり	ユニット9：支台歯形成・知識確認試験	1) 清潔域・不潔域に配慮しながら操作を行う。(F-3-4)-③) 2) 支台歯形成を時間制限のもと実施する。(F-3-4)-③) 3) 診療姿勢に注意しながら支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③)
6月20日	渡邊 慧	ユニット10：CAD/CAM冠の支台歯形成 (2)	1) 下顎小臼歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③)
6月27日	藤島 伸	ユニット11：直接法によるプロビジョナルクラウンの製作	2) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-⑦) 2) 即時重合レジンを適切に操作する。(F-3-4)-⑤) 3) 直接法でプロビジョナルクラウンを製作する。(F-3-4)-⑤)
7月4日	八田みのり	ユニット12：前装冠の支台歯形成	1) 支台歯の形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③)
7月11日	五味 治徳	ユニット13：ブリッジの支台歯形成 (1)	1) 上顎前歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③) 4) 適切な支台歯間の平行性を確保しながら形成を実施する。(F-3-4)-③)
8月29日	五味 治徳	ユニット14：ブリッジの支台歯形成 (2)	1) 下顎臼歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-③) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-③) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-③) 4) 適切な支台歯間の平行性を確保しながら形成を実施する。(F-3-4)-③)

# 全部床義歯補綴学実習

木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

無歯顎者の全部床義歯補綴に対応するため、製作の実際を修得し、あわせて臨床操作に必要な器具・材料、ならびに器械の基本的な正しい取り扱いを身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

志賀 博・歯科補綴学第1講座 編

有床義歯補綴学実習書

第7版

日本歯科大学

## 担当者一覧

横山正起, 石田鉄光, 中島邦久, 上杉華子, 小見野真梨恵, 児玉実穂, 岡山浩美, 川名弘剛, 岸本千紘, 渡邊慧子, 寺沼樹里, 山川菜里萌, 安部結美, 亙理奈保子, 寺辺やよひ, 村上義和, 石川 忠, 萩原 彰, 岩波行紀, 高草木 章, 仁村秀由喜, 小島健一郎, 芳賀景嗣, 塙 悦郎, 萩澤宏美, 荒川一郎, 千切一恵, 倉持淳子, 田村響子, 佐野眞子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [40%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [60%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 実習時間中随時, 終了後20分

場所: 7階 臨床基礎実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月11日	上杉 華子	ユニット1: 概形印象採得・診断用模型の製作	1) アルジネート印象材の練和を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 診断用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-⑥)
4月18日	中島 邦久	ユニット2: 診断用模型上での診査・総義歯の設計・個人トレーの設計と製作	1) 診断用模型上での診査を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 全部床義歯の外形線を理解する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 個人トレーの外形線を理解する。(E-3-4)-(2)-⑥) 4) ブロックアウト, リリーフを実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 5) トレー製作のために常温重合レジン进行操作する。(E-3-4)-(2)-⑥) 6) 個人トレーの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥)
4月25日	小見野真梨恵	ユニット3: 上顎筋圧形成・精密印象採得・ボクシング・石膏注入	1) 上顎筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 上顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 上顎印象のボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 4) 石膏注入を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥)
5月9日	横山 正起	ユニット4: 下顎筋圧形成・精密印象採得・ボクシング・石膏注入	1) 下顎筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 下顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 下顎印象のボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 4) 石膏注入を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥)
5月16日	上杉 華子	ユニット5: 上下顎作業用模型製作・咬合床製作	1) 上下顎作業用模型の調整を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 上下顎基礎床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 上下顎咬合床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月23日	中島 邦久	ユニット6：仮想咬合平面決定・咬合採得（垂直的顎位決定）・平均値による上顎模型付着	1) 上顎咬合床の修正を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 2) 仮想咬合平面決定を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 3) 垂直的顎位の決定を実施する。(E-3-4)-(2)-(6) 4) 排列実習のための上顎模型と咬合床を咬合平面板を用いて咬合器に付着する。(E-3-4)-(2)-(8)
5月30日	上杉 華子	ユニット7：フェイスボウトランスファー・口頭試問	1) フェイスボウトランスファーを実施する。(E-3-4)-(2)-(8) 2) 修得した知識を確認し、実習の修得度を評価する。
6月6日	小見野真梨恵	ユニット8：咬合採得（水平的顎位決定）・咬合器の顎路調節・平均値による下顎模型の咬合器付着	1) ゴシックアーチ描記法について説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) ゴシックアーチ描記板、描記針の装着を説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 3) ゴシックアーチ描記法を模倣する。(E-3-4)-(2)-(7) 4) ゴシックアーチ描記を用いたチェックバイト法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8) 5) 咬合器の顎路調節法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8) 6) 排列実習のための下顎模型と咬合床を咬合器に付着する。(E-3-4)-(2)-(8)
6月13日	横山 正起	ユニット9：上下顎前歯部排列	1) 咬合堤唇面表示線の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) 前歯部人工歯の選択基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 上顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 下顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)
6月20日	上杉 華子	ユニット10：上下顎前歯部排列・前歯部咬合調整・下顎臼歯部人工歯排列	1) 上顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 下顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 臼歯部人工歯選択基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 4) 下顎法による人工歯排列を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 5) 咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 6) 下顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)
6月27日	中島 邦久	ユニット11：下顎臼歯部人工歯排列・上顎臼歯部人工歯排列	1) 咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) 下顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 上顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)
7月4日	小見野真梨恵	ユニット12：臼歯部人工歯排列・咬合調整	1) 臼歯部人工歯排列時に考慮すべき事項を説明する。(E-3-4)-(2)-(10) 2) 臼歯部人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(10) 3) 咬合調整を説明する。(E-3-4)-(2)-(10)
7月11日	横山 正起	ユニット13：歯肉形成・蝟義歯試適・埋没・重合・再付着・削合調整・研磨・完成義歯装着・義歯装着後の経過観察	1) 歯肉形成の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 2) 歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 3) 試適の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 4) 埋没・重合法を説明実施する。(E-3-4)-(2)-(11) 5) 再付着・削合調整・研磨を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 6) 義歯装着後の経過観察・リライニング・義歯修理を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
8月29日	上杉 華子	ユニット14：口頭試問	1) 修得した知識を確認し、実習の修得度を評価する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

これまでの知識に加え、歯・顎・顔面領域における特異的な疾患、放射線の人体への影響、がんの放射線治療など、臨床における様々な放射線の活用法を理解すると同時に、病院実習に向けて歯科放射線学の知識の確認を行うために、演習を通じて知識の総まとめを行う。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岡野友宏 他 編	歯科放射線学	第6版	医歯薬出版
日本歯科放射線学会 編	歯科臨床における画像診断アトラス	第2版	医歯薬出版
S. Mallya & E. W. N. Lam	White & Pharoah's Oral Radiology	8th Ed.	Mosby
有地榮一郎 他 監修	わかりやすい歯科放射線学	第3版	学建書院

## 担当者一覧

河合泰輔, 浅海利恵子, 神尾 崇, 永浦まどか, 岩田 洋, 林 宗廣, 柿本直也, 飯久保正弘

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 金曜日, 12:10~13:00, 17:00~18:30  
 場所: 100周年記念館3階 歯科放射線学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月5日	浅海利恵子	ユニット1: 唾液腺疾患の画像診断	1) 唾液腺疾患の検査法を述べる。(E-2-4)-⑧) 2) 唾液腺疾患の分類を述べる。(E-2-4)-⑧) 3) 唾液腺疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-⑧)
4月12日	永浦まどか	ユニット2: 顎関節疾患の画像診断	1) 顎関節疾患の検査法を述べる。(E-2-4)-⑦) 2) 顎関節疾患の分類を述べる。(E-2-4)-⑦) 3) 顎関節疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-⑦)
4月19日	河合 泰輔	ユニット3: 上顎洞の画像診断	1) 上顎洞の検査法を述べる。 (E-1-2)-⑧, E-2-2)-⑦) 2) 上顎洞にみられる疾患の分類を述べる。 (E-2-2)-⑦, E-2-4)-(3)-⑥, E-2-4)-(6)-①②③) 3) 上顎洞にみられる疾患の画像所見を述べる。 (E-2-2)-⑦, E-2-4)-(3)-⑥, E-2-4)-(6)-①②③)
4月26日	神尾 崇	ユニット4: Foreign Body	1) 皮下気腫などの緊急時の画像所見を述べる。 (E-1-2)- ⑦⑧⑨) 2) 異所性石灰化物の画像所見を述べる。 (E-1-2)- ⑦⑧⑨) 3) 器具破折時の画像検査について述べる。 (E-1-2)- ⑦⑧⑨)
5月10日	飯久保正弘	ユニット5: 系統疾患の画像診断	1) 系統疾患の分類を述べる。(E-2-4)-(10)-⑥) 2) 系統疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-(10)-⑥)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月17日	林 宗廣	ユニット6：医療画像情報	1) 病院における医療情報の種類を列記する。 (E-1-2)-⑤) 2) 医療情報の取り扱いについて説明する。 (E-1-2)-⑤) 3) 画像と他の医療情報の相互性について説明する。 (E-1-2)-⑤)
5月31日	神尾 崇	ユニット7：三次元画像の応用	1) CT, MRI などの立体画像データの取り扱いを述べる。 (E-1-2)-⑨) 2) CT, MRIなどの立体画像データの取り扱いを述べる。 (E-1-2)-⑨)
6月7日	浅海利恵子	ユニット8：放射線生物学	1) 放射線の生物学的効果を説明する。(E-1-2)-②) 2) 放射線の細胞への影響を説明する。(E-1-2)-②) 3) 正常組織の放射線感受性を説明する。(E-1-2)-②) 4) 放射線障害の発現パターンを説明する。 (E-1-2)-②)
6月14日	浅海利恵子	ユニット9：放射線の人体への影響と放射線防護の基本的考え方	1) 確率的影響と確定的影響を分類する。(E-1-2)-③) 2) 医療被曝, 職業被曝および公衆被曝について説明する。 (E-1-2)-③) 3) 正当化・最適化を説明する。(E-1-2)-③) 4) 法規に記されている線量限度と管理手段を記述する。 (E-1-2)-③)
6月21日	岩田 洋	ユニット10：口内法エックス線撮影の実際	1) 実際の撮影風景の動画を提示し, 口内法撮影について必要な知識を系統的に説明する。 (E-1-2)-⑥, F-2-2)-⑤)
6月28日	柿本 直也	ユニット11：放射線治療	1) 放射線治療の原理を説明する。(E-2-4)-(6)-②③) 2) 放射線治療の種類を説明する。(E-2-4)-(6)-②③) 3) 各種放射線治療の適応を説明する。 (E-2-4)-(6)-②③) 4) 放射線治療による副作用について説明する。 (E-2-4)-(6)-②③)
7月5日	神尾 崇	ユニット12：問題演習1	1) 問題演習を通じて放射線の基礎的事項について説明する。 (E-1-2)-①②③) 2) 問題演習を通じてフィルム・デジタルのエックス線画像の形成, 各種エックス線撮影について説明する。 (E-1-2)-④⑤⑥⑦)
7月12日	浅海利恵子	ユニット13：問題演習2	1) 超音波検査の原理と画像の観察法を説明する。 (E-1-2)-⑨) 2) 問題演習を通じて画像診断の手順について説明する。 (E-1-2)-⑦⑧⑨)
8月30日	河合 泰輔	ユニット14：問題演習3	1) 問題演習を通じて画像診断の手順について説明する。 (E-1-2)-⑦⑧⑨)



# 歯冠補綴学

金曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

今まで学んだ口腔の諸機能と補綴学の概要をさらに発展させ、具体的な歯冠補綴装置の製作に当たって修得しなければならない事項について理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

矢谷博文 他編	クラウンブリッジ補綴学	第6版	医歯薬出版
---------	-------------	-----	-------

## 担当者一覧

五味治徳, 上田一彦, 八田みのり, 松田哲治, 海渡智義

## 学習方略

講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [50%]   
  論述試験 [30%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]   
 その他 ( 中間試験 [20%] )

## オフィスアワー

日時: 第1, 第3火曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月5日	五味 治徳	ユニット1: 支台歯形成 (1)	1) 補綴前処置を説明する。(E-3-3)-(1)-(4) 2) 支台歯形成の概要について述べる。(E-3-4)-(1)-(4) 3) 歯質・歯髄・歯周組織への配慮を説明する。(E-3-4)-(1)-(4) 4) 形成前準備を説明する。(E-3-4)-(1)-(4)
4月12日	五味 治徳	ユニット2: 支台歯形成 (2)	1) 保持力について説明する。(E-3-4)-(1)-(1) 2) 支台歯形態の要件を説明する。(E-3-4)-(1)-(1) 3) 補助的保持形態を列記する。(E-3-4)-(1)-(1) 4) 切削器械・器具の種類と扱い方を述べる。(D-1-1)
4月19日	海渡 智義	ユニット3: 支台築造	1) 支台築造の臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(3) 2) 支台築造の方法を列記する。(E-3-4)-(1)-(3) 3) 支台築造の注意点を列記する。(E-3-4)-(1)-(3) 4) 支台築造用材料を列記する。(E-3-4)-(1)-(3)
4月26日	八田みのり	ユニット4: 暫間処置	1) 暫間処置の臨床的意義を列記する。(E-3-4)-(1)-(7) 2) 種類と製作法を述べる。(E-3-4)-(1)-(7) 3) 暫間修復用材料を述べる。(E-3-4)-(1)-(7) 4) 仮着材の種類と利点・欠点を列記する。(D-2-3)
5月10日	上田 一彦	ユニット5: 印象採得, 圧排法	1) 印象採得の意義を列記する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 印象材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(5) 3) 印象法を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(5) 4) 歯肉圧排の目的を述べる。(E-3-4)-(1)-(5)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月17日	五味 治徳	ユニット6：作業用模型・顎間関係の記録	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 作業用模型の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(9))</li> <li>2) 作業用模型の要件を述べる。(E-3-4)-(1)-(9))</li> <li>3) 作業用模型の製法を述べる。(E-3-4)-(1)-(9))</li> <li>4) 使用される材料を選択する。(E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>5) 咬合に関する各基準平面を関係づける。 (E-3-4)-(1)-(10))</li> <li>6) 咬合器の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(10))</li> <li>7) 咬合平板の原理を説明する。(E-3-4)-(1)-(10))</li> <li>8) フェイスボウ記録の原理を説明する。 (E-3-4)-(1)-(10))</li> </ol>
5月31日	五味 治徳	ユニット7：咬合器の調節	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 咬合器の顎路の調節法を列記する。 (E-3-4)-(1)-(10))</li> <li>2) 咬合器の種類と顎路の調節法を関係づける。 (E-3-4)-(1)-(10))</li> <li>3) チェックバイト法の原理を説明する。 (E-3-4)-(1)-(10))</li> <li>4) チェックバイト法の手順を述べる。 (E-3-4)-(1)-(10))</li> </ol>
6月7日	五味 治徳	ユニット8：ワックスパターン形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インレーワックスの種類と取り扱いを述べる。 (E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>2) 分離剤の種類と意義を述べる。(E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>3) ワックスパターン形成法を列記する。 (E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>4) 埋没の準備とタイミングを述べる。 (E-3-4)-(1)-(2))</li> </ol>
6月14日	五味 治徳	ユニット9：中間試験	前回までの学習内容を整理・再確認する。
6月21日	松田 哲治	ユニット10：埋没	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 埋没の目的を述べる。(E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>2) 埋没材の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>3) 埋没操作の注意事項を述べる。(E-3-4)-(1)-(2))</li> </ol>
6月28日	松田 哲治	ユニット11：鑄造（金属，ガラス）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鑄造法を列記する。(E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>2) 金属融解法を述べる。(E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>3) 鑄造用金属を列記する。(E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>4) 鑄造収縮の補正を説明する。(E-3-4)-(1)-(2))</li> <li>5) キャスタブルセラミックスを説明する。 (E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>6) プレッサブルセラミックスを説明する。 (E-3-4)-(1)-(8))</li> </ol>
7月5日	松田 哲治	ユニット12：鑄造欠陥，ろう付け，研磨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鑄造欠陥を識別する。(E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>2) ろう付けについて述べる。(E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>3) 研磨について説明する。(E-3-4)-(1)-(8))</li> <li>4) 不良補綴装置の生体為害性を述べる。 (E-3-4)-(1)-(1))</li> </ol>
7月12日	五味 治徳	ユニット13：試適・仮着・合着・術後管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 試適時の検査項目を列記する。(E-3-4)-(1)-(11))</li> <li>2) 仮着の意義を述べる。(E-3-4)-(1)-(11))</li> <li>3) 合着と接着を対比する。(E-3-4)-(1)-(11))</li> <li>4) 術後管理の意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(12))</li> <li>5) 患者指導を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(13))</li> </ol>
8月30日	五味 治徳	ユニット14：問題演習および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 問題演習により学習内容の習熟度を評価する。</li> </ol>

# 歯周病学

金曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床に必要な基本術式の知識を身につける。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

## 担当者一覧

沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 石黒一美, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎, 大崎忠夫

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 金曜日 18:00~19:00

場所: 100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月5日	沼部 幸博	ユニット1: 歯周治療の流れ	1) 歯肉病変と歯周炎を分類する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 歯肉病変と歯周炎の特徴を列記する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の検査の目的と方法を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断について説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 歯周治療の流れについて説明する。(E-3-3)-(3)-②)
4月12日	石黒 一美	ユニット2: 歯周基本治療 (1)	1) 歯周治療における, 歯周基本治療の位置づけを理解する。(E-3-3-(3)-②) 2) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3-(3)-②) 3) 歯周基本治療の内容を列記する。(E-3-3-(3)-②) 4) 応急処置が必要な場合を理解する。(E-3-3-(3)-②) 5) 症状と必要な応急処置を関連付ける。(E-3-3-(3)-②)
4月19日	石黒 一美	ユニット3: 歯周基本治療 (2)	1) 歯周治療におけるモチベーションの重要性を述べる。(E-3-3-(3)-②) 2) プラークコントロールの必要性を説明する。(E-3-3-(3)-②) 3) 手用歯ブラシを用いたブラッシング法を説明する。(E-3-3-(3)-②) 4) 補助清掃器具の使用法を説明する。(E-3-3-(3)-②) 5) 化学的プラークコントロールの種類を列記する。(E-3-3-(3)-②) 6) 歯磨剤, 洗口剤の成分とその効果を述べる。(E-3-3-(3)-②) 7) PMTCの定義を述べる。(E-3-3-(3)-②) 8) PMTCで用いる器具・器材を列挙する。(E-3-3-(3)-②) 9) PMTCを行う際の注意点を挙げる。(E-3-3-(3)-②) 10) プラークコントロールの必要性を説明する。(E-3-3-(3)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月26日	倉治竜太郎	ユニット4：歯周基本治療（3）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スケーリング・ルートプレーニングの目的を説明する。(E-3-3)-3-②)</li> <li>2) スケーリング・ルートプレーニングで用いる器具と使用法を列記する。(E-3-3)-3-③)</li> <li>3) 使用器具の構造や特徴を具体的に述べる。(E-3-3)-3-③)</li> </ol>
5月10日	村樫 悦子	ユニット5：歯周基本治療（4）・再評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 知覚過敏症の処置を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>2) 暫間固定を説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>3) 咬合調整を説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>4) 再評価の意義・目的を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>5) 再評価時の検査項目を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>6) 歯周ポケットの反応性を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> </ol>
5月17日	大崎 忠夫	ユニット6：歯周外科治療（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周外科治療の目的を説明する。(E-3-3)-3-④)</li> <li>2) 歯周外科治療の適応・禁忌を説明する。(E-3-3)-3-④)</li> </ol>
5月31日	五十嵐寛子	ユニット7：歯周外科治療（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組織付着療法について術式を列記し、特徴を説明する。(E-3-3)-3-④)</li> <li>2) 切除療法について術式を列記し、特徴を説明する。(E-3-3)-3-④)</li> <li>3) 組織付着療法・切除療法の治癒過程を説明する。(E-3-3)-3-⑤)</li> </ol>
6月7日	関野 愉	ユニット8：歯周外科治療（3）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根分岐部病変の病態について説明する。(E-3-3)-2-③)</li> <li>2) 根分岐部病変の検査と治療方針を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>3) 歯根の保存療法を説明する。(E-3-3-(3)-④)</li> <li>4) 歯根の切除療法を説明する。(E-3-3-(3)-④)</li> </ol>
6月14日	関野 愉	ユニット9：歯周外科治療（4）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根分岐部病変の検査と治療方針を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>2) 歯根の保存療法を説明する。(E-3-3-(3)-④)</li> <li>3) 歯根の切除療法を説明する。(E-3-3-(3)-④)</li> </ol>
6月21日	沼部 幸博	ユニット10：歯周外科治療（5）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周組織再生療法の基本について述べる。(E-3-3)-(3)-②, ③)</li> <li>2) 歯周組織再生療法の創傷治癒過程を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤)</li> <li>3) 歯周組織再生療法を分類する。(E-3-3)-(3)-②)</li> </ol>
6月28日	沼部 幸博	ユニット11：歯周外科治療（6）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) GTR法、GBR法について説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>2) エナメルマトリックスタンパク質および成長因子を応用した再生療法について説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>3) 骨移植術について説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
7月5日	伊藤 弘	ユニット12：歯周外科治療（7）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周形成手術の概念を説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>2) 歯周形成手術の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-③)</li> <li>3) 歯周形成手術の適応症を列記する。 (E-3-3)-(3)-③)</li> <li>4) 歯周形成手術の禁忌症を列記する。 (E-3-3)-(3)-③)</li> <li>5) 歯周形成手術の術式を述べる。 (E-3-3)-(3)-④)</li> </ul>
7月12日	関野 愉	ユニット13：口腔機能回復治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周病患者における矯正治療について説明する。 (E-3-3-(3)-③)</li> <li>2) 歯周病患者における修復，補綴治療について説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>3) インプラント周囲組織の特徴を説明する。 (E-3-4-(3)-④)</li> <li>4) インプラント周囲病変を説明する。 (E-3-4-(3)-⑧)</li> </ul>
8月30日	伊藤 弘	ユニット14：メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) メンテナンスとSPTの意義と目的について説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>2) リコールシステムについて説明する。 (E-3-3)-(3)-②)</li> <li>3) メンテナンス来院時の検査と治療について説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> </ul>



# 部分床義歯補綴学

金曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

赤川安正・岡崎定司・志賀 博・横山敦郎編 歯学生のパーシャルデンチャー 第6版 医歯薬出版

## 担当者一覧

横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [40%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (中間テスト [20%])

## オフィスアワー

日時: 第1, 第3木曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月5日	小見野真梨恵	ユニット1: 部分床義歯の定義・分類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 部分床義歯補綴の目的と臨床的意義について説明する。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>2) 部分床義歯の選択に関わる諸因子を説明する。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>3) ブリッジと部分床義歯の長所と短所を説明する。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>4) 残存歯と欠損部の位置関係による分類を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤)</li> <li>5) 咬合支持による分類を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤)</li> <li>6) 分類に基づいた部分床義歯の診断の意義を述べる。(E-3-4)-(2)-⑤)</li> </ol>
4月12日	小見野真梨恵	ユニット2: 歯の欠損に伴う形態と機能の変化・部分床義歯の構成要素	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の欠損に伴って生じる顎堤の変化を説明する。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>2) 咀嚼系の形態と機能の変化を説明する。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>3) 補綴治療の意義を述べる。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>4) 歯の欠損に継発する症候について説明する。(E-3-4)-(2)-①)</li> <li>5) 部分床義歯の構成要素を述べる。(E-3-4)-(2)-④)</li> </ol>
4月19日	上杉 華子	ユニット3: 支台装置 (維持装置) ①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 支台装置の目的と要件を述べる。(E-3-4)-(2)-④)</li> <li>2) 支台装置の構造と機能を述べる。(E-3-4)-(2)-④)</li> <li>3) 直接維持装置と間接維持装置の違いを説明する。(E-3-4)-(2)-④)</li> <li>4) 支台装置の働き方について説明する。(E-3-4)-(2)-④)</li> <li>5) クラスプの種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-④)</li> <li>6) クラスプの形態による分類を述べる。(E-3-4)-(2)-④)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月26日	上杉 華子	ユニット4：支台装置（維持装置）②	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) クラスプの製法または使用材料による分類を述べる。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>2) キャストクラスプの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>3) キャストクラスプの形態を述べる。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>4) キャストクラスプに必要とされる要件を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>5) ワイヤークラスプの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>6) ワイヤークラスプの形態を述べる。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>7) ワイヤークラスプに必要とされる要件を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> </ol>
5月10日	上杉 華子	ユニット5：中間テスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中間テストにより学習内容の理解度を認識する。</li> </ol>
5月17日	横山 正起	ユニット6：アタッチメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) アタッチメントの分類を列記する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>2) アタッチメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>3) クラスプとの相違点を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>4) 歯冠外アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>5) 歯冠内アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>6) 歯根アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>7) バーアタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>8) 磁性アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>9) オーバーデンチャーを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> </ol>
5月31日	横山 正起	ユニット7：連結装置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 連結装置の目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>2) 上顎に应用される連結装置の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>3) 下顎に应用される連結装置の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>4) 上下顎に应用される連結装置の適応症を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> <li>5) 小連結装置について説明する。(E-3-4)-(2)-(4)</li> </ol>
6月7日	横山 正起	ユニット8：診察・治療計画の立案	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 部分床義歯患者の初診時において必要とされる診査項目を列挙する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>2) 診査結果の臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>3) 合理的な治療計画の立案法について述べる。(E-3-4)-(2)-(5)</li> </ol>
6月14日	横山 正起	ユニット9：治療計画・設計（義歯の動き）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 診査・診断から治療計画立案までの流れを説明する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>2) 咬合、欠損様式、支台歯の状態が治療計画に及ぼす影響を述べる。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>3) 審美性、口腔内感覚、発音、衛生状態が治療計画に及ぼす影響を述べる。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>4) 治療計画に影響を及ぼす因子について、その対処法を述べる。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>5) 義歯の動きを説明する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>6) 支台歯間線と維持線を説明する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> <li>7) 近心レストと遠心レストの違いを説明する。(E-3-4)-(2)-(5)</li> </ol>



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月21日	小見野真梨恵	ユニット10：前処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 前処置の意義と目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(5))</li> <li>2) 前処置の種類と方法を列挙する。(E-3-4)-(2)-(5))</li> <li>3) 咬合平面の修正方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(5))</li> </ul>
6月28日	小見野真梨恵	ユニット11：印象採得	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 欠損状態や支持形式の違いによる各種印象採得法について、その意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(6))</li> <li>2) 粘膜への圧力別および機能的印象法について説明する。(E-3-4)-(2)-(6))</li> <li>3) 各種印象材の特徴を列挙する。(E-3-4)-(2)-(6))</li> <li>4) 印象採得時の手順を述べる。(E-3-4)-(2)-(6))</li> <li>5) 印象採得時の留意点について述べる。(E-3-4)-(2)-(6))</li> </ul>
7月5日	小見野真梨恵	ユニット12：サベイング	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 部分床義歯の着脱方向に関連するアンダーカットを説明する。(E-3-4)-(2)-(4))</li> <li>2) サベイングの目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(5))</li> <li>3) サベイヤーの構造を説明する。(E-3-4)-(2)-(5))</li> <li>4) サベイングの手順を具体的に説明する。(E-3-4)-(2)-(5))</li> </ul>
7月12日	小見野真梨恵	ユニット13：フレームワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) フレームワークの各部の名称について説明する。(E-3-4)-(2)-(5))</li> <li>2) フレームワークの製作手順について説明する。(E-3-4)-(2)-(12))</li> <li>3) フレームワークの試適について説明する。(E-3-4)-(2)-(12))</li> <li>4) 金属床義歯とレジン床義歯の比較について説明する。(E-3-4)-(2)-(2))</li> </ul>
8月30日	小見野真梨恵	ユニット14：前期授業まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 前期学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。</li> </ul>

---

## 後学期授業科目

---

歯周病学実習 .....	58
歯周病学 .....	62
総合基礎歯学〔解剖学〕 .....	66
総合基礎歯学〔組織学〕 .....	68
総合基礎歯学〔病理学〕 .....	70
総合基礎歯学〔生化学〕 .....	72
総合基礎歯学〔生理学〕 .....	74
総合基礎歯学〔薬理学〕 .....	76
口腔インプラント学 .....	78
統合臨床基礎学実習 .....	82
総合基礎歯学〔微生物学〕 .....	86
総合基礎歯学〔歯科理工学〕 .....	88
口腔衛生学 .....	90
歯内療法学 .....	92
社会歯科学 .....	96
障害者歯科学 .....	100
部分床義歯補綴学 .....	104
部分床義歯補綴学実習 .....	106
口腔内科学 .....	108
歯科麻酔・救急処置 .....	112
口腔外科の基本手技実習 .....	114
(計 21科目)	

Laboratory Practice in Periodontics .....	58
Periodontics .....	62
Anatomy .....	66
Human Histology .....	68
Pathology .....	70
Biochemistry .....	72
Physiology .....	74
Pharmacology .....	76
Oral Implantology .....	78
Integrative Clinical Fundamental Practice .....	82
Microbiology and Infection .....	86
Dental Materials Science .....	88
Oral Health .....	90
Endodontics .....	92
Social Dentistry .....	96
Special Needs Dentistry .....	100
Removable Partial and Complete Denture Prosthodontics .....	104
Laboratory Practice in Removable Partial and Complete Denture Prosthodontics .....	106
Oral Medicine .....	108
Dental Anesthesiology and Emergency Treatment .....	112
Laboratory Practice in Oral Surgery .....	114

(計 21科目)

## 令和6年度（第4学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	歯周病学 (実習:沼部)		歯周病学 (沼部)	総合基礎歯学 〔解剖学/組織学〕 (春原/菊池)	※
火	総合基礎歯学 〔病理学/生化学〕 (添野/今井)	総合基礎歯学 〔生理学/薬理学〕 (佐伯/筒井)	口腔インプラント学 (柳井)	統合臨床基礎学 (実習:前田)	
水	総合基礎歯学 〔微生物学/歯理工学〕 (高橋/新谷)	口腔衛生学 (講座代表者)	歯内療法学 (講座代表者)	社会歯科学 (石垣)	※
木	障害者歯科学 (統合:内川)	部分床義歯補綴学 (講座代表者)	部分床義歯補綴学 (実習:講座代表者)	※	
金	口腔内科学 (松野/石垣) <small>有病者歯科学を含む</small>	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	口腔外科の基本手技 (実習:里見/砂田/柳井) インプラント実習含む	※	

- 1) 授業期間 令和6年9月30日(月)～令和6年12月24日(火)  
令和7年1月6日(月)～令和7年1月20日(月)  
(令和6年12月25日(水)～令和7年1月3日(金)は冬期休業)
- 2) 講 堂 152講堂 (実習科目は臨床基礎実習室で行う)
- 3) そ の 他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。  
②ワクチン接種は16時30分から実施(詳細は後日掲示)。  
③「※」の時間で祝日調整を実施。(今年度は月曜日科目各1回)  
④12月24日(火)は, 金曜日時間割を実施する。
- 4) 年間総合単位数 40.0単位
- 5) 臨床実習事前オリエンテーションは受講必須(詳細は後日掲示)

# 歯周病学実習

月曜日 9:00~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

講義で学んだ理論を踏まえ、歯周病学の臨床における基本的術式を理解するために、必要な基礎的臨床技能および態度を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

## 担当者一覧

沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 石黒一美, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎, 林 英昭, 沼部真理子, 伊藤明子, 川村浩樹, 大崎忠夫, 清信浩一, 濱田 亮, 高橋亮一, 藤田佑三, 大久保美佐, 石井マイケル大宜, 上原 直, 和田祐季, 三代紗季, 宮下幸大, 山崎 桂, 仲谷 寛, 小川智久, 鈴木麻美, 大澤銀子, 南 こずえ, 横山知美, 角田憲祐, 前田祐貴, 小玉美也子, 阪 奈津子, 磯 亮輔, 杉山祐太, 森口奈賀子, 野口由紀子, 眞下絢香, 美濃直輝, 山本陸矢, 岩崎直弥, 岡部俊秀, 吉田 聡, 斉藤洋一, 斉藤文重, 我妻瑞穂, 金森行泰, 國分貴子, 井上修輔, 亘理 瑛, 大塚 源, 小沼 晃

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [10%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [10%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [80%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月曜日 17:00~18:00  
 場所: 100周年記念館 5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	伊藤 弘	ユニット1: 歯周組織検査 (1)	1) 歯周組織検査について説明する。(F-1-1)-②) 2) 歯周組織検査を列記する。(F-1-1)-②) 3) 歯周組織検査を実施する。(F-2-2)-④) 4) 歯周組織検査に用いる器具を選択する。(F-2-2)-④) 5) 歯周組織の状態を記録用紙に記載する。(F-2-2)-④) 6) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-①)
10月7日	伊藤 弘	ユニット2: 歯周組織検査 (2)	1) 歯周組織検査について説明する。(F-1-1)-②) 2) 歯周組織検査を実施する。(F-2-2)-④) 3) プロービングを実施する。(F-2-2)-④) 4) プロービングに用いる器具を選択する。(F-2-2)-④) 5) プロービングの結果を記録用紙に記載する。(F-2-2)-④) 6) エックス線画像を読影し診断する。(F-2-2)-⑤) 7) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-①)
10月21日	伊藤 弘	ユニット3: 歯周基本治療 (1)	1) 歯周病の病状をわかりやすく伝える。(F-1-1)-②) 2) プラークコントロールの方法を説明する。(F-3-3)-④) 3) プラークコントロールの方法を列記する。(F-3-3)-④) 4) プラークコントロールの方法を習得する。(F-3-3)-④) 5) 口腔清掃状況を評価する。(F-2-2)-④) 6) 口腔清掃を実施する。(F-3-3)-④) 7) 平易な言葉で口腔清掃指導を実施する。(F-3-3)-④) 8) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	石黒 一美	ユニット4：歯周基本治療（2） OSCE：課題（5-9）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スケーリング・ルートプレーニングの目的を説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>2) スケーラーの特徴を説明する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>3) 前歯部のスケーリング・ルートプレーニングに用いる適切な器具を選択する。(E-3-3-(3)-③, F-3-1)-②, F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 前歯部のスケーリング・ルートプレーニングの模型実習を実施する。(E-3-3-(3)-③, F-1-2)-①, ②, F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(A-4-2)-①, ②, F-1-2)-①, ②)</li> </ol>
11月11日	五十嵐寛子	ユニット5：歯周基本治療（3）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スケーラーの特徴を説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>2) 左側臼歯部のスケーリング・ルートプレーニングを実施する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>3) 患者を想定してスケーリング・ルートプレーニングについて説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 歯面研磨を実施する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-⑤)</li> </ol>
11月18日	五十嵐寛子	ユニット6：歯周基本治療（4）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) スケーラーの特徴を説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>2) 右側臼歯部のスケーリング・ルートプレーニングを実施する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>3) 患者を想定してスケーリング・ルートプレーニングについて説明する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 歯面研磨を実施する。(F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-⑤)</li> </ol>
11月25日	五十嵐寛子	ユニット7：歯周基本治療（5）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適切なシャープニングを実施する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>2) グレーシーキュレットの刃部の形態を説明する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>3) 暫間固定を実施する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑥)</li> <li>4) 電動ブラシの使用法を説明する。(E-3-3-(3)-②, F-3-2)-③, F-3-3)-④)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-3-3)-④, ⑤, ⑥)</li> </ol>
12月2日	村樫 悦子	ユニット8：歯周外科治療（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周外科手術の意義を説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>2) フラップ手術の縫合を実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>3) フラップ手術を実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>4) 患者を想定してフラップ手術について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(E-3-3-(3)-③)</li> </ol>
12月9日	倉治竜太郎	ユニット9：歯周外科治療（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 根分岐部病変に対する処置について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>2) 根分岐部病変に対する処置を列記する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>3) ヘミセクションを実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>4) 患者を想定してヘミセクションについて説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月16日	倉治竜太郎	ユニット10：歯周外科治療（3）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯肉切除術を実施する。(E-3-3-(3)-③)</li> <li>2) 患者を想定して歯肉切除術について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>3) 歯肉切除術に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>4) 歯周パックを実施する。(E-3-3)-④)</li> <li>5) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法を実施する。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>6) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法の術式を述べる。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>7) 患者を想定してFGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>8) FGF-2製剤を用いた歯周組織再生療法に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>9) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>
12月23日	倉治竜太郎	ユニット11：歯周外科治療（4）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) GTR法を実施する。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>2) GTR法の術式を述べる。(E-3-3-(3)-③～④)</li> <li>3) 患者を想定してGTR法について説明する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>4) GTR法に用いる器具を選択する。(E-3-3-(3)-①)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないよう配慮する。(F-1-①～③)</li> </ol>
1月6日	関野 愉	ユニット12：病状説明と口腔衛生指導 OSCE：課題（4-1, 4-2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の口腔内，エックス線画像，歯周組織検査結果から病態を把握する。(E-3-3-(3)-②, F-1-1)-①, ②)</li> <li>2) 患者が理解しやすいように病状と検査結果を説明する。(A-4-2)-①, ②, E-3-3-(3)-②, F-2-1)-⑦)</li> <li>3) 口腔清掃状態をチャートから把握する。(E-3-3-(3)-②, F-3-2)-①, ②)</li> <li>4) 適切な口腔清掃指導を実施する。(E-3-3-(3)-②, F-3-2)-③, F-3-3)-④)</li> <li>5) 病態説明や適切な口腔清掃指導を行えているか互いに評価する。</li> </ol>
1月20日	沼部 幸博	ユニット13：スケーリング・ルートプレーニングの説明と実践 OSCE：課題（5-9）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適切な患者への説明を実施する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>2) 適切な器具を選択する。(E-3-3-(3)-③, F-1-2)-①, F-3-3)-⑤)</li> <li>3) 超音波スケーラーの使用法を説明する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>4) 超音波スケーラーの使用法を習得する。(E-3-3-(3)-③, F-3-3)-⑤)</li> <li>5) 患者に不快感を与えないように配慮する。(F-3-3)-⑤)</li> </ol>





# 歯周病学

月曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床に必要な基本術式の知識を身につける。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

## 担当者一覧

沼部幸博, 佐藤 聡, 伊藤 弘, 関野 愉, 村極悦子, 石黒一美, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎, 川村浩樹

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月曜日 17:00~18:00

場所: 100周年記念館5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月30日	沼部 幸博	ユニット1: ペリオドンタルメディスン (1)	1) 歯周病が影響を及ぼす全身疾患について列記する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 歯周病が全身に影響を与える理由について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 心血管疾患との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 4) 糖尿病との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①)
10月7日	沼部 幸博	ユニット2: ペリオドンタルメディスン (2)	1) 呼吸器疾患について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 早産, 低体重児出産との関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 関節リウマチとの関連について説明する。(E-3-3)-(3)-①) 4) メタボリックシンドロームとの関連を説明する。(E-3-3)-(3)-①)
10月21日	伊藤 弘	ユニット3: 特殊な歯周病 (1)	1) 特殊な歯周病について説明する。(E-3-3)-(3)-①), (E-3-2)-(3) 2) 特殊な歯周病を列記する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 特殊な歯周病の特徴を述べる。(E-3-3)-(3)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月21日	伊藤 弘	ユニット4：特殊な歯周病（2） 第5時限目：16：30～18：00	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>2) 疱疹性歯肉口内炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>3) 剥離性歯肉炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>4) 歯肉線維腫症について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>5) 薬物性歯肉増殖症について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>6) Down症候群と歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>7) 低ホスファターゼ症と歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>8) Papillon-Lefèvre症候群と歯周炎について説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> </ol>
10月28日	倉治竜太郎	ユニット5：歯周組織の突発病変への対応・歯周治療における薬物療法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 突発的な歯の動揺について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>2) 歯の挺出について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>3) 歯肉の急激な腫脹・膿瘍形成を説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>4) 歯肉の異常増殖について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>5) 歯周組織の急性および慢性疼痛を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>6) 歯周治療後のポケット再発について説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>7) その他の突発的な歯周組織の変化を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)</li> <li>8) 薬物療法の概念を説明する。(E-3-3)-(3)-③)</li> <li>9) 歯周治療に用いる局所および全身投与製剤を説明する。(E-3-3)-(3)-③)</li> </ol>
11月11日	関野 愉	ユニット6：ライフステージを通じた歯周治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の歯周病の特徴を説明する。(E-4-2-⑥)</li> <li>2) 思春期の歯周病の特徴を説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>3) 妊娠と関連して発現する歯周病の特徴を説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>4) 高齢者の歯周病の特徴を説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>5) 各ライフステージにおける、歯周治療の留意点を説明する。(B-3-2)-④)</li> </ol>
11月18日	五十嵐寛子	ユニット7：歯周病の予防管理・多職種連携 当日中間試験予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周病の予防法を具体的に説明する。(B-3-2)-①)</li> <li>2) ホームケア、プロフェッショナルケアについて説明する。(B-3-1)-②)</li> <li>3) 一次、二次、三次予防について説明する。(B-3-1)-①)</li> <li>4) それぞれの職種が対象者と関わる内容を説明する。(B-3-2)-④)</li> </ol>
11月25日	関野 愉	ユニット8：インプラント周囲炎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラント周囲粘膜炎について説明する。(E-3-4)-(3)-②)</li> <li>2) インプラント周囲炎について説明する。(E-3-4)-(3)-②)</li> <li>3) インプラント周囲粘膜炎・周囲炎の治療法を列記する。(E-3-4)-(3)-⑧)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
12月2日	村樫 悦子	ユニット9：歯周治療におけるレーザーの応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) レーザーの発振原理，特性および生体組織への影響を説明する。(D-1-①)</li> <li>2) 各種レーザー機器の分類とその特徴を説明する。(D-1-①)</li> <li>3) 各種レーザー機器を応用した歯周治療を理解する。(E-3-3-(3)-②, ③)</li> </ul>
12月9日	佐藤 聡	ユニット10：歯周外科治療の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 問題文の情報，口腔内写真，エックス線写真，歯周組織検査結果の情報から病態を説明する。(E-3-3)-(3)-①)</li> <li>2) 病態の違いにより適応となる歯周外科治療の方法が選択できる。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>3) 選択した歯周外科治療の目的，術式を述べるができる。(E-3-3)-(3)-③)</li> </ul>
12月16日	倉治竜太郎	ユニット11：臨実演習・診査診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周病の分類と臨床所見を説明する。(E-3-2)-③)</li> <li>2) 歯周病のリスクファクターを列記し，歯周病が多因子性疾患であることを説明する。(E-3-2)-③)</li> <li>3) 特殊な歯周病の原因と臨床症状，治療方針を説明する。(E-3-2)-③)</li> <li>4) 歯周病の検査から得られる情報を整理・統合し，適切な診断を行うプロセスを学習する。(E-3-3-(3)-②)</li> </ul>
12月23日	川村 浩樹	ユニット12：臨実演習・歯周基本治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3)-②)</li> <li>2) 歯周基本治療の検査項目を述べる。(E-3-3)-②)</li> <li>3) 歯周基本治療の手順，方法について述べる。(E-3-3)-③)</li> </ul>
1月6日	石黒 一美	ユニット13：臨実演習・歯周外科治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 問題文から歯周組織の状態を把握するために必要な情報を抜粋する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>2) 口腔内写真から病態を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>3) エックス線所見を説明する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>4) 歯周組織検査結果から得られる情報を整理する。(E-3-3-(3)-②)</li> <li>5) 問題，視覚素材から得られた情報を統合し，適切な解答を導くためのプロセスを知る。(E-3-3-(3)-②, ③, ④)</li> <li>6) 適切な歯周外科治療を選択する。(E-3-3-(3)-④)</li> <li>7) 歯周外科治療で用いる器具と用途を説明する。(E-3-3-(3)-④)</li> <li>8) 歯周外科治療後の組織の治癒機転と予後を説明する。(E-3-3-(3)-⑤)</li> </ul>
1月20日	伊藤 弘	ユニット14：症例検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 初診時からの一口腔単位の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>2) 治療計画の見直しを判断する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>3) 症例を通して検査・診断・治療計画の流れを理解する。(E-3-3)-(3)-②)</li> <li>4) 症例を通して歯周治療の実際を体感する。(E-3-3)-(3)-②)</li> </ul>



# 総合基礎歯学〔解剖学〕

月曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

人体の構造を画像で理解できる知識を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
金子丑之助 著	日本人体解剖学	第19版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

## 担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]     論述試験     口頭試験     レポート     ポートフォリオ     シミュレーションテスト  
 実地試験     観察記録     態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	井出 吉昭	ユニット1: 頭頸部の骨	1) 頭蓋骨の概要を説明する。(E-2-1)-②) 2) 側頭骨, 蝶形骨, 上顎骨, 下顎骨の形態について説明する。(E-2-1)-②) 3) 鼻腔, 副鼻腔, 骨口蓋, 翼口蓋窩, 顎関節の構造について説明する。(E-2-1)-②, E-2-1)-⑥, E-2-2)-⑦) 4) 頭蓋骨を通過する神経, 脈管の孔を説明する。(E-2-1)-②, E-2-1)-④, E-2-1)-⑤)
10月7日	井出 吉昭	ユニット2: 頭頸部の筋	1) 表情筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-③) 2) 咀嚼筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-③) 3) 舌骨上・下筋の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(E-2-1)-③) 4) 頸部三角と筋膜隙を構成する筋と形態学的特徴を説明する。(E-2-1)-③, E-2-1)-④, E-2-1)-⑤)
10月21日	井出 吉昭	ユニット3: 頭頸部の神経	1) 脳神経の概要を説明する。(E-2-1)-⑤) 2) 三叉神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤) 3) 顔面神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤) 4) 舌咽神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤) 5) 迷走神経の走行と働きを説明する。(E-2-1)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	春原 正隆	ユニット4：頭頸部の脈管 GIO：脈管に関する解剖学的基礎知識を整理する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心臓の形態学的特徴と働きを説明する。(C-3-4-(4)-①)</li> <li>2) 大動脈の分枝を列記する。(C-3-4-(4)-②)</li> <li>3) 頭頸部の脈管の概要を説明する。(E-2-1)-(4)</li> <li>4) 外頸動脈の分枝を列記する。(E-2-1)-(4)</li> <li>5) 顎動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-(4)</li> <li>6) 顔面動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-(4)</li> <li>7) 舌動脈の経路と分枝を説明する。(E-2-1)-(4)</li> <li>8) 頭頸部の主要な静脈を説明する。(E-2-1)-(4)</li> <li>9) 頭頸部のリンパ節の部位とリンパ管の経路を説明する。(E-2-1)-(4)</li> </ol>
11月11日	春原 正隆	ユニット5：頭頸部の内臓 GIO：頭頸部の内臓に関する解剖学的基礎知識を整理する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 軟口蓋の筋の形態学的特徴を説明する。(E-2-2)-①)</li> <li>2) 舌の形態的特徴を説明する。(E-2-1)-⑩, E-2-2)-⑩)</li> <li>3) 唾液腺の形態学的特徴を説明する。(E-2-2)-⑤, E-2-2)-⑥)</li> <li>4) 咽頭の構成要素を説明する。(E-2-1)-⑪)</li> <li>5) 喉頭の構成要素を説明する。(E-2-1)-⑪)</li> </ol>
11月18日	前田 祐貴	ユニット6：全身の解剖 GIO：全身の解剖学的基礎知識を整理する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全身の骨の名称と形態を説明する。(C-3-4)-(2)-①)</li> <li>2) 全身の筋の名称と形態を説明する。(C-3-4)-(3)-③)</li> <li>3) 消化器系の概要を説明する。(C-3-4)-(7)-①, C-3-4)-(7)-②, C-3-4)-(7)-③)</li> <li>4) 呼吸器系の概要を説明する。(C-3-4)-(8)-①, C-3-4)-(8)-②)</li> <li>5) 感覚器の概要を説明する。(C-3-4)-(6))</li> <li>6) 内分泌器の概要を説明する。(C-3-4)-(9))</li> </ol>
11月25日	春原 正隆	ユニット7：解剖学のまとめ GIO：解剖学的基礎知識を整理する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習項目を列記する。</li> <li>2) 各項目の理解度を調べる。</li> <li>3) 修得した知識を適用する。</li> </ol>

# 総合基礎歯学〔組織学〕

月曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

臨床において求められる知識と応用力を身につけるために、第1～3学年で学んだ人体の諸器官、歯および口腔領域の諸器官の形状、微細構造、機能について知識の整理と再確認を実施する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
阿部和厚・牛木辰男 著	組織学	改訂20版	南山堂
石村和敬・井上貴央監訳	最新カラー組織学	第1版	西村書店
伊藤 隆 著	組織学	改訂19版	南山堂
脇田 稔 他	口腔組織・発生学	第2版	医歯薬出版(株)
解剖学第2講座編集	組織学実習テキスト		日本歯科大学
磯川桂太郎 他	カラーアトラス 口腔組織発生学	第4版	わかば出版(株)
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店

## 担当者一覧

菊池憲一郎, 池田利恵, 小川清美

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
11月25日	池田 利恵 5限 16:30-18:00	ユニット1: オリエンテーション, 組織の構造と機能 (1) -細胞, 上皮組織-	1) 組織学の概要を説明する。(A-2-2)-①, ②) 2) 細胞膜と細胞内小器官の構造と機能について説明する。(C-2-3)-①) 3) 細胞分裂と細胞死について述べる。(C-2-3)-③) 4) 上皮組織の種類と構造について述べる。(C-3-4)-(1)-①)
12月2日	菊池憲一郎	ユニット2: 組織の構造と機能 (2) -支持組織, 結合組織, 特殊な支持組織 (軟骨・骨) -	1) 支持組織の分類と構造, 構成する細胞について説明する。(C-3-4)-(2)-②) 2) 結合組織の細胞と線維, 細胞外基質について説明する。(C-3-4)-(2)-②) 3) 軟骨の種類と特徴を述べる。(C-3-4)-(2)-③) 4) 骨の構造と構成する細胞を述べる。(C-3-4)-(2)-③, ④)
12月9日	池田 利恵	ユニット3: 組織の構造と機能 (3) -消化器系, 筋組織-	1) 消化器系の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(7)-①, ②, ③, E-2-2)-⑥) 2) 筋組織の分類と分布, 特徴について説明する。(C-3-4)-(3)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月16日	菊池憲一郎	ユニット4：組織の構造と機能（4） -呼吸器系，内分泌系-	1) 呼吸器系の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(8)-①, ②) 2) 内分泌系の基本構造について説明する。(C-3-4)-(9)-①)
12月23日	菊池憲一郎	ユニット5：組織の構造と機能（5） -神経組織，泌尿器系-	1) 神経組織の組織を構成する細胞の特徴について述べる。(C-3-4)-(5)-②, ③, ⑦, ⑨) 2) 泌尿器系に属する器官の基本構造について述べる。(C-3-4)-(10)-①)
1月6日	小川 清美	ユニット6：口腔組織（1）-歯の発生，歯の組織構造	1) 歯胚の発生にたずさわる胚葉とそれらの相互作用について述べる。(E-3-1)-①) 2) エナメル質・象牙質・セメント質の組織構造および性状について述べる。(E-3-1)-④)
1月20日	池田 利恵	ユニット7：口腔組織（2）-歯周組織，口腔粘膜，舌-	1) 歯周組織の構成成分を列挙する。(E-3-1)-⑥) 2) 歯周組織の発生を説明する。(E-3-1)-⑥) 3) 口腔粘膜の組織構造を説明する。(E-2-2)-②) 4) 舌の組織構造を説明する。(E-2-2)-③)



# 総合基礎歯学〔病理学〕

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

口腔病態病理学の理解に不可欠な病理組織像の読解力を身につけるために、病理学で必要な用語と疾患概念を再度整理する。また、講義と並行してWeb教材の活用により学習目標を達成する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

著者・編集	書名	版	出版社
槻木恵一, 岡田康男 編	新スタンダード口腔病理学	第1版	学建書院
下野正基, 高田 隆 編	新口腔病理学	第3版	医歯薬出版
日本歯科大学病理学講座 編 (添野雄一監修)	ポイントレビュー 病理学・口腔病理学	第1版	キタ・メディア出版
井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (冊子版)	第1版	キタ・メディア出版
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (epub版)	第1版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭監修)	講義ノート 歯と歯周組織の病理学 (epub版)	第1版	杏林舎
	Webサイト <a href="http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html">http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html</a>		

## 担当者一覧

佐藤かおり

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]       論述試験       口頭試験       レポート  
 ポートフォリオ       シミュレーションテスト       実地試験       観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 毎週 火曜日 17:30~18:30

場所: 本館6階 病理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月1日	佐藤かおり	ユニット1: 病理組織所見と疾患概念 (1) 循環障害と代謝障害	1) 虚血, 充血, うっ血を説明する。(C-5-4)-① 2) 血栓, 塞栓の形成機序と梗塞を説明する。(C-5-4)-③ 3) 浮腫の原因を説明する。(C-5-4)-⑤ 4) 変性と関連疾患を説明する。(C-5-2)-②
10月8日	佐藤かおり	ユニット2: 病理組織所見と疾患概念 (2) 組織の損傷と炎症反応	1) 肉芽組織の構成要素を列記する。(C-5-3)-④ 2) 異物処理を列記する。(C-5-3)-⑤ 3) 炎症に寄与する細胞を列記する。(C-5-5)-② 4) 炎症の過程を説明する。(C-5-5)-① 5) 結核結節を説明する。(C-5-5)-④
10月15日	佐藤かおり	ユニット3: 病理組織所見と疾患概念 (3) 口腔粘膜の病変と腫瘍	1) 口腔粘膜の病変を分類する。(E-2-4)-(4)-① 2) 白色病変における上皮変化を説明する。(E-2-4)-(4)-② 3) 細胞異型を説明する。(C-5-6)-④ 4) 良性腫瘍と悪性腫瘍を比較する。(C-5-6)-⑤ 5) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍を比較する。(C-5-6)-④

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
10 月 22 日	佐藤かおり	ユニット4：病理組織所見と疾患概念 (4) 歯原性腫瘍	1) 歯冠・歯根の形成過程と上皮間葉間の相互作用を説明する。(E-3-1)-①) 2) 歯原性腫瘍の組織学的特徴を説明する。 (E-2-4)-(6)-①)
10 月 29 日	佐藤かおり	ユニット5：病理組織所見と疾患概念 (5) 唾液腺の病変	1) 唾液腺腫瘍を分類する。(E-2-4)-(8)-④) 2) 唾液腺炎を分類する。(E-2-4)-(8)-③) 3) 唾液腺腫大を主徴とする病変を判別する。 (E-2-4)-(8)-⑦)
11 月 5 日	佐藤かおり	ユニット6：病理組織所見と疾患概念 (6) 口腔領域の嚢胞	1) 嚢胞壁の構造を説明する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 発育性嚢胞と炎症性嚢胞を分類する。 (E-2-4)-(5)-①) 3) 粘液貯留嚢胞の成り立ちを説明する。 (E-2-4)-(5)-①) 4) 嚢胞を診断する。(E-2-4)-(5)-①)
11 月 12 日	佐藤かおり	ユニット7：病態の総合的な理解	1) 問題演習により学習内容の習熟度を評価する。

# 総合基礎歯学〔生化学〕

火曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学・医療の基礎を生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解するために、生体を構成する分子の生化学的な特徴と機能について考察する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
P. C. Champ他著, 石崎泰樹 他訳	イラストレイテッド生化学	第7版	丸善
早川太郎 他	口腔生化学	第6版	医歯薬出版

## 担当者一覧

今井一志, 美原希美, 千葉忠成, 根岸 翼

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月曜日 17:00~18:00  
 場所: 本館6階 生化学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
11月19日	千葉 忠成	ユニット1: 糖質・脂質・タンパク質の代謝と疾患	1) 糖質の代謝経路を説明する。(C-2-1)-①) 2) 脂質の代謝経路を説明する。(C-2-1)-⑤) 3) タンパク質の代謝経路を説明する。(C-2-1)-⑤)
11月26日	千葉 忠成	ユニット2: ビタミンの種類・機能・欠乏症	1) ビタミンを分類する。(E-2-4)-⑨) 2) ビタミンの化学構造と機能を記述する。(E-2-4)-⑨) 3) ビタミンの欠乏症を説明する。(E-2-4)-⑨) 4) ビタミンの栄養学的機能を説明する。(E-2-4)-⑨)
12月3日	美原 希美	ユニット3: 遺伝子	1) 核酸の基本構造を記述する。(C-2-2)-①) 2) DNAの複製機構を説明する。(C-2-2)-②) 3) 遺伝子転写制御機構の基本メカニズムを説明する。(C-2-2)-③) 4) mRNAのプロセッシングと構造を説明する。(C-2-2)-③) 5) タンパク質の翻訳機構を説明する。(C-2-2)-③)
12月10日	美原 希美	ユニット4: 細胞外マトリックス	1) ECMタンパク質の種類を列記する。(C-2-4)-③) 2) コラーゲンの構造と生合成機構を記述する。(C-2-4)-③) 3) 糖タンパク質とプロテオグリカンの特徴を述べる。(C-2-4)-③)
12月17日	美原 希美	ユニット5: 歯の化学的組成	1) 硬組織の無機・有機成分の種類と特徴を説明する。(C-2-4)-③) 2) 歯と歯周組織のECMタンパク質を列記する。(C-2-4)-③) 3) 幼若エナメル質の成熟過程を説明する。(C-2-4)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
1 月 7 日	根岸 翼	ユニット6：唾液の成分と機能	1) 唾液成分の種類を具体的に述べる。(E-2-2)-⑤) 2) 唾液成分の特徴と機能を説明する。(E-2-2)-⑤) 3) 唾液の抗菌因子を列記する。(E-2-2)-⑤)
1 月 14 日	根岸 翼	ユニット7：カルシウム代謝と骨吸収	1) 血清カルシウム濃度の調節機構を記述する。 (C-3-4)-(9)-①) 2) 血清カルシウム調節ホルモンを具体的に述べる。 (C-3-4)-(9)-①) 3) 破骨細胞による骨吸収のメカニズムを記述する。 (C-3-4)-(2)-④)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
1 月 7 日	井出 良治	ユニット6：顎・口腔・顔面の機能	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔内の感覚受容器と神経線維の特徴を述べる。 (E-2-1)-(5), (E-2-2)-(9)</li> <li>2) 粘膜に分布する感覚受容器を説明する。 (C-3-4)-(6)-(2)</li> <li>3) 顎・口腔・顔面領域に生じる疼痛の発生機序および制御機構を説明する。 (C-3-4)-(6)-(4), (E-2-4)-(9)-(1)</li> <li>4) 反射や姿勢維持における骨格筋の役割について説明する。(E-2-1)-(7)</li> <li>5) 顎運動と咀嚼筋の関連について述べる。 (E-2-1)-(3), (6)</li> <li>6) 咀嚼運動の神経機構について説明する。 (E-2-1)-(8)</li> </ol>
1 月 14 日	橋爪 那奈	ユニット7：興奮性膜	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明する。 (C-3-4)-(5)-(8)</li> <li>2) 電位依存性イオンチャネルの特性を述べる。 (C-3-4)-(5)-(8)</li> <li>3) 活動電位の発生とイオンコンダクタンスの関係を述べる。(C-3-4)-(5)-(8)</li> <li>4) ニューロンとグリアの構造と機能を説明する。 (C-3-4)-(5)-(7)</li> </ol>

# 総合基礎歯学〔薬理学〕

火曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として求められる薬理学的基盤を総合的に理解するために、薬理学総論ならびに歯科臨床における薬物療法の概念とその応用および実際面について再度知識を整理し修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
筒井健夫 著	歯科薬物療法学	第8版	一世出版
Richard A. Harvey, 他著, 柳澤輝行, 他訳	イラストレイテッド薬理学	第6版	丸善出版
戸苺彰史, 他編	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版

## 担当者一覧

筒井健夫, 神 唯, 鳥居大祐, 伊藤亜希

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他

## オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:30~17:30  
 場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月1日	神 唯	ユニット1: 薬物療法の種類, 薬理作用と医薬品	1) 薬物療法 (原因療法, 対症療法) を述べる。(歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む) (C-6-2)-① 2) 薬理作用の基本形式および薬理作用を規定する用量と反応の関係について説明する。(C-6-2)-②, ③ 3) 医薬品医療機器等法と日本薬局方を説明する。(C-6-1)-③ 4) 医薬品の分類, 毒薬, 劇薬および麻薬等の表示と保管を説明する。(C-6-1)-①, ②
10月8日	神 唯	ユニット2: 薬物の作用機序	1) 受容体を介する薬理作用と受容体の作動薬・拮抗薬の作用様式を説明する。(C-6-2)-①, ② 2) 自律神経系の機能および神経伝達物質による薬理作用について説明する。(C-6-2)-②, (C-3-4)-(5) 3) 受容体を介さない薬理作用・作用機序を説明する。(C-6-2)-② 4) 喫煙の依存性と身体にもたらす影響について述べる。(C-6-2)-②, ④
10月15日	神 唯	ユニット3: 薬物体内動態	1) 薬物動態における吸収, 分布について説明する。(C-6-3)-② 2) 薬物動態における代謝, 排泄について説明する。(C-6-3)-②
10月22日	鳥居 大祐	ユニット4: 薬物の相互作用, 副作用と有害作用	1) 薬物の相互作用について説明する。(C-6-2)-⑤ 2) 薬物の連用による薬物耐性, 蓄積, 薬物依存について説明する。(C-6-2)-④ 3) 薬効に影響を及ぼす因子を説明する。(C-6-2)-③, ④, ⑤ 4) 薬物の副作用, 有害作用およびその予防対策を説明する。(C-6-4)-①

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10 月 29 日	鳥居 大祐	ユニット5：薬物の適用方法と適用上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物の適応方法の種類とその特徴を説明する。(C-6-3)-①)</li> <li>2) 妊婦，小児，高齢者への薬物適用上の注意点を述べる。(C-6-3)-②)</li> <li>3) 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意点を述べる。(C-6-3)-②), (E-6-①, ②)</li> </ol>
11 月 5 日	鳥居 大祐	ユニット6：抗炎症薬と感染症治療薬概論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抗炎症薬の薬理作用，作用機序を説明する。(C-6-2)-①, ②), (C-5-5)-①, ②)</li> <li>2) 抗炎症薬の適応症と副作用を説明する。(C-6-2)-①, ②), (C-5-5)-①, ②)</li> <li>3) 感染症治療薬の薬理作用，作用機序を説明する。(C-6-2)-①, ②), (C-4-1))</li> <li>4) PK/PD理論に基づいた感染症治療薬の適正使用を説明する。(C-6-2)-①, ②, ③), (C-4-1))</li> </ol>
11 月 12 日	伊藤 亜希 筒井 健夫	ユニット7：漢方薬	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漢方医学の概要について説明する。(C-6-2)-①, ②)</li> <li>2) 口腔領域における生薬，漢方薬の応用について述べる。(C-6-2)-①, ②), (C-6-4)-①)</li> </ol>



# 口腔インプラント学

火曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯の欠損部に対する補綴法の一つであるインプラント治療を理解するために、基礎および臨床科目で修得した知識をもとにインプラントの基本的事項を修得し、臨床例を通して治療の内容を知る。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

赤川安正 他 編	よくわかる口腔インプラント学	第4版	医歯薬出版
公益社団法人日本口腔インプラント学会編	口腔インプラント学実習書	第2版	永末出版

## 担当者一覧

柳井智恵, 小倉 晋, 築瀬麻衣子, 是澤和人, 川上紗和子, 松野智宣, 秋山仁志, 井出吉昭, 佐藤 聡

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 2023年10月1日~2024年1月14日までの第2, 第4水曜日 17:00~18:00  
場所: 附属病院6階 口腔インプラント診療科・カンファレンス室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月1日	柳井 智恵	ユニット1: インプラント学総論	1) インプラント治療の意義と特徴を述べる。(E-3-4)-(3)-①) 2) インプラントの種類を列記する。(E-3-4)-(3)-①) 3) インプラント材料の種類と特性を説明する。(D-2-⑤) 4) インプラント表面性状の種類を列記する。(D-2-⑤) 5) オッセオインテグレーションについて説明する。(E-3-4)-(3)-①) 6) インプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-①)
10月8日	松野 智宣	ユニット2: 骨リモデリングと骨再生	1) 抜歯後の歯槽骨の形態変化を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤) 2) 骨のリモデリングを説明する。(E-3-4)-(3)-⑤) 3) インプラント埋入に必要な骨造成法を説明する。(E-3-4)-(3)-⑤) 4) 骨造成に用いる骨移植材を列記する。(D-2-⑤) 5) 骨補填材の特徴を比較する。(D-2-⑤)
10月15日	井出 吉昭	ユニット3: インプラント治療のための解剖	1) 顎骨の部位の名称を列記する。(E-2-1)②) 2) 有歯顎と無歯顎の形態学的特徴を説明する。(E-2-1)②) 3) 顎骨の内部と周囲を走行する脈管を説明する。(E-2-1)④) 4) 顎骨の内部と周囲を走行する神経を説明する。(E-2-1)⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月22日	築瀬麻衣子	ユニット4：診察・検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラントの治療手順を述べる。 (E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>局所および全身検査を述べる。(E-3-4)-(3)-(3)</li> <li>適応症を述べる。(E-3-4)-(3)-(2)</li> <li>禁忌症を述べる。(E-3-4)-(3)-(2)</li> <li>診断用セットアップ、診断用ステントの意義を述べる。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラント治療のための画像検査法を列記する。(E-3-4)-(3)-(3)</li> </ol>
10月29日	小倉 晋	ユニット5：治療計画の立案	<ol style="list-style-type: none"> <li>インプラント補綴の設計で考慮すべき生体力学的要素を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>上部構造の種類，設計，固定方法を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラント体の選択，埋入位置と方向決定を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>デジタル技術を利用したインプラント治療のワークフローを説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>治療計画とインフォームドコンセントを説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラントの成功基準を列挙する。 (E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラントの治療成績を説明する。 (E-3-4)-(3)-(4)</li> </ol>
11月5日	小倉 晋	ユニット6：インプラント体埋入手術とアバットメント連結手術	<ol style="list-style-type: none"> <li>術前処置について述べる。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>インプラント体埋入手術を説明する。 (E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>コンピュータ支援手術を述べる。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>アバットメント連結手術を述べる。 (E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>手術後の注意事項を列挙する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>免負期間と加重時期を述べる。(E-3-4)-(3)-(5)</li> </ol>
11月12日	是澤 和人	ユニット7：インプラントの印象採得と咬合採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>上部構造の構成要素を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>インプラントの印象採得法を説明する。 (E-3-4)-(3)-(6)</li> <li>インプラントの咬合採得法を説明する。 (E-3-4)-(3)-(6)</li> <li>作業模型の製作法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>
11月19日	川上紗和子	ユニット8：インプラントの補綴術式	<ol style="list-style-type: none"> <li>暫間上部構造の目的を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>暫間上部構造の製作法を説明する。 (E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>固定性上部構造の固定様式を説明する。 (E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>アバットメントとインプラント体の連結機構を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>アバットメントの種類を列挙する。 (E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>
11月26日	川上紗和子	ユニット9：上部構造の製作と装着	<ol style="list-style-type: none"> <li>上部構造の材質を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>上部構造の製作法を説明する。 (E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>上部構造の咬合付与を説明する。 (E-3-4)-(3)-(6)</li> <li>上部構造の口腔内試適および装着時の注意点を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月3日	築瀬麻衣子	ユニット10：補綴に関連して発生する事象と高齢者のインプラント治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上部構造に関連するトラブルの種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>2) 各種トラブルの対処法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>3) 高齢者に対するインプラント治療の利点と欠点を説明する。(E-3-4)-(3)-(3)</li> <li>4) 口腔衛生管理とメンテナンスとの重要性を述べる。(E-3-4)-(3)-(8)</li> </ol>
12月10日	秋山 仁志	ユニット11：インプラント補綴の臨床	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1 歯欠損インプラント補綴の術式を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>2) 多数歯欠損インプラント補綴の術式を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>3) 無歯顎に用いられる上部構造の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(4)</li> <li>4) ボーンアンカーブリッジの作製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>5) インプラント・オーバーデンチャーの作製法を説明する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> <li>6) アタッチメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(3)-(7)</li> </ol>
12月17日	佐藤 聡	ユニット12：リコールとメンテナンス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラント周囲組織について述べる。(E-3-4)-(3)-(1)</li> <li>2) 歯周病学的な診査法を説明する。(E-3-4)-(3)-(3)</li> <li>3) インプラント周囲炎を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)</li> <li>4) 軟組織処置を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)</li> <li>5) メンテナンスの重要性を述べる。(E-3-4)-(3)-(8)</li> <li>6) 支持療法を説明する。(E-3-4)-(3)-(8)</li> </ol>
1月7日	柳井 智恵	ユニット13：インプラント治療の骨組織と軟組織のマネジメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 骨移植術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>2) 骨造成法を列記する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>3) 骨再生誘導法（GBR法）を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>4) 上顎洞底挙上術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>5) 仮骨延長術を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>6) スプリットクレストを説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>7) 周囲軟組織マネジメントの目的を説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>8) 周囲軟組織増大術の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> </ol>
1月14日	柳井 智恵	ユニット14：手術に関連して発生する事象と顎顔面インプラント治療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラント手術に関連する合併症の種類を列記する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>2) 各種合併症の対処法について説明する。(E-3-4)-(3)-(5)</li> <li>3) 顎顔面インプラント治療の意義を述べる。(E-3-4)-(3)-(1)</li> <li>4) 顎顔面補綴へのインプラント応用法を説明する。(E-3-4)-(3)-(1)</li> </ol>



# 統合臨床基礎学実習

火曜日 14:50~18:00

## 本学期的学習目標 (GIO)

附属病院における臨床参加型実習を見据え、実際の臨床で患者と接するために、各基礎実習で履修した知識と技能を整理し、Student Dentistとして必要な技能・態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
	なし (各分野で配布資料あり)		

## 担当者一覧

前田宗宏, 横澤 茂, 五味治徳, 柵木寿男, 里見貴史 篠原健一郎, 岩田 洋, 梅津糸由子, 宮下 渉, 内藤 明  
 【医療面接】大津光寛, 井出吉昭, 大澤銀子, 北 大樹, 北村和夫, 仲谷 寛, 西田太郎, 前野雅彦, 森口奈賀子, 石川結子, 安部美紀, 石田鉄光, 河合貴俊, 軍司さおり, 代田あづさ, 多村美希, 滑川初枝, 古田彩夏, 光安廣記  
 【補綴】新谷明一, 八田みのり, 藤島 伸, 渡邊 慧, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山仁志, 小池未来, 石川結子, 古田彩夏  
 【歯内】西田太郎, 北村和夫, 関谷美貴, 三枝慶祐, 杉田浩一, 濱田康弘, 山崎孝子, 森竹宣之, 小柳圭史, 中山竣太郎, 黒田恭平, 小林 鷹  
 【修復】小川信太郎, 河本 芽, 越田清祐, 河合貴俊, 代田あづさ, 中澤美和, 中原由絵, 滑川初枝, 新田俊彦, 林 孝太郎, 原 学, 前野雅彦, 光安廣記, 村田卓也  
 【口腔外科】松野智宣, 宮坂孝弘, 澁井武夫, 田中惇平, 稲田 諒  
 【救命救急】安田麻子, 小谷田貴之, 我妻由梨, 五井貴大, 村松健司, 亀岡 亮, 辻本源太郎, 田中惇平, 田中慈久, 小柳圭史, 森竹宣之, 筒井友花子, 酒井有沙, 島村直宏, 今井智明, 阿部恵一, 山本麻貴, 小林清佳, 小林脩也  
 【放射線】浅海利恵子, 神尾 崇, 河合泰輔, 齋藤圭輔, 鈴木まどか, 林 宗廣  
 【臨床(小児)】村松健司, 新見嘉邦, 亀岡 亮, 芦澤みなみ, 甲田彩理沙, 西村 歩, 出口 崇, 宇佐見智美  
 【臨床(矯正)】安藤文人, 内田裕子, 宇塚 聡, 窪田大祐, 鈴木章弘, 館 晶彦, 土持 宇, 栃木啓佑, 長谷川美緒, 水谷匡佑, 吉田陽子, 土井百合香, 内川菜摘  
 【臨床(技工)】富永 毅, 齋藤勝紀, 竹井 潤, 岩田健悟, 山澤武司, 中村美保, 飯島孝守, 芝崎雅一  
 (順不同) 他各分野インストラクター

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [20%]       観察記録 [80%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む [減点式])       その他 (不正行為 [--%] [減点式])

## オフィスアワー

日時: 各分野実習終了後から15分間  
 場所: 本館7F 臨床実習室各分野担当者

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月1日	横澤 茂	ユニット1: 医療面接技法 (1)	1) 医療担当者として望ましい態度で応える。(A-1-2) 2) 医療面接の目的について述べる。(A-3) 3) 医療面接を構成する要素を列挙する。(A-4-1-③) 4) 医療面接を模擬的に実施する。(A-4-1-③) 5) 患者の立場を模擬的に体験する。(A-4-1-③)
10月8日	横澤 茂	ユニット2: 医療面接技法 (2)	1) 医療面接を模擬的に実施する。(A-4-1-③) 2) プライバシーの保護に配慮する。(A-4-2-⑥) 3) 患者の苦痛に配慮する。(A-4-2-①) 4) 医療面接を適切な手順で実施する。(A-4-1-③) 5) 患者の立場を模擬的に体験する。(A-4-1-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月15日	石川 結子	ユニット3：医療面接のロールプレー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者と良好な人間関係を確立する。(A-3-①)</li> <li>2) 患者や疾患の背景に配慮する。(A-4-2)</li> <li>3) 質問法を使い分ける。(A-4-1)-③</li> <li>4) インフォームドコンセントを実施する。(A-3-④)</li> <li>5) 医療面接を評価する。(A-3-⑥)</li> </ol>
10月22日	五味 治徳	ユニット4：欠損補綴の治療方針の説明・概形印象採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 欠損補綴の治療方針について説明する。(F-3-4)-①</li> <li>2) 概形印象採得を適切に実施する。(F-3-1)-⑤</li> <li>3) トレーの選択を実施する。(F-3-1)-⑤</li> <li>4) 操作時の注意事項を説明する。(F-3-1)-⑤</li> </ol>
10月29日	前田 宗宏	ユニット5：歯内療法におけるラバーダム防湿法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ラバーダム防湿法を実施する。(F-1-2)-②</li> </ol>
11月5日	柵木 寿男	ユニット6：口腔内状態の記録・齶蝕罹患歯質の除去とコンポジットレジン修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 視診によって患者の現症を的確に捉える。(F-1-1)-①</li> <li>2) 得られた所見を適切に診療録に記載する。(F-2-2)-⑫</li> <li>3) 患者に配慮した器具の操作をする。(F-3-3)-①</li> <li>4) 齶蝕検知液を使用して感染象牙質を確認する。(F-3-3)-①</li> <li>5) レストにより安定した状態で齶蝕罹患歯質を除去する。(F-3-3)-①</li> <li>6) 歯髄の保護に配慮して切削する。(F-3-3)-①</li> <li>7) コンポジットレジン修復を実施する。(F-3-3)-①</li> </ol>
11月12日	里見 貴史	ユニット7：頭頸部の診察と手洗い・滅菌グローブ装着	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 顔面の変化・顎の開閉口路を視診する。(F-2-2)-③</li> <li>2) 頭頸部の筋肉・顎関節部・顎下リンパ節を触診する。(F-2-2)-③</li> <li>3) 患者の痛みや不快感に配慮しながら診察する。(F-2-2)-③</li> <li>4) 清潔域・不潔域に配慮しながら順序よく手洗い操作をする。(F-3-1)-①</li> <li>5) 順序よく擦式消毒ができる。(F-3-1)-①</li> <li>6) 無菌的にグローブを装着する。(F-3-1)-①</li> </ol>
11月19日	篠原健一郎	ユニット8：心肺蘇生	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一次救命処置を説明する。(E-1-4-(1)-①)</li> <li>2) 心肺蘇生の適応を説明する。</li> <li>3) 胸骨圧迫を実施する。</li> <li>4) 気道を確保し、人工呼吸を実施する。(E-1-6)-①</li> <li>5) 自動体外式除細動器を操作する。</li> <li>6) 安全性に配慮した操作をする。(F-1-2)-⑤</li> </ol>
11月26日	岩田 洋	ユニット9：口内法エックス線撮影・口内法エックス線画像上の解剖指標の理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 撮影用ファントムを使用して口内法エックス線撮影を実施する。</li> <li>2) 口内法エックス線画像上の解剖指標を列挙する。(E-1-2)-⑦</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12月3日	梅津系由子	ユニット10：臨床参加型実習のためのトレーニング(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 小児の口腔内の状態を診察する。(E-4-2)-①)</li> <li>2) 口腔内の状態を診療録に記載する。(F-2-2)-⑫)</li> <li>3) 小児歯科におけるエックス線画像の役割について説明する。(F-2-2)-⑤)</li> <li>4) 小児のパノラマエックス線画像を読影する。(F-2-2)-⑥)</li> </ul>
12月10日	宮下 渉	ユニット11：臨床参加型実習のためのトレーニング(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 症例の問題点を列挙する。(E-4-1)-③)</li> <li>2) 矯正治療の必要性を述べる。(E-4-1)-①)</li> <li>3) 治療方針を説明する。(E-4-1)-③)</li> <li>4) 治療に用いる矯正装置を選択する。(E-4-1)-④)</li> <li>5) 矯正装置の特徴と作用機序を説明する。(E-4-1)-⑤)</li> <li>6) 矯正装置の取り扱い方法を説明する。(E-4-1)-⑤)</li> </ul>
12月17日	内藤 明	ユニット12：臨床参加型実習のためのトレーニング(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) プロビジョナルレストレーションの意義と製法を説明する。(E-3-4)-(1)-⑦)</li> <li>2) プロビジョナルレストレーション製作を実施する。(F-3-4)-⑤)</li> </ul>
1月7日	前田 宗宏	ユニット13：実習試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 修得した技能を確認する。</li> <li>2) 修得した知識を確認する。</li> <li>3) 本実習の修得度を確認する。</li> </ul>
1月14日	前田 宗宏 他 各技能系 実習担当者	ユニット14：実習内容のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 技能系の実習内容を再確認する。</li> <li>2) 希望する分野の実習内容を再度実施する。</li> </ul>





# 総合基礎歯学〔微生物学〕

水曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として要求される生体防御学の知識を総合的に理解するために、これまでに学習した基礎微生物学、免疫学を再度整理し直して修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

石原和幸 他 編集

口腔微生物学

第7版

学建書院

## 担当者一覧

高橋幸裕, 才木桂太郎, 田代有美子

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 月~金 16:30~18:00

場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月2日	才木桂太郎	ユニット1: 化学療法・消毒・院内感染	1) 抗菌薬使用の目的, 種類および作用機序を説明する。(C-4-1)-⑤, C-4-1)-③) 2) 薬剤耐性について説明する。(C-4-1)-⑤) 3) 消毒と滅菌の意義, 原理および代表的な方法を説明する。(C-4-1)-④) 4) 院内感染の防止方法について説明する。(C-4-1)-④)
10月16日	才木桂太郎	ユニット2: 免疫担当細胞・抗原提示と抗原認識・自然免疫・獲得免疫	1) 自然免疫の種類と機能を説明する。(C-4-2)-①) 2) 獲得免疫の種類と機能を説明する。(C-4-2)-②) 3) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(C-4-2)-③) 4) ワクチンの意義と種類, 特徴及び副反応を説明する。(C-4-2)-⑧) 5) 免疫グロブリンや補体の基本的性質を説明する。(C-4-2)-②) 6) 抗原提示機能と免疫寛容を説明する。(C-4-2)-④) 7) 粘膜免疫を説明する。(C-4-2)-⑦)
10月30日	才木桂太郎	ユニット3: 感染論・アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全	1) 感染における宿主と寄生体の諸要因について説明する。(C-4-2)-④) 2) 菌交代症, 日和見感染症について説明する。(C-4-1)-⑤) 3) アレルギーを分類する。(C-4-2)-⑤) 4) アレルギー疾患の種類と発症を説明する。(C-4-2)-⑤) 5) 自己免疫疾患について説明する。(C-4-2)-⑥) 6) 免疫不全症について記述する。(C-4-2)-⑥)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月13日	田代有美子	ユニット4：微生物学総論・グラム陽性菌	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 細菌を分類学および形態学的に対比する。(C-4-1)-①)</li> <li>2) 病原微生物の生化学的特徴を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>3) グラム陽性菌の種類と形態学的特徴，生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>4) グラム陽性菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>5) グラム陽性菌が原因となる感染症の種類，予防，診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>
11月27日	田代有美子	ユニット5：グラム陰性菌・スピロヘータ・クラミジア・リケッチア・マイコプラズマ・真菌	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グラム陰性菌の種類と形態学的特徴，生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>2) グラム陰性菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>3) グラム陰性菌が原因となる感染症の種類，予防，診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)</li> <li>4) スピロヘータ，クラミジア，リケッチア，マイコプラズマ，真菌の種類と形態学的特徴，生理学的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>5) スピロヘータ，クラミジア，リケッチア，マイコプラズマ，真菌の宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>6) スピロヘータ，クラミジア，リケッチア，マイコプラズマ，真菌が原因となる感染症の種類，予防，診断及び治療を説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>
12月11日	高橋 幸裕	ユニット6：ウイルス学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ウイルスの構造と分類について述べる。(C-4-1)-①)</li> <li>2) ウイルスの増殖について説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>3) ウイルスの培養と定量について記述する。(C-4-1)-①)</li> <li>4) 各ウイルス種の形態学的特徴，生理学的性状，宿主に対する病原性と引き起こす感染症を説明する。(C-4-1)-①，C-4-1)-②)</li> <li>5) 抗ウイルス化学療法について説明する。(C-4-1)-③)</li> <li>6) ウイルスの消毒について説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>
1月8日	高橋 幸裕	ユニット7：口腔微生物学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔細菌叢とその変化を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>2) ペリクルの由来と構成について説明する。(C-4-2)-①)</li> <li>3) デンタルプラークを定義する。(C-4-1)-①)</li> <li>4) 口腔常在菌の形態学的特徴と基本的性状を説明する。(C-4-1)-①)</li> <li>5) う蝕病原性細菌の感染機構とう蝕病原性を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>6) 歯周病原性細菌の感染機構と歯周病原性を説明する。(C-4-1)-②)</li> <li>7) バクテリアルトランスロケーションを説明する。(C-4-1)-③)</li> </ol>

# 総合基礎歯学〔歯科理工学〕

水曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

2, 3年生で学習した歯科理工学の内容を整理, 復習し, 臨床系科目で学習した材料・技術と整合させて理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

中嶋 裕, 宮崎 隆,  
米山隆之: 編集幹事

スタンダード歯科理工学  
—生体材料と歯科材料—

第7版

学建書院

## 担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 青柳侑祐

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [100%]     論述試験     口頭試験     レポート  
 ポートフォリオ     シミュレーションテスト     実地試験     観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席, 服装, 頭髪, 髪の色を含む) [減点式]     その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 毎週 火曜日 12:10~13:00

場所: 本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月9日	三浦 大輔	ユニット1: 物理的, 化学的, 生物学的性質, 機械的性質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 物理的性質を説明する。(D-1-②)</li> <li>2) 化学的性質を説明する。(D-1-②)</li> <li>3) 材料の生体刺激性, アレルギーを列記する。(D-1-②)</li> <li>4) 応力とひずみを説明する。(D-1-②)</li> <li>5) 応力-ひずみ曲線と関連する諸性質の材料選択上の意義を記述する。(D-1-②)</li> <li>6) 塑性変形を説明する。(D-1-②)</li> <li>7) 強さの種類, 性質を説明する。(D-1-②)</li> <li>8) 硬さの種類, 性質を説明する。(D-1-②)</li> <li>9) 粘弾性を説明する。(D-1-②)</li> </ol>
10月23日	石田 祥己	ユニット2: 印象材, 模型材, 陶材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 印象材の組成, 性質を列記する。(D-1-①)</li> <li>2) 印象材の細部再現性, 寸法変化, 印象精度を分類する。(D-1-①)</li> <li>3) 模型材の種類, 組成, 性質を説明する。(D-1-①)</li> <li>4) 印象材と模型の関連性を具体的に述べる。(D-1-①)</li> <li>5) 陶材を分類する。(D-2-②)</li> <li>6) 陶材の成分および特徴を述べる。(D-2-②)</li> <li>7) 陶材の強化法を説明する。(D-2-②)</li> <li>8) 金属への焼付機構を記述する。(D-2-②)</li> </ol>
11月6日	三浦 大輔	ユニット3: 歯科精密鑄造	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ワックスパターンの取り扱いと変形防止策を説明する。(D-2-②)</li> <li>2) 埋没材の種類, 特性を説明する。(D-2-②)</li> <li>3) 鑄造用合金と埋没材の組合せを説明する。(D-2-②)</li> <li>4) 合金の融解・鑄込の条件を説明する。(D-2-②)</li> <li>5) 鑄造条件と鑄造欠陥の発生を説明する。(D-2-②)</li> <li>6) 鑄造体の寸法精度と適合について説明する。(D-2-②)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月20日	青柳 有祐	ユニット4：合金，切削，研削，研磨，腐食，歯科用機器・器具	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科用合金を分類する。(D-2-②)</li> <li>2) 金合金の組成を説明する。(D-2-②)</li> <li>3) 金合金の規格を述べる。(D-2-②)</li> <li>4) 金銀パラジウム合金を説明する。(D-2-②)</li> <li>5) 非貴金属合金についてまとめる。(D-2-②)</li> <li>6) 研削，研磨材の種類と使用法を列挙する。(D-1-③)</li> <li>7) 研磨の能率を説明する。(D-1-③)</li> <li>8) 電解研磨を説明する。(D-1-③)</li> <li>9) 切削，研磨に用いる機器とその特徴を記述する。(D-1-③)</li> <li>10) 腐食を説明する。(D-1-③)</li> <li>11) 歯科用機器・器具を説明する。(D-1-③)</li> </ol>
12月4日	青柳 有祐	ユニット5：合金の成形加工，熱処理，ろう付け，合着，接着材，歯科用レジン，成形修復材料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 加工硬化・再結晶軟化を説明する。(D-2-②)</li> <li>2) 歯科用合金の熱処理法を説明する。(D-2-②)</li> <li>3) 合金の接合法としてのろう付け，電気溶接，レーザー溶接を説明する。(D-2-②)</li> <li>4) セメントの組成および性質を述べる。(D-2-③)</li> <li>5) 臨床上の取扱法を具体的に述べる。(D-2-③)</li> </ol>
12月18日	青柳 有祐	ユニット6：矯正用材料，歯内・歯周材料，インプラント材料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 矯正用ワイヤーの機械的性質を説明する。(D-2-④)</li> <li>2) 仮封材料の特性を説明する。(D-2-④)</li> <li>3) 歯周治療材料の特性を説明する。(D-2-⑥)</li> <li>4) 歯科インプラント材を説明する。(D-2-⑤)</li> <li>5) インプラント材料の種類と特徴を説明する。(D-2-⑤)</li> <li>6) 骨補填材の種類と特徴を説明する。(D-2-⑤)</li> </ol>
1月15日	三浦 大輔	ユニット7：歯科用レジン，成形修復材料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高分子材料の重合反応を説明する。(D-2-②)</li> <li>2) 加熱重合レジンと常温重合レジンの組成，重合法，性質を比較する。(D-2-②)</li> <li>3) 人工歯，裏装材を説明する。(D-2-②)</li> <li>4) コンポジットレジン，グラスアイオノマーセメント，アマルガム，硬質レジンの組成，重合方法，硬化機構を説明する。(D-2-①)</li> <li>5) 主な性質を対比する。(D-2-①)</li> <li>6) 各材料の特徴を列記する。(D-2-①)</li> </ol>

# 口腔衛生学

水曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師法第1条が定める歯科医師最大の任務「公衆衛生の向上に寄与する歯科医師」に必須の公衆衛生を、一層深く洞察する能力修得のため、広義の地域保健および地域歯科保健活動について学ぶ。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
松久保 隆, 八重垣 健, 前野正夫	口腔衛生学2022	第2版	一世出版
社会歯科学会	歯科六法コンメンタール	第2版	ヒョーロン
柳川 洋, 中村好一	公衆衛生マニュアル2024	第39版	南山堂

## 担当者一覧

田中とも子, 小松崎 明, 一宮頼子, 佐藤勝弘, 大島克郎, 伊井久貴

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:00~17:00 および登校日であれば随時  
 場所: 本館5階 衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月2日	伊井 久貴	ユニット1: 地域保健・予防歯科の概念	1) ヘルスプロモーションについて述べる。(B-2-2)-① 2) 地域保健の概念を概略する。(B-2-2)-① 3) 地域保健法を説明する。(B-2-2)-① 4) 保健所, 市町村保健センターの歯科保健業務を列挙する。(B-2-2)-①
10月9日	一宮 頼子	ユニット2: 地域保健	1) 地域歯科保健の仕組みについて述べる。(B-2-2)-① 2) 健康日本21 (歯の健康) について説明する。(B-2-2)-① 3) 地域歯科保健活動のすすめ方を説明する。(B-2-2)-① 4) 地域歯科保健と歯科医師の役割を説明する。(B-2-2)-① 5) 行政と地域歯科保健について述べる。(B-2-2)-①, B-3-2)-①
10月16日	田中とも子	ユニット3: 臨床疫学	1) 有病・罹患について説明する。(B-4-1)-③ 2) スクリーニング検査の目的について列記する。(B-4-1)-② 3) スクリーニング検査の信頼性の指標について説明する。(B-4-1)-② 4) 治療効果の評価法について述べる。(B-4-1)-①
10月23日	一宮 頼子	ユニット4: 母子保健	1) 母子保健関連の法律を列挙する。(B-3-2)-③ 2) わが国の母子保健水準の現状を説明する。(B-3-2)-③ 3) 母子保健・歯科保健対策について述べる。(B-3-2)-③ 4) 妊産婦の口腔保健管理を説明する。(B-3-2)-③ 5) 乳幼児の歯科保健管理を説明する。(B-3-2)-③

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月30日	小松崎 明	ユニット5：学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 学校保健関連の法律を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 学校感染症を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 保健管理組織を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>4) 学校（歯科）保健制度について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>5) 学校（歯科）健康診断について説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>6) 歯科保健教育と歯科保健指導を具体的に述べる。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月6日	佐藤 勝弘	ユニット6：成人・高齢者保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 成人・高齢者歯科保健関連法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 成人・高齢者歯科保健制度を述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 成人・高齢者歯科保健活動を説明する。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月13日	佐藤 勝弘	ユニット7：要介護者保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 介護・福祉に関連法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 要介護者の歯科保健制度を説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 要介護者の歯科保健管理について述べる。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月20日	田中とも子	ユニット8：産業保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 産業歯科保健関連の法律を列挙する。(B-3-2)-③)</li> <li>2) 産業歯科保健制度について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>3) 産業歯科保健活動について説明する。(B-3-2)-③)</li> <li>4) 歯にみられる職業性疾患について述べる。(B-3-2)-③)</li> <li>5) 労働者の健康保持増進対策と口腔保健について関係づける。(B-3-2)-③)</li> </ul>
11月27日	佐藤 勝弘	ユニット9：社会保障・社会福祉概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 社会保障制度・医療制度を理解する。(B-2-2)-③)</li> <li>2) 公的医療制度を説明する。(B-2-2)-③)</li> <li>3) 介護保険制度を説明する。(B-2-2)-③)</li> </ul>
12月4日	大島 克郎	ユニット10：医療資源・国民医療費	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療経済の現状を説明する。(B-2-2)-②)</li> <li>2) 医療関係者・医療施設の現状を説明する。(A-7-1)-②)</li> <li>3) 国民医療費の現状を概説する。(B-2-2)-②)</li> <li>4) 医療法を解説する。(B-2-1)-②)</li> <li>5) 地域医療計画の概略を述べる。(A-7-1)-②)</li> </ul>
12月11日	大島 克郎	ユニット11：医事法制概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 法の意義について説明する。(B-2-1)-①～⑦)</li> <li>2) 法の種類を説明する。(B-2-1)-①～⑦)</li> <li>3) 歯科保健医療関連法規を概説する。(B-2-1)-①～⑦)</li> </ul>
12月18日	大島 克郎	ユニット12：歯科保健医療関係法規 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師法を概説する。(B-2-1)-①)</li> <li>2) 歯科衛生士法を概説する。(B-2-1)-③)</li> <li>3) 歯科技工士法を概説する。(B-2-1)-③)</li> </ul>
1月8日	大島 克郎	ユニット13：歯科保健医療関係法規 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医師法について概説する。(B-2-1)-③)</li> <li>2) 薬剤師法について概説する。(B-2-1)-③)</li> <li>3) 保健・医療・福祉関連職種に関わる法律を説明する。(B-2-1)-③)</li> </ul>
1月15日	大島 克郎	ユニット14：歯科保健医療関係法規 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科口腔保健の推進に関する法律を概説する。(B-2-1)-⑤)</li> <li>2) 健康増進法を概説する。(B-2-1)-⑤)</li> <li>3) 健康日本21（2次）を説明する。(B-2-1)-⑤)</li> </ul>

# 歯内療法学

水曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

勝海一郎, 興地隆史, 石井信之, 中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史, 石井信之, 小木曾文内 編集主幹	エンドドンティクス	第5版	永末書店
中原 泉, 藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

## 担当者一覧

前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [65%]     論述試験 [35%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (小テスト参加状況) [減点式]

## オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館 4階 歯科保存学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月2日	三枝 慶祐	ユニット1: 緊急処置	1) 疼痛を伴う歯内疾患を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 急性歯髄炎の緊急処置を説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明する。(E-3-3-(2)-①)
10月9日	前田 宗宏	ユニット2: 根管充填 (1)	1) 根管充填の意義と目的を説明する。(E-3-3-(2)-②) 2) 根管充填の時期について説明する。(E-3-3-(2)-②) 3) 根管充填に使用する材料と薬剤を列記する。(D-2-⑥) 4) 根管充填に使用する材料と薬剤の特徴を説明する。(D-2-⑥)
10月16日	前田 宗宏	ユニット3: 根管充填 (2)	1) 固形体による根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 2) 半固形体による根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 3) 糊剤による根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 4) 即時根管充填法の適応症, 特徴, 術式を説明する。(E-3-3-(2)-②)
10月23日	関谷 美貴	ユニット4: 根未完成歯の治療	1) アペキソゲネーシス法について説明する。(E-4-2)-⑤) 2) アペキシフィケーション法について説明する。(E-4-2)-⑤)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月30日	関谷 美貴	ユニット5：歯内療法後の予後判定	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 根尖部創傷の治癒機転を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>2) 根管充填の予後に影響を及ぼす因子を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>3) 治癒成績の判定方法を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>4) 治癒成績の判定基準と時期を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> <li>5) 根管充填の治癒成績を説明する。(E-3-3-(2)-④)</li> </ul>
11月6日	西田 太郎	ユニット6：歯内－歯周疾患，吸収添加，歯性上顎洞炎	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯内－歯周疾患の原因と分類法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>2) 歯内－歯周疾患治療の意義と目的を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>3) 歯内－歯周疾患の診断と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 歯根の外部吸収の原因と診断，治療法を説明する。(E-3-3-(2)-⑦)</li> <li>5) セメント質添加の原因と診断，治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>6) 根管と上顎洞との関係を説明する。(E-2-2-(7))</li> <li>7) 歯性上顎洞炎の診断と治療法を説明する。(E-2-4-(3)-⑥)</li> </ul>
11月13日	三枝 慶祐	ユニット7：歯の外傷（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の外傷の種類を列記し，その分類法を説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>2) 歯の外傷の特徴について説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>3) 歯の亀裂の種類と症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>4) 歯冠破折の種類と症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>5) 歯根破折の種類と症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>6) 水平性の歯根破折の症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>7) 垂直性の歯根破折の症状，診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> </ul>
11月20日	三枝 慶祐	ユニット8：歯の外傷（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の脱臼の種類と特徴について説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>2) 歯の脱臼の症状と診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>3) 歯の陥入の症状と診査・診断，治療法を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> <li>4) 歯の脱落について説明する。(E-2-4-(2)-①)</li> <li>5) 脱落歯に対する診査・診断，治療法，予後を説明する。(E-2-4-(2)-③)</li> </ul>
11月27日	西田 太郎	ユニット9：外科的歯内療法（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 外科的歯内療法の意義と目的を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>2) 外科的歯内療法の適応症と禁忌症を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>3) 外科的歯内療法の種類を列記する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>4) 外科的排膿路の確保の種類と術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>5) 根尖搔爬法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>6) 歯根尖切除法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>7) 逆根管充填法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> </ul>



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
12月4日	西田 太郎	ユニット10：外科的歯内療法（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯根切除法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>2) ヘミセクションの術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>3) 歯根分離法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>4) 歯の再植法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>5) 歯の移植法の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>6) 外科的歯内療法の予後を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> </ul>
12月11日	西田 太郎	ユニット11：顕微鏡応用，高齢者・有病者の治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 顕微鏡を応用した歯内療法を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>2) 顕微鏡を応用した歯根尖切除法を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)</li> <li>3) 高齢者・有病者の歯内療法における特徴を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>4) 高齢者・有病者の歯内療法における留意点を説明する。(E-3-3-(2)-①)</li> <li>5) 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響を説明する。(E-3-2)-②)</li> </ul>
12月18日	関谷 美貴	ユニット12：歯髄・根管処置時の安全対策（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯髄・根管処置における偶発症の種類を列記する。(A-6-1)-⑦)</li> <li>2) 偶発症防止の意義を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>3) 偶発的露髄の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>4) 髄室・根管壁穿孔の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>5) 器具の根管破折の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>6) 器具の嚥下と吸引の原因，診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> </ul>
1月8日	関谷 美貴	ユニット13：歯髄・根管処置時の安全対策（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 皮下気腫の原因や診査・診断，対処法，防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>2) 残髄炎の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>3) 処置後の根尖性歯周疾患や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>4) 組織損傷の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>5) 使用材（剤）の溢出の原因や診査・診断，対処・防止法を説明する。(E-3-3-(2)-③)</li> <li>6) 治療時の全身管理について説明する。(E-1-4-(1)-⑥)</li> </ul>
1月15日	西田 太郎	ユニット14：変色歯の処置法，根管充填後の修復	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯の変色の原因を列記する。(E-3-3-(2)-⑥)</li> <li>2) 漂白法の種類と術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑥)</li> <li>3) 根管充填後の歯冠修復の意義と方法を説明する。(E-3-3-(1)-⑧)</li> </ul>



## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学の社会的適応である歯科医療・口腔保健におけるさまざまな問題を人文科学・社会科学的な立場から考究するための原理と方法について理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
石井拓男ほか	スタンダード社会歯科学	第7版	学建書院

## 担当者一覧

石垣佳希, 小林隆太郎, 石井良昌, 大島克郎, 岡田智雄, 俣木志朗, 小林清佳, 大津光寛, 安藤文人

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 各担当者が講義において通達する。

場所: 同上

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月2日	小林隆太郎	ユニット1: 日本の歯科医療の現状	1) ライフステージに応じた口腔の健康管理について説明する。(B-3-2)-④ 2) 社会における歯科医療の貢献について説明する。(B-2-2)-① 3) 今後の歯科診療のあり方を説明する。(B-2-2)-②
10月9日	石井 良昌	ユニット2: 歯科保健・地域保健	1) 地域包括ケアシステムにおける歯科の役割について説明する。(A-7-1)-③ 2) 在宅歯科医療について説明する。(A-7-1)-⑤ 3) 多職種連携について説明する。(A-5-1)-③
10月16日	大島 克郎	ユニット3: 歯科医療連携	1) 歯科医療連携を説明する。(A-5-1)-③ 2) 歯科医師と歯科衛生士の連携を説明する。(A-5-1)-② 3) 歯科医師と歯科技工士の連携を説明する。(A-5-1)-②
10月23日	岡田 智雄	ユニット4: 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム	1) 医の倫理に関する規範・国際規範を概説する。(A-1-1)-② 2) 臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明する。(A-1-1)-③ 3) 医学研究に関する倫理的問題を説明する。(A-1-1)-④ 4) インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明する。(A-1-2)-④ 5) 歯科医師のプロフェッショナリズムを説明する。(A-1-3)-①

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
10月30日	石井 良昌	ユニット5：歯科保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者保健について説明する。(B-2-2)-④)</li> <li>2) 障害者福祉について説明する。(B-2-2)-⑧)</li> <li>3) 歯科保健医療ビジョン（歯科医療の需要と供給体制の変化）について説明する。(B-2-2)-①)</li> <li>4) 健康寿命の延伸に向けた歯科の役割（口腔機能低下、フレイル、生活習慣病）について説明する。(B-2-2)-④)</li> </ul>
11月6日	俣木 志朗	ユニット6：診療の基本と医療面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 適切な医療面接により患者との良好な関係を構築する。(A-2-2)-①)</li> <li>2) 医療面接におけるコミュニケーションの重要性を理解する。(A-4-1)-③)</li> <li>3) 患者の個別的背景を聴取する。(A-4-2)-③)</li> </ul>
11月13日	小林 清佳	ユニット7：診療情報・診療記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 診療情報・診療記録の管理・保存について説明する。(B-4-3)-①)</li> <li>2) 診療録等の電子媒体による保存について説明する。(B-4-3)-①)</li> <li>3) 問題指向型診療記録(POMR)について説明する。(E-1-1)-⑦)</li> <li>4) 診療情報の開示について説明する。(B-4-3)-②)</li> </ul>
11月20日	大津 光寛	ユニット8：医療安全総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療事故の原因を述べる。(A-6-1)-①)</li> <li>2) ヒューマンエラーを説明する。(A-6-1)-②)</li> <li>3) 診療契約について述べる。(A-4-2)-④)</li> <li>4) 医療問題に関する用語を説明する。(A-6-1)-①)</li> <li>5) 医療安全におけるヒューマンエラーに対する考え方を説明する。(A-6-1)-①)</li> <li>6) ヒューマンエラーの分類を列記する。(A-6-1)-①)</li> </ul>
11月27日	大津 光寛	ユニット9：患者と医療者の法的関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療者と患者の義務と債務を説明する。(A-4-2)-④)</li> <li>2) 医療事故における民事責任を説明する。(A-4-2)-④)</li> <li>3) 医療事故における刑事責任を説明する。(A-4-2)-④)</li> <li>4) 医療事故における行政責任を説明する。(A-4-2)-④)</li> <li>5) 損害賠償の発生要件を説明する。(A-4-2)-④)</li> </ul>
12月4日	安藤 文人	ユニット10：インフォームドコンセント・同意書、診療情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 説明に含まれる適切な事項を列挙する。(G-5-②)</li> <li>2) 同意書の所要条件を列挙する。(A-1-2)-②)</li> <li>3) 下顎智歯抜去についての同意書を作成する。</li> <li>4) 個人情報の定義を説明する。(A-4-2)-⑦)</li> <li>5) 個人情報の取得を述べる。(A-4-2)-⑦)</li> <li>6) 診療内容説明での診療情報の取り扱いを説明する。(A-4-2)-⑦)</li> </ul>
12月11日	安藤 文人	ユニット11：苦情相談・クレーム／医療事故防止職場環境論、医師賠償責任保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 病院、クリニックにおける苦情、クレームについて述べる。(A-4-1)-②)</li> <li>2) 苦情、クレームの対応を説明する。(A-4-1)-②)</li> <li>3) 5S活動を説明する。(A-6-3)-⑤)</li> <li>4) リスクの対応方法を説明する。(A-6-1)-⑤)</li> <li>5) 医師賠償責任保険の事件日を説明する。(A-6-1)-⑤)</li> <li>6) 医療事故の医師賠償責任保険での事故処理方法を述べる。(A-6-1)-⑤)</li> </ul>
12月18日	石垣 佳希	ユニット12：医療事故の対応と予防策	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療事故発生時の記録・報告を説明する。(A-6-2)-③)</li> <li>2) 医療事故に対する具体的防止策を説明する。(A-6-2)-④)</li> <li>3) 各種事例分析の特徴を述べる。(A-6-2)-⑤)</li> <li>4) 根本原因分析の具体的手順を述べる。(A-6-2)-⑤)</li> <li>5) 医療事故調査制度を説明する。(A-6-2)-②)</li> </ul>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
1 月 8 日	石垣 佳希	ユニット13：感染予防対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医療関連感染の原因と対策を説明する。(A-6-1-⑥)</li> <li>2) 抗菌薬の適正使用を説明する。(A-6-1-⑦)</li> <li>3) 健康管理・予防接種を説明する。(A-6-3-①)</li> <li>4) 標準予防策を説明する。(A-6-3-②)</li> <li>5) 感染経路別予防策を説明する。(A-6-3-③)</li> <li>6) 滅菌と消毒の意義と種類を説明する。(C-4-1-④)</li> </ul>
1 月 15 日	石垣 佳希	ユニット14：歯科における偶発事故と緊急処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 誤飲・誤嚥の予防策を説明する。(A-6-1)-②)</li> <li>2) 針刺し事故後の対応を説明する。(A-6-3)-④)</li> <li>3) 医療現場での緊急処置を説明する。(A-6-2)-③)</li> <li>4) 緊急処置の基本的な手技を述べる。(A-6-2)-③)</li> <li>5) 一次救命処置を説明する。(E-1-6)-②)</li> </ul>



# 障害者歯科学

木曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医療において障害児・者へ必要な医療を行うために、障害者歯科学の基本理念、社会と健康、疾病、障害との関係や地域保健医療について理解し、発達障害者、身体障害者、精神障害者の概要と歯科治療および歯科保健管理について認識する。また、言語・摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。さらには、地域医療連携の重要性と、二次医療・三次医療の位置づけを認識する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本障害者歯科学会 編	スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科	第2版	医歯薬出版
向井美恵・山田好秋 編	歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学	第2版	医歯薬出版
日本障害者歯科学会 編	小児在宅歯科医療の手引き	第1版	医歯薬出版

## 担当者一覧

内川喜盛, 大島克郎, 加藤雄一, 小森 成, 亀岡 亮, 西脇恵子, 町田麗子, 田村文誉, 石井隆資, 山崎てるみ, 村松健司, 阿部恵一, 白瀬敏臣, 梅津糸由子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 木曜日講義終了時に担当者へ確認  
 場所: 各担当教員研究室・医局

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月3日	内川 喜盛	ユニット1: 障害者歯科の概念	1) 障害を説明する。(B-1-①) 2) 国際生活機能分類 (ICF) を説明する。(B-1-①) 3) 福祉からみた障害の分類を列記する。(B-2-2)-⑤) 4) ノーマライゼーションの概念を述べる。(B-2-2)-⑦) 5) 障害者歯科の特性を説明する。(B-2-2)-⑤)
10月10日	大島 克郎	ユニット2: 障害児・者の社会保障	1) 障害児・者に関する法制度を説明する。(B-2-2)-③) 2) 障害児・者に関する社会保障制度の概要を説明する。(B-2-2)-③) 3) 障害児・者を対象とした歯科保健医療連携および関係職種について説明する。(B-2-2)-⑧)
10月17日	加藤 雄一	ユニット3: 発達障害	1) 発達障害の分類とその生物・心理・社会的特徴を説明する。(E-5-2)-①) 2) 発達障害のある者への対応法を説明する。(E-5-2)-②) 3) 発達障害のある者への歯科治療上の留意点を説明する。(E-5-2)-③)
10月24日	小森 成	ユニット4: 発達障害と外表奇形	1) 先天異常にともなう発達障害を説明する。(E-2-3)-①) 2) 口唇口蓋裂の病態と治療の概要を説明する。(E-2-4)-(1)-②) 3) 頭蓋顎顔面における外表奇形による発達障害を説明する。(E-2-3)-③) 4) 頭蓋顎顔面における先天奇形症候群を説明する。(E-2-4)-(1)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月31日	亀岡 亮	ユニット5：運動・感覚障害	1) 運動障害とその原因疾患を説明する。(E-5-2)-①) 2) 感覚障害とその原因疾患を説明する。(E-5-2)-②) 3) 運動・感覚障害のある者への歯科治療上の留意点を説明する。(E-5-2)-③)
11月7日	西脇 恵子	ユニット6：コミュニケーション機能の発達と障害	1) コミュニケーション機能の発達について説明する。(E-5-2)-①) 2) 心理発達について説明する。(E-5-2)-①) 3) 発達レベルを評価する。(E-5-2)-①) 4) ことばの発達について説明する。(E-5-2)-①) 5) コミュニケーション機能の障害について説明する。(E-2-4)-③)
11月14日	町田 麗子	ユニット7：発達期における摂食嚥下障害	1) 摂食嚥下機能に関する解剖学的・生理学的基礎知識について、小児と成人の違いを比較する。(E-5-2)-⑥) 2) 摂食嚥下機能の発達について述べる。(E-5-2)-⑥) 3) 摂食嚥下障害の原因について分類する。(E-5-2)-⑥) 4) 摂食嚥下障害の疾患別特徴と症状について説明する。(E-5-2)-⑥)
11月21日	田村 文誉	ユニット8：障害児・者の摂食機能療法	1) 摂食嚥下機能の評価方法を応用する。(E-5-2)-⑤) 2) 外部観察評価に熟練する。(E-5-2)-⑤) 3) 嚥下造影検査を評価する。(E-5-2)-⑤) 4) 嚥下内視鏡検査を評価する。(E-5-2)-⑤) 5) 間接訓練と直接訓練を列記する。(E-5-2)-⑤)
11月28日	石井 隆資	ユニット9：心身相関と精神疾患	1) 心と体の関連を述べる。(E-5-3)-①④⑤) 2) うつ病の特徴を列記する。(E-6)-②) 3) 統合失調症の特徴を列記する。(E-6)-②) 4) 不安障害を説明する。(E-5-3)-⑤) (E-6)-②) 5) 摂食障害を説明する。(E-5-3)-②) (E-6)-②)
12月5日	山崎てるみ	ユニット10：歯科治療時に配慮すべき症候群と合併症	1) 歯科治療時に配慮すべき症候群を列挙する。(E-5-2)-①) 2) 歯科治療時に配慮すべき症候群の歯科的特徴を述べる。(E-5-2)-①) 3) 歯科治療時に配慮すべき症候群の合併症を述べる。(E-5-2)-①) 4) 歯科治療時に配慮すべき症候群への対応を述べる。(E-5-2)-①)
12月12日	阿部 恵一	ユニット11：行動調整と歯科治療 その1	1) 薬物を用いる行動調整を説明する。(E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-5-2)-②) 2) 吸入鎮静法による行動調整を説明する。(E-1-4)-(2)-②, E-5-2)-①②③) 3) 静脈内鎮静法による行動調整を説明する。(E-1-4)-(2)-③, E-5-2)-①②③) 4) 全身麻酔による行動調整を説明する。(E-1-4)-(4)①②③, E-5-2)-①②③)
12月19日	村松 健司	ユニット12：行動調整と歯科治療 その2	1) 行動調整の基本的な考え方を説明する。(E-5-2)-②③) 2) 薬物を用いない行動調整を説明する。(E-5-2)-②) 3) 行動療法による行動調整を説明する。(E-5-2)-②) 4) 抑制法による行動調整を説明する。(E-5-2)-②)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
1 月 9 日	白瀬 敏臣	ユニット13：障害児の口腔の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 障害児の口腔の健康を妨げる要因を列記する。 (E-5-2)-④)</li> <li>2) セルフケアにおける効果的なブラッシング指導法を説明する。(E-5-2)-④)</li> <li>3) 介助による口腔ケアの問題点と対応策を説明する。(E-5-2)-④)</li> <li>4) プロフェッショナルケアを分類し、その特徴を説明する。(E-5-2)-④)</li> <li>5) 疾患に応じた口腔ケアの特徴を説明する。 (E-5-2)-④)</li> </ul>
1 月 16 日	梅津糸由子	ユニット14：小児在宅歯科診療と歯科医療連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 小児在宅歯科医療の診療を説明する。 (E-5-2)-②, E-5-2)-③, (E-5-2)-④, E-5-2)-⑤</li> <li>2) 小児在宅療養児の歯科治療時の留意点を説明する。 (E-5-2)-②, E-5-2)-③, (E-5-2)-④, E-5-2)-⑤</li> <li>3) 地域における障害児・者への歯科医療連携および歯科診療を説明する。 (A-5-1)-③, (A-5-1)-④E-5-2)-②, E-5-2)-③, (E-5-2)-④</li> </ul>



# 部分床義歯補綴学

木曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

赤川安正・岡崎定司・志賀 博・横山敦郎編 歯学生のパーシャルデンチャー 第6版 医歯薬出版

## 担当者一覧

横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [40%]     論述試験 [40%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) [減点式]     その他 (中間テスト [20%])

## オフィスアワー

日時: 第1, 第3木曜日 16:30~17:30  
 場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月3日	横山 正起	ユニット1: 咬合採得・咬合器付着	1) 上下顎顎間関係の記録について, その種類と方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) フェイスボウトランスファーの臨床的意義を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 3) 咬合器の使用目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 4) 咬合器の種類と特徴を述べる。(E-3-4)-(2)-(8) 5) 咬合器の調整方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8)
10月10日	横山 正起	ユニット2: 人工歯排列・試適・埋没・重合	1) 人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 2) 人工歯の選択方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(9) 3) 下顎人工歯排列法を述べる。(E-3-4)-(2)-(10) 4) 歯肉形成を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 5) 蠟義歯の試適を説明する。(E-3-4)-(2)-(11) 6) 埋没前の前準備について述べる。(E-3-4)-(2)-(11)。 7) 各種プラスチック埋没法の違いを述べる。(E-3-4)-(2)-(11) 8) 義歯の重合法を説明する。(E-3-4)-(2)-(11)
10月17日	上杉 華子	ユニット3: 装着・管理	1) 装着時の留意事項を列挙する。(E-3-4)-(2)-(13) 2) 装着時の調整法を述べる。(E-3-4)-(2)-(13) 3) リコール時の診査項目を列挙する。(E-3-4)-(2)-(14) 4) 装着後に予測される不快事項の種類ならびにその対処法について説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
10月24日	上杉 華子	ユニット4: 下顎運動と咀嚼能力・口腔機能低下症	1) 下顎運動の検査法について説明する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) 筋電図について説明する。(E-5-1)-(3) 3) 咀嚼能力の検査法について説明する。(E-5-1)-(3) 4) 口腔機能低下症について説明する。(E-5-1)-(3)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月31日	上杉 華子	ユニット5：中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を認識する。
11月7日	小見野真梨恵	ユニット6：特殊な義歯①	1) 金属床義歯について理解を深める。 (E-3-4)-(2)-(4) 2) オーバーデンチャーの特徴を説明する。 (E-3-4)-(2)-(4) 3) ノンメタルクラスデンチャーの特徴を説明する。 (E-3-4)-(2)-(4) 4) テレスコープデンチャーの特徴を説明する。 (E-3-4)-(2)-(4)
11月14日	小見野真梨恵	ユニット7：特殊な義歯②	1) 顎顔面補綴に用いる装置について説明する。 (E-5-1)-(8) 2) 舌接触補助床について説明する。(E-5-1)-(8) 3) スピーチエイドについて説明する。(E-5-1)-(8) 4) 軟口蓋挙上装置について理解する。(E-5-1)-(8)
11月21日	小見野真梨恵	ユニット8：部分床義歯の修理	1) リラインとリベースを説明する。 (E-3-4)-(2)-(14) 2) 義歯床破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 3) 人工歯破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 4) 支台装置破損の原因を説明する。(E-3-4)-(2)-(14) 5) 義歯の修理法を説明する。(E-3-4)-(2)-(14)
11月28日	小見野真梨恵	ユニット9：顎機能障害・睡眠時無呼吸症候群	1) 顎機能障害について説明する。(E-2-4)-(7)-(1) 2) 顎機能障害に対し用いる装置について説明する。 (E-2-4)-(7)-(1) 3) 睡眠時無呼吸症候群について説明する。 (E-2-4)-(11)-(6) 4) 睡眠時無呼吸症候群に対し用いる装置について説明する。 (E-2-4)-(11)-(6)
12月5日	小見野真梨恵	ユニット10：後期授業まとめ①	1) 後期学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。
12月12日	小見野真梨恵	ユニット11：後期授業まとめ②	1) 後期学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。
12月19日	横山 正起	ユニット12：問題演習①	1) 学習内容を再確認し、問題解決できる知識を習得する。
1月9日	横山 正起	ユニット13：問題演習②	1) 学習内容を再確認し、問題解決できる知識を習得する。
1月16日	横山 正起	ユニット14：問題演習③	1) 学習内容を再確認し、問題解決できる知識を習得する。

# 部分床義歯補綴学実習

木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

部分的な歯の欠損によって失われた咀嚼系の機能と形態を回復し、口腔組織の健康状態を保つために、部分的な歯の欠損によって生じる咀嚼系の形態と機能の変化に関する診査、診断、部分床義歯補綴に関連する基本的な臨床操作を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

志賀 博・歯科補綴学第1講座 編	有床義歯補綴学実習書	第7版	日本歯科大学
------------------	------------	-----	--------

## 担当者一覧

横山正起, 石田鉄光, 中島邦久, 上杉華子, 小見野真梨恵, 岡山浩美, 川名弘剛, 岸本千紘, 渡邊慧子, 寺沼樹里, 山川菜里萌, 安部結美, 寺辺やよひ, 村上義和, 石川 忠, 萩原 彰, 岩波行紀, 高草木 章, 仁村秀由喜, 小島健一郎, 芳賀景嗣, 塙 悦郎, 萩澤宏美, 荒川一郎, 千切一恵, 倉持淳子, 田村響子, 佐野眞子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [40%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [60%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 実習時間内随時・実習終了後20分  
 場所: 7階 臨床基礎実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
10月3日	上杉 華子	ユニット1: 初診時の診査, 概形印象採得・研究用模型の製作	1) アルジネート印象材の練和を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 研究用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-⑥)
10月10日	中島 邦久	ユニット2: 上顎模型の咬合器付着・咬合床製作・咬合採得	1) 研究用模型の調整を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 基礎床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 咬合床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑥) 4) 咬合器に上顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-⑧)
10月17日	小見野真梨恵	ユニット3: 下顎模型の咬合器付着・サベイング・仮設計	1) 咬合器に下顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-⑧) 2) サベイヤの目的, 役割を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) サベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-④) 4) 部分床義歯の設計 (外形線記入・仮設計) を実施する。(E-3-4)-(2)-⑤)
10月24日	横山 正起	ユニット4: 前処置・個人トレー製作・筋圧形成・精密印象採得	1) マウスプレパレーションを説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) レスト座の形成を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 3) ガイドプレーンの形成を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 個人トレー製作のために常温重合レジンを操作する。(E-3-4)-(2)-⑪) 5) 下顎個人トレーの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 6) 筋形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-⑪) 7) 下顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月31日	上杉 華子	ユニット5：ボクシング・作業用模型製作	1) ボクシング, 石膏注入を実施する。 (E-3-4)-(2)-(⑪) 2) 作業用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(⑥) 3) サベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-(④)
11月7日	中島 邦久	ユニット6：本設計・技工指示書記入	1) 維持装置・連結装置を設計する。(E-3-4)-(2)-(⑤) 2) 技工指示書の記載を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑤) 3) 技工指示書に関する関係法規を説明する。 (E-3-4)-(2)-(⑤) 4) 部分床義歯の設計手順を説明する。 (E-3-4)-(2)-(⑫)
11月14日	上杉 華子	ユニット7：中間考査	1) 修得した知識を確認し, 実習の修得度を評価する。
11月21日	小見野真梨恵	ユニット8：ワイヤークラスプの屈曲・作業用模型上でのブロックアウトおよびリリース・複印象・耐火模型製作	1) ワイヤークラスプと鋳造クラスプについて説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 2) ワイヤークラスプの製作を実施する。 (E-3-4)-(2)-(⑪) 3) 作業用模型上でブロックアウト・リリースを実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 4) 複印象を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 5) 耐火模型の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)
11月28日	横山 正起	ユニット9：クラスプ・フレームワークのワックスアップ	1) 耐火模型上でのワックスアップを実施する。 (E-3-4)-(2)-(⑪)
12月5日	上杉 華子	ユニット10：クラスプ・フレームワークの試適・咬合床製作・切歯路板の製作	1) 連結装置, 維持装置の試適方法を説明する。 (E-3-4)-(2)-(⑪) 2) フレームワークの試適を実施する。 (E-3-4)-(2)-(⑪) 3) 咬合床を製作する。(E-3-4)-(2)-(⑥) 4) 切歯路板の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)
12月12日	中島 邦久	ユニット11：咬合採得・咬合器付着	1) 咬合採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑥) 2) 咬合器に下顎模型を付着する。(E-3-4)-(2)-(⑧)
12月19日	小見野真梨恵	ユニット12：人工歯選択・排列・歯肉形成	1) 人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑨) 2) 人工歯の選択方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑨) 3) 下顎人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑩) 4) 歯肉形成の目的と方法を説明する。 (E-3-4)-(2)-(⑪) 5) 歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)
1月9日	横山 正起	ユニット13：咬合調整・蠟義歯試適・義歯装着後の管理	1) 咬頭嵌合位での咬合調整を実施する。 (E-3-4)-(2)-(⑩) 2) 偏心位での咬合調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑩) 3) 蠟義歯の試適の要点を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 4) 蠟義歯の試適を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 5) 義歯の重合法を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 6) 義歯装着後の管理を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑬)
1月16日	上杉 華子	ユニット14：口頭試問・実習試験	1) 修得した知識を確認し, 実習の修得度を評価する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

睡眠時無呼吸症, 血液疾患, 口腔粘膜疾患, 顎関節疾患, 唾液腺疾患の原因, 病態, 症状, 処置ならびに予後, さらに自己免疫疾患とアレルギーについて総括的に理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
山根源之, 草間幹夫 編集主幹	口腔内科学	第3版	永末書店
榎本昭二 代表監修	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
日本歯科薬物療法学会 編	日本歯科用医薬品集 歯科の処方に役立つ本	第5版	永末書店

## 担当者一覧

松野智宣, 澁井武夫, 安田卓史

## 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [70%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 講義終了後に担当者へ確認  
 場所: 講義担当者へ確認

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月4日	澁井 武夫	ユニット1: 睡眠時無呼吸症	1) 睡眠時無呼吸症の臨床症状を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥) 2) 睡眠時無呼吸症の検査を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥) 3) 無呼吸低呼吸指数 (AHI) から重症度を判定する。(E-2-4)-(11)-⑥) 4) ポリソムノグラフを説明する。(E-2-4)-(11)-⑥) 5) 口腔内装置の作製法を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥) 6) 口腔内装置の副作用を説明する。(E-2-4)-(11)-⑥)
10月11日	松野 智宣	ユニット2: 赤血球系疾患	1) 赤血球の形成過程と機能を説明する。(E-2-4)-(10)-①) 2) 赤血球系疾患を列記する。(E-2-4)-(10)-①) 3) 赤血球系疾患の口腔症状を説明する。(E-2-4)-(10)-①) 4) 赤血球系疾患の全身症状を説明する。(E-2-4)-(10)-①) 5) 赤血球系疾患の歯科における注意点と対処法を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-①)
10月18日	松野 智宣	ユニット3: 白血球系疾患	1) 白血球の形成過程と機能を説明する。(E-2-4)-(10)-①) 2) 白血球系疾患を列記する。(E-2-4)-(10)-①) 3) 白血球系疾患の口腔症状を説明する。(E-2-4)-(10)-①) 4) 白血球系疾患の全身症状を説明する。(E-2-4)-(10)-①) 5) 白血球系疾患の歯科における注意点と対処法を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月25日	松野 智宣	ユニット4：出血性素因と抗血栓療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 出血性素因について説明する。(E-2-4)-(10)-①)</li> <li>2) 出血性素因の原因を説明する。(E-2-4)-(10)-①)</li> <li>3) 抗血栓療法について説明する。(E-2-4)-(10)-①)</li> <li>4) 口腔内出血の症状を説明する。(E-2-4)-(10)-①)</li> <li>5) 口腔内出血と全身状態との関連を説明する。(E-2-4)-(10)-①)</li> <li>6) 歯科の対応を具体的に述べる。(E-2-4)-(10)-①)</li> </ul>
11月1日	安田 卓史	ユニット5：口腔粘膜の構造と疾患の分類および漢方による治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔粘膜の構造と機能を説明する。(E-2-4)-(4)-①)</li> <li>2) 口腔粘膜疾患を分類する。(E-2-4)-(4)-①)</li> <li>3) 漢方薬による治療を知る。(E-2-4)-(4)-①)</li> </ul>
11月8日	松野 智宣	ユニット6：色素沈着、白斑、紅斑・びらんを主徴とする口腔粘膜疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 色素沈着を主徴とする疾患を列記する。(E-2-4)-(4)-②)</li> <li>2) 白斑を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-②)</li> <li>3) 紅斑・びらんを主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-②)</li> </ul>
11月15日	松野 智宣	ユニット7：水疱、潰瘍を主徴とする口腔粘膜疾患、口唇・舌の口腔粘膜疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 水疱を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-①②)</li> <li>2) 潰瘍を主徴とする疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-①②)</li> <li>3) 口唇、舌などに生じる疾患の原因と症状を説明する。(E-2-4)-(4)-①②)</li> </ul>
11月22日	澁井 武夫	ユニット8：顎関節疾患総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 顎関節の解剖を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> <li>2) 顎関節疾患の症状を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> <li>3) 顎関節症の診断基準を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> </ul>
11月29日	澁井 武夫	ユニット9：顎関節疾患各論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 顎関節の先天異常および発育異常を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> <li>2) 顎関節の外傷性疾患を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> <li>3) 顎関節の炎症性病変を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> <li>4) 顎関節の腫瘍性を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> <li>5) 顎関節強直症を説明する。(E-2-4)-(7)-①②)</li> </ul>
12月6日	松野 智宣	ユニット10：唾液腺疾患総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 唾液腺の特徴・構造・機能を説明する。(E-2-4)-(8)-①)</li> <li>2) 唾液腺の機能異常について説明する。(E-2-4)-(8)-③)</li> <li>3) 炎症による唾液腺疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-③)</li> <li>4) 外傷による唾液腺疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-③)</li> <li>5) 唾石症の特徴、症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-②)</li> </ul>
12月13日	松野 智宣	ユニット11：唾液腺の嚢胞、良性腫瘍、腫瘍類似疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 唾液腺にみられる嚢胞を説明する。(E-2-4)-(5)-①②)</li> <li>2) 唾液腺にみられる腫瘍類似疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-⑤)</li> <li>3) 唾液腺にみられる良性腫瘍の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(8)-④)</li> </ul>



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
12月20日	松野 智宣	ユニット12：唾液腺の悪性腫瘍，ウイルス性疾患，自己免疫疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 唾液腺にみられる悪性腫瘍の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(8)-(4))</li> <li>2) 流行性耳下腺炎の原因，症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(6))</li> <li>3) Sjögren症候群とIgG4関連疾患の特徴，症状および治療を説明する。(E-2-4)-(8)-(7))</li> </ol>
12月24日	松野 智宣	ユニット13：アレルギーと自己免疫疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) アレルギーと自己免疫疾患の発症機序を述べる。(C-4-2)-(5), (6))</li> <li>2) 薬物アレルギーを説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> <li>3) 歯科金属アレルギーを説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> <li>4) 遺伝性血管性浮腫を説明する。(E-2-4)-(10)-(3))</li> </ol>
1月10日	松野 智宣	ユニット14：問題演習および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 客観問題で正答を選択する。</li> <li>2) 問題解説で理解度を知り，問題解決に必要な知識を習得する。</li> <li>3) 記述式問題の解答を説明する。</li> </ol>



# 歯科麻酔・救急処置

金曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
古屋英毅 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第4版	学建書院
金子 讓 監修	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版

## 担当者一覧

砂田勝久, 筒井友花子, 酒井有沙, 今井智明, 小谷田貴之, 塩谷伊毅, 篠原健一郎, 石井隆資

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [25%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (課題レポート提出 [5%], 不正行為 [減点式])

## オフィスアワー

日時: 講義終了後 16:20~17:00  
 場所: 100周年記念館5階 歯科麻酔学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
10月4日	筒井友花子	ユニット1: 麻酔に必要な呼吸の生理	1) 気道の構造と機能を述べる。(C-3-4)-(8)-①) 2) 呼吸の調節を述べる。(C-3-4)-(8)-②) 3) 血液による酸素と二酸化炭素の運搬を説明する。(C-3-4)-(4)-④) 4) 低酸素症を説明する。(E-6-①) 5) 高二酸化炭素血症を説明する。(E-6-①) 6) 酸塩基平衡を説明する。(C-3-4)-(9)-②) 7) 術前の呼吸機能評価を説明する。(E-1-4)-(4)-③)
10月11日	筒井友花子	ユニット2: 麻酔に必要な循環の生理	1) 循環の構成要素を述べる。(C-3-4)-(4)-①) 2) 循環の調節を説明する。(C-3-4)-(4)-③) 3) 血圧を説明する。(E-1-4)-(1)-②) 4) 正常心電図を説明する。(C-3-4)-(4)-①) 5) 術前の循環機能評価を説明する。(E-1-4)-(4)-③)
10月18日	砂田 勝久	ユニット3: 全身麻酔法(1)	1) 全身麻酔の概念と流れを述べる。(E-1-4)-(4)-①) 2) 全身麻酔の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 3) 術前評価を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 4) 術前指示を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 5) 麻酔前投薬の目的と使用薬物を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 6) 全身麻酔法を分類する。(E-1-4)-(4)-①) 7) 麻酔深度を説明する。(E-1-4)-(4)-①)
10月25日	酒井 有沙	ユニット4: 全身麻酔法(2)	1) 吸入麻酔薬の薬物動態を述べる。(E-1-4)-(4)-②) 2) 吸入麻酔薬の麻酔導入・覚醒に影響する因子を説明する。(E-1-4)-(4)-②) 3) 吸入麻酔薬のMACを説明する。(E-1-4)-(4)-②) 4) 吸入麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(4)-②)
11月1日	酒井 有沙	ユニット5: 全身麻酔法(2)	1) 静脈麻酔薬のCSHTを説明する。(E-1-4)-(4)-②) 2) 静脈麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(4)-②) 3) 筋弛緩薬を説明する。(E-1-4)-(4)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月8日	酒井 有沙	ユニット6：全身麻酔法(3)	1) 鎮痛薬を説明する。(E-1-4)-(4)-②) 2) 麻酔装置を説明する。(E-1-4)-(4)-②) 3) 麻酔導入について説明する。(E-1-4)-(4)-③) 4) 術中の気道管理を説明する。(E-1-4)-(4)-③)
11月15日	酒井 有沙	ユニット7：全身麻酔法(4)	1) 麻酔維持について説明する。(E-1-4)-(4)-③) 2) 麻酔中のモニタ機器を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 3) 麻酔の覚醒・抜管について述べる。(E-1-4)-(4)-③) 4) 術後管理について説明する。(E-1-4)-(4)-③) 5) 全身麻酔に必要な準備器材について述べる。(E-1-4)-(4)-②)
11月22日	今井 智明	ユニット8：全身麻酔法(5)	1) 呼吸器系合併症の原因, 予防法, 対処法を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 2) 循環器系合併症の原因, 予防法, 対処法を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 3) その他の合併症を列記する。(E-1-4)-(4)-③)
11月29日	小谷田貴之	ユニット9：輸液・輸血, 高齢者の全身麻酔, 口腔外科手術の全身麻酔	1) 体液組成を述べる。(C-3-4)-(10)-②) 2) 輸液の目的と輸液剤を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 3) 輸血の目的と輸血製剤を述べる。(E-1-4)-(4)-③) 4) 輸血の合併症を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 5) 高齢者の生理学的特徴を説明する。(E-5-1)-①) 6) 高齢者の全身管理上の注意点を説明する。(E-5-1)-(1)-⑤) 7) 口腔外科手術における全身麻酔の注意点について説明する。(E-1-4)-(4)-③)
12月6日	塩谷 伊毅	ユニット10：小児・障害者の全身麻酔と日帰り全身麻酔	1) 小児の生理学的特徴を説明する。(E-1-4)-(1)-⑥) 2) 歯科における小児の全身麻酔を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 3) 歯科における障害者の全身麻酔を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 4) 日帰り外来全身麻酔を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 5) 日帰り外来全身麻酔の適応, 禁忌, 帰宅許可条件を述べる。(E-1-4)-(4)-③)
12月13日	篠原健一郎	ユニット11：ペインクリニック(1)	1) 神経疾患の特徴を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 2) 疼痛の伝達経路を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 3) 神経疾患の評価法を説明する。(E-1-3)-②) 4) 三叉神経痛を説明する。(E-2-4)-(9)-②) 5) 舌咽神経痛を説明する。(E-2-4)-(9)-①)
12月20日	篠原健一郎	ユニット12：ペインクリニック(2)	1) 帯状疱疹を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 2) 帯状疱疹後神経痛を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 3) 外傷性神経障害性疼痛を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 4) 癌性疼痛を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 5) 顔面痙攣を説明する。(E-2-4)-(9)-①)
12月24日	石井 隆資	ユニット13：ペインクリニック(3)	1) 非歯原性歯痛を説明する。(E-2-4)-(10)-⑩) 2) 非定型歯痛・顔面痛を説明する。(E-2-4)-(10)-⑩) 3) 心因性疼痛を説明する。(E-5-3)-②)
1月10日	篠原健一郎	ユニット14：ペインクリニック(4)	1) 三叉神経感覚障害を説明する。(E-2-4)-(9)-④) 2) 顔面神経麻痺を説明する。(E-2-4)-(9)-③) 3) Ramsay-Hunt 症候群を説明する。(E-2-4)-(9)-①) 4) 星状神経節ブロックを説明する。(E-2-4)-(10)-⑩) 5) 口腔領域のその他の麻痺性疾患を説明する。(E-2-4)-(9)-①)

# 口腔外科の基本手技実習

金曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

臨床実習を安全かつ確実に履修するために、身に付けておくべき口腔外科、歯科麻酔および口腔インプラントの基本手技についての知識、技能および態度を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

栗田賢一 編集代表	SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店
古屋英毅 東理十三雄 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
公社 日本口腔インプラント学会編	口腔インプラント学実習書	第2版	永末書店

## 担当者一覧

口腔外科実習：里見貴史，松野智宣，澁井武夫，宮坂孝弘，稲田 諒，荘司洋文，藤城建樹，田中惇平，小林早紀子，中山理賀，上田康平，岸 碧紀

歯科麻酔実習：砂田勝久，篠原健一郎，筒井友花子，酒井有沙，島村直宏，三代冬彦，今井智明，阿部恵一，小林清佳，小谷田貴之，安田麻子，塩谷伊毅，辻本源太郎，五井貴大，山本麻貴，小林脩也，辻本瑛美子，寒竹容子，大和田央子，清原歩実，宮田知行，和島陽菜

インプラント実習：柳井智恵，小倉 晋，築瀬麻衣子，是澤和人，川上紗和子，井坂栄作，近澤俊郎，秋山仁志，山瀬 勝，石井通勇

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [3%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [2%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [5%]       実地試験 [70%]       観察記録 [20%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時：実習終了後 16:20~17:00

場所：100周年記念館 5階口腔外科学講座・歯科麻酔学講座，附属病院 6階口腔インプラント診療科

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
10月4日	澁井 武夫	ユニット1：医療安全・感染予防	1) 医療安全対策を実践する。(F-1-2)-③) 2) スタンダードプレコーションを実践する。(F-1-2)-④) 3) 清潔操作を実施する。(F-1-2)-②) 4) 外来手術のための手洗い，滅菌手袋および滅菌ガウンを適切に装着する。(F-3-1)-①) 5) 術野の消毒を実践する。(F-1-2)-②) 6) 感染性医療廃棄物を適切に処理する。(F-1-2)-③)
10月11日	稲田 諒	ユニット2：口腔外科小手術の器具・器材	1) 器具・器材の名称を述べる。(F-3-1)-②) 2) 器具・器材の使用目的を説明する。(F-3-1)-②) 3) 抜歯に必要な器具・器材を選択する。(F-3-1)-②) 4) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を選択する。(F-3-1)-②)
10月18日	松野 智宣	ユニット3：切開，剥離，縫合 (1)	1) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-②) 2) 切開，剥離および縫合に必要な器具・器材を正しく使用する。(F-3-5)-②) 3) ガム模型上で正しく切開・剥離をする。(F-3-5)-②) 4) ガム模型上で正しく器械縫合をする。(F-3-5)-②) 5) ガム模型上で正しく抜糸をする。(F-3-5)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月25日	里見 貴史	ユニット4：実技試験（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 切開，剥離および縫合・抜糸に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-②)</li> <li>2) 正しく手洗いを実施する。(F-3-1)-①)</li> <li>3) 正しく滅菌手袋を装着する。(F-3-1)-①)</li> <li>4) 切開，剥離および縫合・抜糸に必要な器具・器材を正しく使用する。(F-3-5)-②)</li> <li>5) ガム模型上で縫合から抜糸まで実施する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
11月1日	澁井 武夫	ユニット5：上顎の単純抜歯	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適切な挺子，鉗子を選択する。(F-3-5)-①)</li> <li>2) 挺子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>3) 鉗子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>4) 上顎の抜歯体位をとる。(F-3-5)-①)</li> <li>5) 上顎の単純抜歯を実施する。(F-3-5)-①)</li> <li>6) 止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>7) 抜歯後の注意事項を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
11月8日	稲田 諒	ユニット6：下顎の単純抜歯，膿瘍切開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適切な挺子，鉗子を選択する。(F-3-5)-①)</li> <li>2) 挺子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>3) 鉗子を正しく用いる。(F-3-5)-①)</li> <li>4) 下顎の抜歯体位をとる。(F-3-5)-①)</li> <li>5) 下顎の単純抜歯を実施する。(F-3-5)-①)</li> <li>6) 膿瘍切開を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>7) 止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>8) 処置後の注意事項を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
11月15日	島村 直宏	ユニット7：局所麻酔法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 局所麻酔の必要性を説明する。(E-1-4)-(3)-①)</li> <li>2) 局所麻酔法に必要な器具を選択する。(E-1-4)-(3)-⑤)</li> <li>3) 模型を用いて表面麻酔および浸潤麻酔を行う。(F-3-1)-④)</li> <li>4) 模型を用いて下顎孔伝達麻酔法を実施する。(E-1-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
11月22日	酒井 有沙	ユニット8：全身麻酔の導入	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 麻酔導入の過程を実施する。(E-1-4)-(4)-②)</li> <li>2) 血圧・脈拍を測定する。(F-2-2)-①)</li> </ol>
11月29日	澁井 武夫	ユニット9：下顎埋伏智歯の抜歯	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 処置に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-②)</li> <li>2) 切開線を正しく設定する。(F-3-5)-②)</li> <li>3) 模型上で切開・剥離をする。(F-3-5)-②)</li> <li>4) 正しい体位で下顎埋伏智歯を抜去する。(F-3-5)-②)</li> <li>5) 模型上で縫合する。(F-3-5)-②)</li> <li>6) 止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>7) 抜歯後の注意事項と合併症を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>
12月6日	里見 貴史	ユニット10：実技試験（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指定された部位の抜歯に必要な器具・器材を準備する。(F-3-5)-①)</li> <li>2) 正しく手洗いを実施する。(F-3-1)-①)</li> <li>3) 正しく滅菌手袋を装着する。(F-3-1)-①)</li> <li>4) 適切な体位で抜歯する。(F-3-5)-①)</li> <li>5) 適切な止血法を実施する。(F-3-5)-②)</li> <li>6) 抜歯後の注意事項を説明する。(F-3-5)-②)</li> </ol>

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12 月 13 日	柳井 智恵	ユニット11：インプラント体埋入手術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラントの適応症，禁忌症を説明する。 (E-3-4)-(3)-②)</li> <li>2) インプラント手術に必要な局所解剖を説明する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>3) インプラント体埋入手術の1回法と2回法を説明する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>4) インプラント体埋入（一次）手術に必要な器具，器材を準備する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>5) 模型上でインプラント体埋入手術を実施する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>6) インプラント体埋入手術の偶発症を説明する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
12 月 20 日	柳井 智恵	ユニット12：インプラント二次手術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 二次（支台部連結）手術に必要な器具，器材を準備する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>2) 模型上でインプラント二次手術を実施する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>3) インプラント二次手術の偶発症を説明する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
12 月 24 日	柳井 智恵	ユニット13：実技試験（3）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラント手術に必要な器具，器材を準備する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>2) インプラント手術に必要な器具，器材を正しく選択する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>3) 指定された器具，器材を正しく使用する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> <li>4) 手術後の注意事項を説明する。 (E-3-4)-(3)-⑤)</li> </ol>
1 月 10 日	柳井 智恵	ユニット14：インプラントの印象採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) インプラントの印象採得に必要な器具，器材を準備する。 (E-3-4)-(3)-⑥)</li> <li>2) 模型上でインプラントの印象採得を実施する。 (E-3-4)-(3)-⑥)</li> </ol>